

八千代市市民満足度調査 報告書

令和 7 年 3 月



八千代市

【目次】

I	調査実施の概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	調査の概要.....	1
3	調査内容.....	2
4	居住地区区分.....	3
5	回収結果.....	4
6	報告書の見方.....	4
7	標本誤差.....	6
II	調査回答者の属性.....	10
問1	性別.....	10
問2	年齢.....	10
問3	職業.....	10
問4	居住地.....	11
III	調査結果の要約.....	15
1	基本計画の施策に関する質問.....	15
2	ウェルビーイング（Well-Being）に関する質問.....	18
IV	調査結果分析（設問別）.....	22
1	基本計画の施策に関する質問.....	22
	《ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり》.....	22
	《豊かな心と文化を育むまちづくり》.....	36
	《安心・安全に暮らせるまちづくり》.....	38
	《快適で環境にやさしいまちづくり》.....	40
	《計画の推進のために》.....	58
2	ウェルビーイング（Well-Being）に関する質問.....	78
3	自由意見.....	88
IV	調査票.....	89

I 調査実施の概要

I 調査実施の概要

1 調査目的

第5次総合計画前期基本計画（計画期間：令和3年度～令和6年度）の各施策に設定された目標の達成度を把握するとともに、令和7年度から令和10年度までを期間とした第5次総合計画後期基本計画の各施策に位置付ける指標の現況値を把握し、今後の行政サービスの基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査地域 八千代市内全域
- (2) 調査対象 八千代市に在住する満18歳以上の男女
- (3) 配布数と調査方法

配布数	3,500人を住民基本台帳から無作為 ^{※1} に抽出し、3,492人を調査対象とした。
調査方法	郵送・Web併用法（郵送配布－郵送・Web回収）

※1：市内在住の18歳以上を対象に層化抽出法により抽出した。層化は性別、年齢別、7地域別で行い、市全体に対する割合に比例するように抽出した（8通が宛先不明のため、返還された。）。

- (4) 調査期間 令和6年12月3日（火） ～ 12月20日（金）

3 調査内容

調査項目		新規項目(○)
1	前期基本計画における指標について	
	(1) こどもの権利	○
	(2) 子育てしやすいまち	
	(3) ボランティア・地域活動の参加状況	
	(4) 高齢者福祉サービスの充実	
	(5) 健康状態	
	(6) 健康診断や人間ドックの受診状況	
	(7) 地域医療体制の整備状況	
	(8) 生涯学習情報の得やすさ	
	(9) 消費生活センター	
	(10) 土地利用について	
	(11) 緑豊かなまち	
	(12) 鉄道の利用しやすさ	
	(13) バスの利用しやすさ	
	(14) 市内・市外間の移動のしやすさ	
	(15) 交通弱者にやさしい交通環境	
	(16) 道路状況	
	(17) 生活に支障が生じる騒音や振動, 悪臭	
	(18) まちのきれいさ	○
	(19) 行政情報の提供状況	
	(20) 市政に対する意見・要望	
	(21) 多様な生き方・働き方	
	(22) 性的マイノリティにとっての社会	
	(23) 国際交流・協力	○
	(24) 新川周辺の活性化	
	(25) 居住希望	
	(26) 行政経営	
	(27) 公共施設の設備・管理	
	(28) 行政サービスのデジタル化	○
2	ウェルビーイング (Well-Being) に関する質問	○
	(1) 幸福度	○
	(2) 生活満足度	○
	(3) 町内の幸福度	○
	(4) 周りも楽しい	○
	(3) 5年後の幸福度	○
3	自由回答	
4	回答者の属性	
	(1) 性別	
	(2) 年齢	
	(3) 職業	
	(4) 居住地	

4 居住地区区分

市民意識の地域別の特徴を把握するため、居住地区の区分を行っている。調査では以下の 15 地区に分けて、居住地の回答を求めている。

[居住地区区分と該当町丁目・街区]

	居住地区区分	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台 1 丁目～8 丁目
3	大和田新田（A）地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田（B）地区	大和田新田上区等、高津中学校又は東高津中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
5	高津地区	高津・高津東 1 丁目～4 丁目
6	緑が丘地区	緑が丘 1 丁目～5 丁目・緑が丘西 1 丁目～8 丁目
7	八千代台東南地区	八千代台東 1 丁目～6 丁目・八千代台南 1 丁目～3 丁目
8	八千代台西北地区	八千代台西 1 丁目～10 丁目・八千代台北 1 丁目～17 丁目
9	勝田台地区	勝田台 1 丁目～7 丁目・勝田・勝田台南 1 丁目～3 丁目
10	村上地区	村上・村上南 1 丁目～5 丁目・下市場 1 丁目～2 丁目・上高野・勝田台北 1 丁目～3 丁目
11	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
12	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町 1 丁目～6 丁目
13	米本団地地区	米本団地 1 街区～5 街区
14	高津団地地区	高津団地 1 街区～7 街区
15	村上団地地区	村上団地 1 街区～3 街区

5 回収結果

(1) 全体

配布数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
3,492	1,347 (郵送 : 1,081, WEB : 266)	38.6

(2) 居住地別

居住地名	配布数 (人)			有効回収数 (人)					有効回収率
	男性	女性	合計	男性	女性	答えたくない・わからない	無回答	合計	(%)
大和田地区	147	166	313	53	59	—	—	112	35.8
ゆりのき台地区	112	103	215	37	40	—	1	78	36.3
大和田新田(A)地区	159	164	323	45	68	1	—	114	35.3
大和田新田(B)地区	147	144	291	44	58	—	—	102	35.1
高津地区	58	86	144	33	38	1	—	72	50.0
緑が丘地区	170	153	323	74	76	1	—	151	46.7
八千代台東南地区	126	126	252	50	59	4	1	113	44.8
八千代台西北地区	161	191	352	47	88	2	1	138	39.2
勝田台地区	135	149	284	47	61	1	—	109	38.4
村上地区	244	244	488	95	89	1	—	185	37.9
阿蘇地区	35	39	74	13	11	—	—	24	32.4
睦地区	64	60	124	25	23	—	—	48	38.7
米本団地地区	49	44	93	18	15	—	—	33	35.5
高津団地地区	47	66	113	6	15	—	1	21	18.6
村上団地地区	49	54	103	14	24	—	—	38	36.9
無回答				1	3	2	2	8	
合計	1,703	1,789	3,492	602	727	13	5	1,347	38.5

6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。従って、表示数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、回答者数全体を100%として算出しているため、複数回答の設問は、各選択肢の比率を合計すると100%を超えることになる。
- (3) 基数となるべき実数は(n)として表示している。各選択肢の回答比率は基数を100%として算出したものである。
- (4) 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下の通りにしている。

例	表現
17.0 ~ 19.9 %	約2割
20.0 ~ 20.9 %	2割
21.0 ~ 22.9 %	2割を超える
23.0 ~ 26.9 %	2割台半ば
27.0 ~ 29.9 %	約3割

- (5) 本文中で百分率の比較をする際には、ポイント（小数点以下第1位を四捨五入している）と表記している。
- (6) 本文中や図表中の選択肢の表記は、場合により語句を短縮・簡略化して表示する場合がある。
- (7) 図表中で、比率が小さい選択肢については、数値の表記を省略している場合がある。
- (8) 集計は、各設問について、単純集計と、回答者の属性（性別や年齢など）別のクロス集計を行っており、設問ごとに属性を選定の上、報告書上にとりあげて示している。
- (9) クロス集計の図表では、側面に示す属性項目（性別や年齢など）に無回答の人は表示していない。
- (10) 居住地域別のクロス集計では、以下のような7地域に集約し、分析の軸としている。

居住地区区分		集約後の居住地域
大和田地区	→	大和田地域
ゆりのき台地区		
大和田新田(A)地区		
大和田新田(B)地区	→	高津・緑が丘地域
高津地区		
緑が丘地区		
高津団地地区		
八千代台東南地区	→	八千代台地域
八千代台西北地区		
勝田台地区	→	勝田台地域
村上地区	→	村上地域
村上団地地区		
阿蘇地区	→	阿蘇地域
米本団地地区		
睦地区	→	睦地域



7 標本誤差

標本誤差は次式で得られ，①比率算出の基数（ n ），②回答数の比率（ p ）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

{

N = 母集団数(八千代市の18歳以上人口)

n = 比率算出の基数(回答者数)

p = 回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(P) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1, 347	±1.60%	±2.14%	±2.45%	±2.62%	±2.67%
1, 000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
800	±2.08%	±2.77%	±3.18%	±3.39%	±3.46%
600	±2.40%	±3.20%	±3.67%	±3.92%	±4.00%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
150	±4.80%	±6.40%	±7.33%	±7.84%	±8.00%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は 95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは・・・今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。

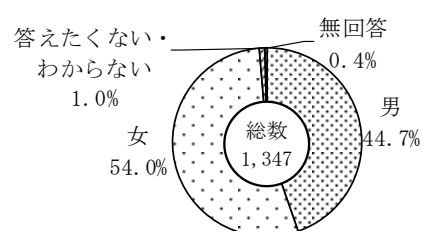
見方としては、例えば、「ある設問の回答数が 1,347 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.62% 以内（57.38～62.62%）である」とみることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

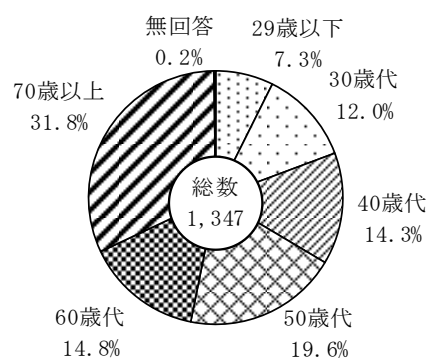
問1 性別

項目名	基数	構成比
男	602	44.7%
女	727	54.0%
答えたくない・わからない	13	1.0%
無回答	5	0.4%
全体	1,347	100.0%



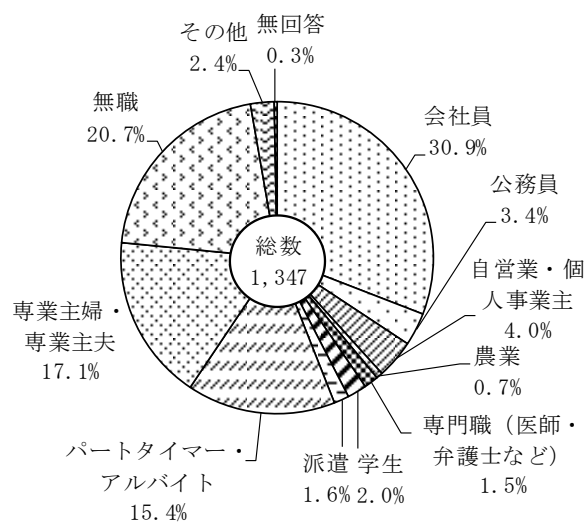
問2 年齢

項目名	基数	構成比
29歳以下	99	7.3%
30歳代	161	12.0%
40歳代	192	14.3%
50歳代	264	19.6%
60歳代	200	14.8%
70歳以上	428	31.8%
無回答	3	0.2%
全体	1,347	100.0%



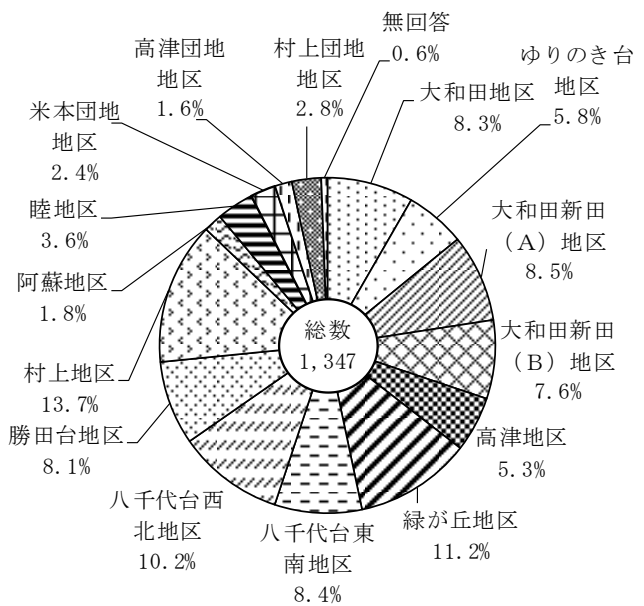
問3 職業

項目名	基数	構成比
会社員	416	30.9%
公務員	46	3.4%
自営業・個人事業主	54	4.0%
農業	9	0.7%
専門職（医師・弁護士など）	20	1.5%
学生	27	2.0%
派遣	21	1.6%
パートタイマー・アルバイト	207	15.4%
専業主婦・専業主夫	231	17.1%
無職	279	20.7%
その他	33	2.4%
無回答	4	0.3%
全体	1,347	100.0%



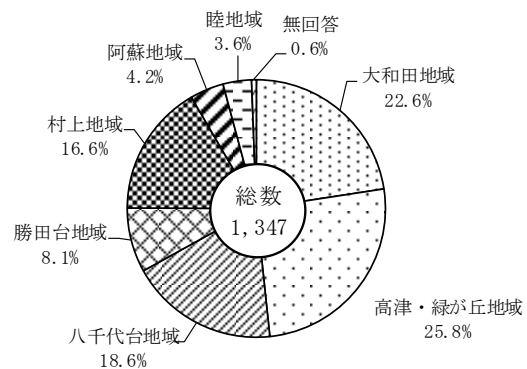
問4 居住地

項目名	基数	構成比
大和田地区	112	8.3%
ゆりのき台地区	78	5.8%
大和田新田（A）地区	114	8.5%
大和田新田（B）地区	102	7.6%
高津地区	72	5.3%
緑が丘地区	151	11.2%
八千代台東南地区	113	8.4%
八千代台西北地区	138	10.2%
勝田台地区	109	8.1%
村上地区	185	13.7%
阿蘇地区	24	1.8%
睦地区	48	3.6%
米本団地地区	33	2.4%
高津団地地区	22	1.6%
村上団地地区	38	2.8%
無回答	8	0.6%
全体	1,347	100.0%



(集約後の居住地域)

項目名	基数	構成比
大和田地域	304	22.6%
高津・緑が丘地域	347	25.8%
八千代台地域	251	18.6%
勝田台地域	109	8.1%
村上地域	223	16.6%
阿蘇地域	57	4.2%
睦地域	48	3.6%
無回答	8	0.6%
全体	1,347	100.0%



※全体数は回答者の総数とし、構成比は回答者数に対する回答数の比率としている。

Ⅲ 調査回答分析（結果概要）

Ⅲ 調査結果の要約

1 基本計画の施策に関する質問

(1) こどもの権利

こどもの権利は、「内容もよく知っている」(2.7%)、「知っている」(22.1%)となっており、これらを合わせた《知っている》は、24.8%となっている。

(2) 子育てしやすいまち

子育てしやすいまちは、「感じる」(6.2%)、「どちらかというと感じる」(31.7%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、37.9%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は6.0ポイント減少している。

(3) ボランティア・地域活動の参加状況

ボランティアや地域活動に「参加している」が15.7%、「参加していない」が84.1%となっている。

(4) 高齢者福祉サービスの充実

高齢者福祉サービスの充実は、「わからない」が40.1%で最も多くなっている。「感じる」(2.5%)、「どちらかというと感じる」(14.8%)となっており、これらを合わせた《感じる》は17.3%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は11.8ポイント減少している。

(5) 健康状態

自分が健康であるかは、「感じる」(22.3%)、「どちらかというと感じる」(44.6%)となっており、これらを合わせた《感じる》は66.9%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は10.9ポイント減少している。

(6) 健康診断や人間ドックの受診状況

健康診断・健康診査や人間ドックを「定期的に受けている」が68.0%で最も多く、「不定期だが受けている」が16.6%、「受けていない」が15.3%で続いている。「不定期」を含めた《受けている》の合計は84.6%となっている。令和2年度調査より《受けている》の割合は3.0ポイント増加している。

(7) 地域医療体制の整備状況

地域医療体制が整っているかは、「感じる」(6.0%)、「どちらかというと感じる」(31.6%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、37.6%となっている。

令和2年度調査より《感じる》の割合は20.2ポイント減少している。

(8) 生涯学習情報の得やすさ

生涯学習情報の得やすさは、「感じる」(2.2%)、「どちらかというと感じる」(13.7%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、15.9%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は10.3ポイント減少している。

(9) 消費生活センター

消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることの認知度は、「知っている」が40.5%、「知らない」が59.4%となっている。令和2年度調査より「知っている」の割合は3.9ポイント減少している。

(10) 土地利用について

地域の特性を活かした土地利用が図られているかは、「感じる」(2.2%)、「どちらかというと感じる」(13.1%)となっており、これらを合わせた《感じる》は15.3%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は9.3ポイント減少している。

(11) 緑豊かなまち

緑豊かなまちであるかは、「どちらかというと感じる」が52.1%と過半数を占め、これに「感じる」の17.4%を加えた《感じる》の割合は69.5%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は9.7ポイント減少している。

(12) 鉄道の利用しやすさ

鉄道の利用しやすさについて、「感じる」(25.2%)、「どちらかというと感じる」(37.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、62.5%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は3.1ポイント減少している。

(13) バスの利用しやすさ

バスの利用しやすさは、「感じる」(7.1%)、「どちらかというと感じる」(24.4%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、31.5%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は11.0ポイント減少している。

(14) 市内・市外間の移動のしやすさ

市内・市外間の移動のしやすさは、「感じる」(10.8%)、「どちらかというと感じる」(33.1%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、43.9%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は9.6ポイント減少している。

(15) 交通弱者にやさしい交通環境

交通弱者にやさしい交通環境であるかは、「感じる」(1.6%)、「どちらかというと感じる」(12.8%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、14.4%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は12.3ポイント減少している。

(16) 道路状況

道路状況が整っているかについて、「感じる」(5.5%)、「どちらかというと感じる」(27.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は、32.8%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は6.1ポイント減少している。

(17) 生活に支障が生じる騒音や振動、悪臭

生活に支障が生じる騒音や振動、悪臭について、「感じない」(39.8%)、「どちらかというと感じない」(34.1%)となっており、これらを合わせた《感じない》は、73.9%となっている。

(18) まちのきれいさ

まちのきれいさについて、「感じる」(17.9%)、「どちらかというと感じる」(54.4%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は72.3%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は1.5ポイント増加している。

(19) 行政情報の提供状況

市民が知りたい行政情報が十分に提供されているかについて、「感じる」(2.6%)、「どちらかというと感じる」(21.8%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は24.4%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は12.7ポイント減少している。

(20) 市政に対する意見・要望

市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられているかについて、「感じる」(1.4%)、「どちらかというと感じる」(11.5%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は12.9%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は10.5ポイント減少している。

(21) 多様な生き方・働き方

性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できるかについて、「感じる」(4.0%)、「どちらかというと感じる」(18.0%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は22.0%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は8.4ポイント減少している。

(22) 性的マイノリティにとっての社会

性的マイノリティの方々にとって、生活しやすい社会だと感じているかについて、「感じない」(8.9%)、「どちらかというと感じない」(18.4%)となっており、これらを合わせた《感じない》の割合は27.3%となっている。

(23) 国際交流・協力

国際交流・協力に関する活動へ参加等したいと思うかについて、「思う」(8.0%)、「どちらかというと思う」(21.8%)となっており、これらを合わせた《思う》は29.8%となっている。令和2年度調査より《思う》の割合は0.2ポイント減少している。

(24) 新川周辺の活性化

新川周辺が活性化しているかについて、「感じる」(7.1%)、「どちらかというと感じる」(26.4%)となっており、これらを合わせた《感じる》は33.5%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は6.0ポイント減少している。

(25) 居住希望

今後も八千代市に住み続けたいかについて、「考えている」(37.2%)、「どちらかというと考えている」(33.6%)となっており、これらを合わせた《考えている》は70.8%となっている。令和2年度調査より《考えている》の割合は1.6ポイント減少している。

(26) 行政経営

行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われているかについて、「感じる」(2.3%)、「どちらかというと感じる」(12.5%)となっており、これらを合わせた《感じる》は14.8%となっている。令和2年度調査より《感じる》の割合は8.3ポイント減少している。

(27) 公共施設の設備・管理

公共施設の設備や管理が適切かについて、「感じる」(6.0%)、「どちらかというと感じる」(29.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は35.3%となっている。

(28) 行政サービスのデジタル化

行政サービスのデジタル化により市民生活の利便性が向上しているかについて、「感じる」(4.2%)、「どちらかというと感じる」(20.0%)となっており、これらを合わせた《感じる》は24.2%となっている。

2 ウェルビーイング(Well-Being)に関する質問

(1) 幸福度

幸福度について、平均値は6.9点となっている。各点の分布で見ると、8点が23.5%で最も多く、7点(20.5%)、5点(14.8%)となっている。

(2) 生活の満足度

居住地域への満足度について、平均値は6.4点となっている。各点の分布で見ると、7点が21.2%で最も多く、8点(18.7%)、5点(17.1%)となっている。

(3) 町内の幸福度

居住町内の人々の幸福度について、平均値は6.2点となっている。各点の分布で見ると、7点が17.2%で最も多く、5点(15.7%)、6点(13.0%)となっている。回答割合としては「わからない」が27.2%と最も多くなっている。

(4) 周りも楽しい

身近な人々の幸福度について、平均値は 3.3 点となっている。各点の分布でみると、3 点が 51.9%と過半数を占めている。

(5) 5年後の幸福度

5年後の幸せについて、平均値は 6.4 点となっている。各点の分布でみると、5 点が 19.6%と最も多く、8 点 (17.6%)、7 点 (17.4%) と続いている。

IV 調査結果分析（設問別）

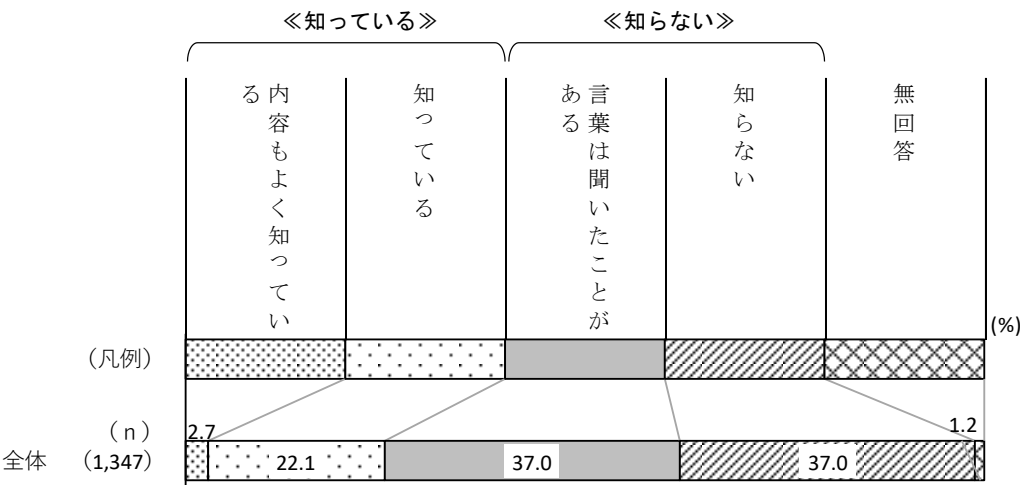
IV 調査結果分析（設問別）

1 基本計画の施策に関する質問

《ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり》

問5 「こどもの権利※1」について知っていますか。

※1 こどもの権利：「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」など，子どもたち一人ひとりがその人らしく幸せに生き，お互いの意見や気持ちを大切にしながら，家庭や学校，地域の安全に安心して生活する権利のこと。



こどもの権利は，「内容もよく知っている」（2.7%），「知っている」（22.1%）となっており，これらを合わせた《知っている》は24.8%となっている。

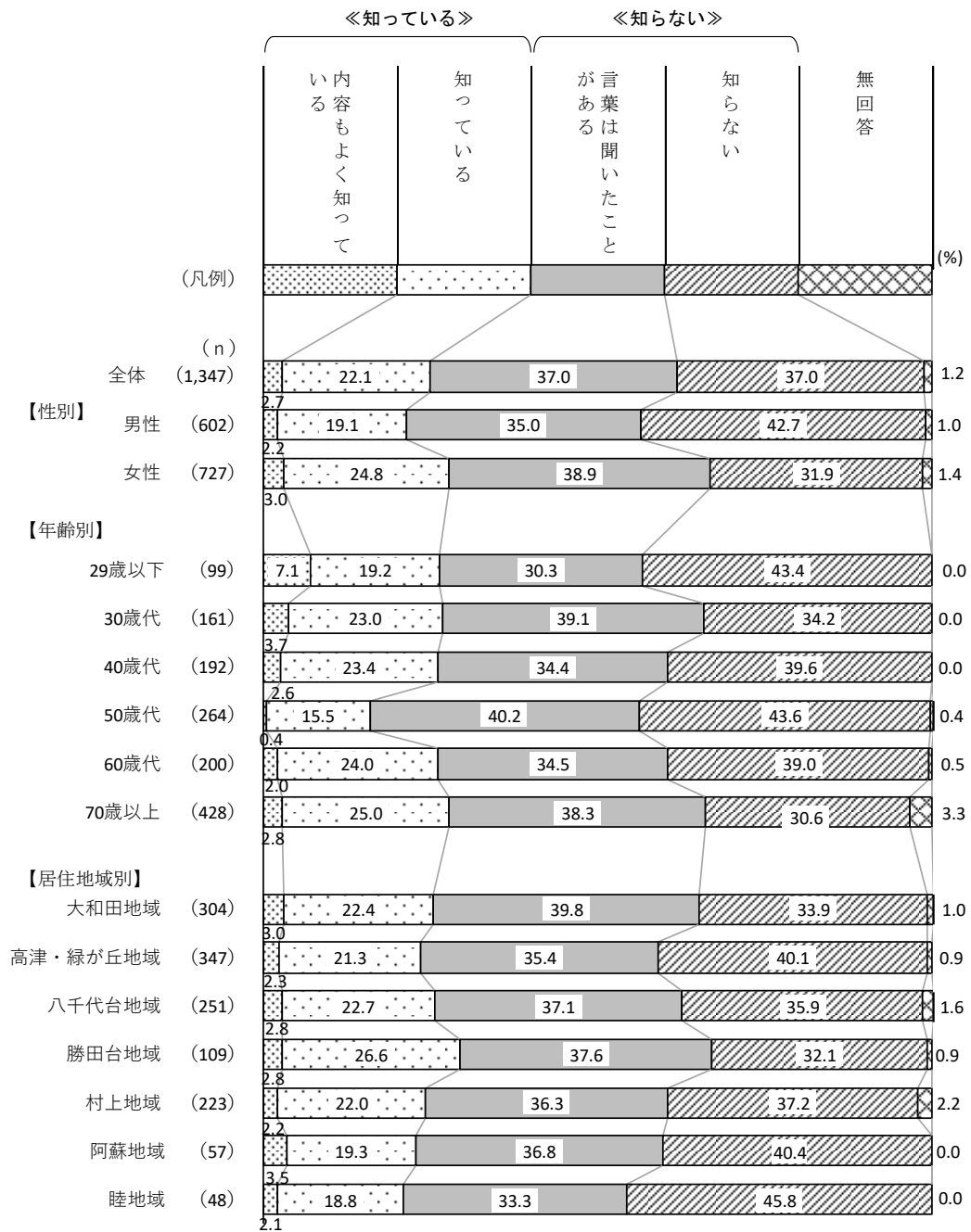
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では，《知っている》の割合は女性（27.8%）の方が男性（21.3%）より6.5ポイント多くなっている。

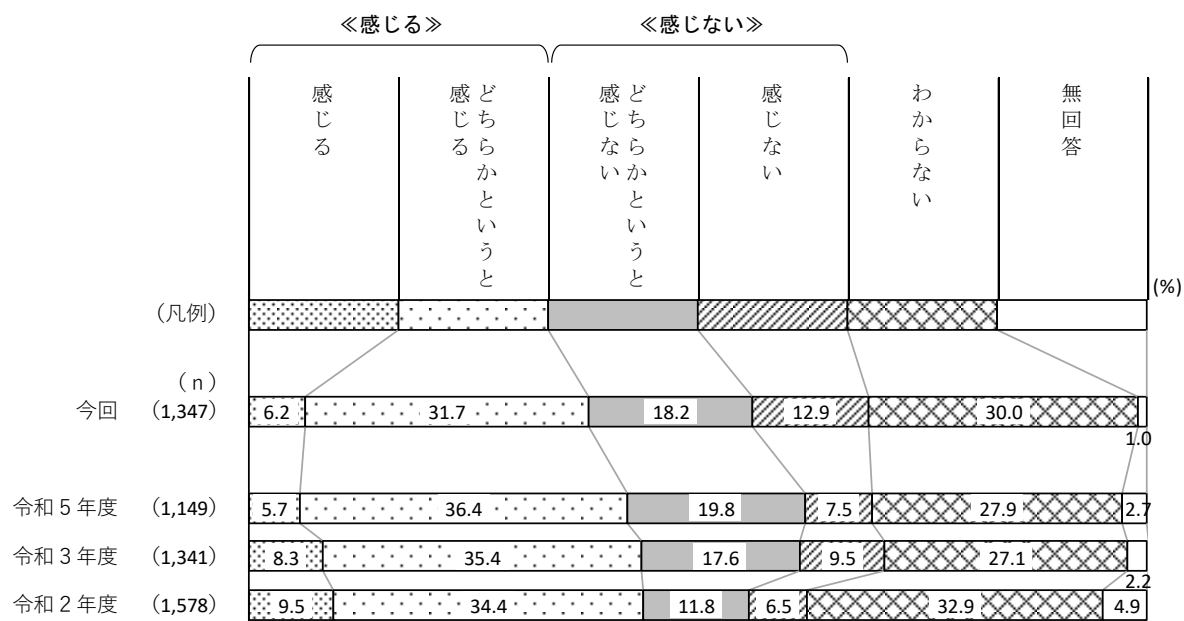
年齢別では，《知っている》の割合は70歳以上が27.8%で最も多く，30歳代（26.7%），29歳以下（26.3%）が続いている。

居住地域別では，《知っている》の割合は勝田台地域が29.4%で最も多く，八千代台地域（25.5%），大和田地域（25.4%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問6 子育てしやすいまちと感じていますか。



子育てしやすいまちは、「感じる」（6.2%）、「どちらかというと感じる」（31.7%）となっており、これらを合わせた《感じる》は37.9%となっている。なお、「わからない」は30.0%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は4.2ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は6.0ポイント減少している。

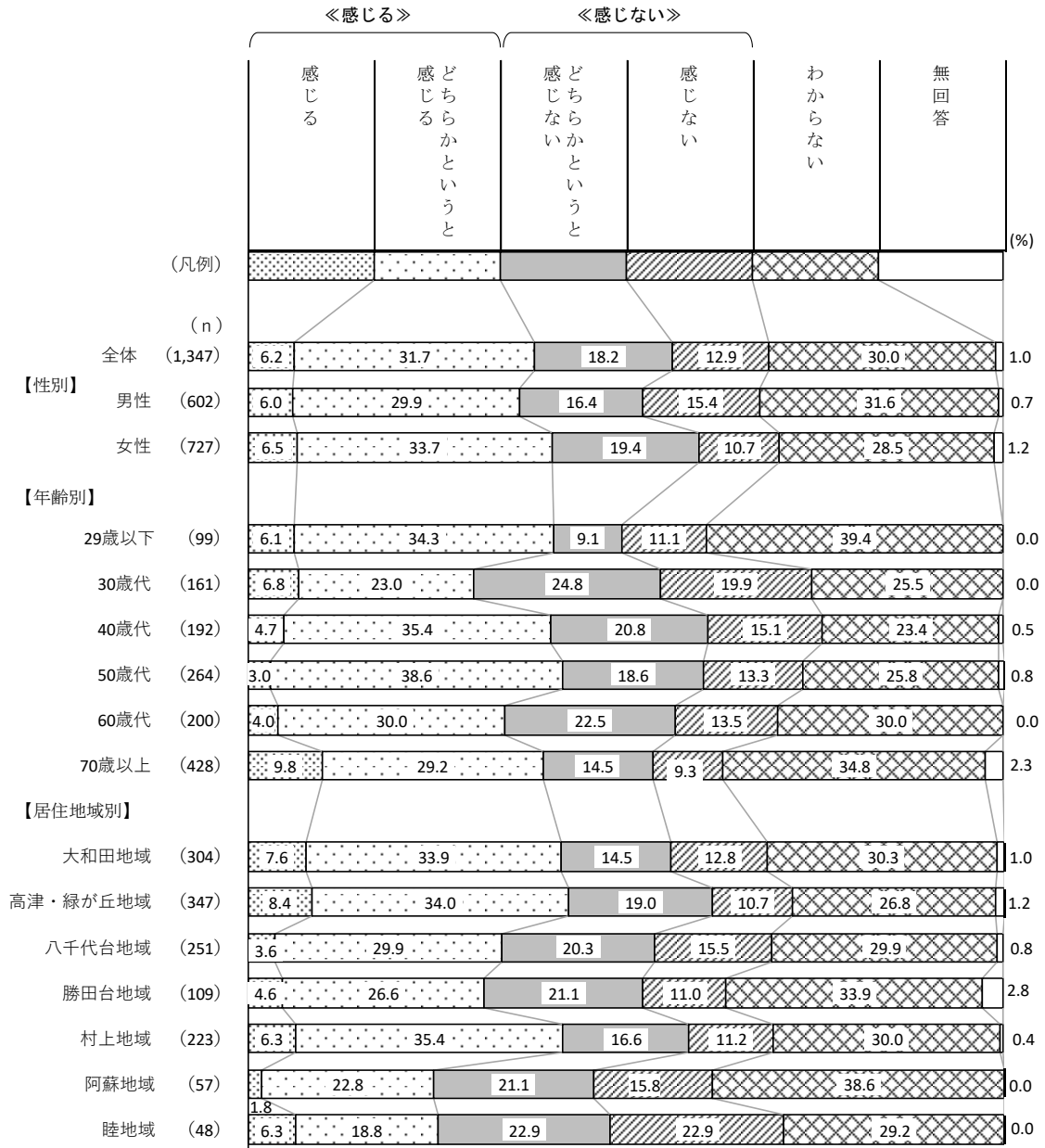
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性（40.2%）の方が男性（35.9%）より4.3ポイント多くなっている。

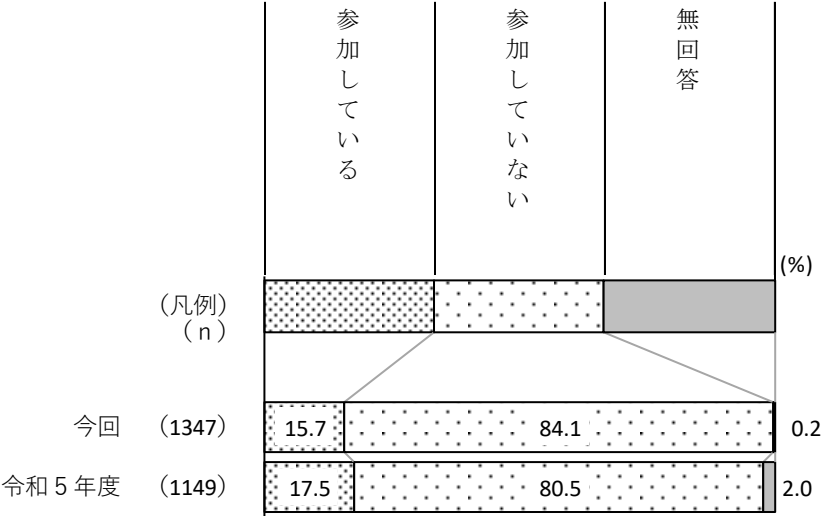
年齢別では、《感じる》の割合は50歳代が41.6%で最も多く、29歳以下（40.4%）、40歳代（40.1%）が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は高津・緑が丘地域が42.4%で最も多く、村上地域（41.7%）、大和田地域（41.5%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問7 ボランティアや地域活動に参加していますか。



ボランティアや地域活動に「参加している」が 15.7%、「参加していない」が 84.1%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、「参加している」の割合は 1.8 ポイント減少している。

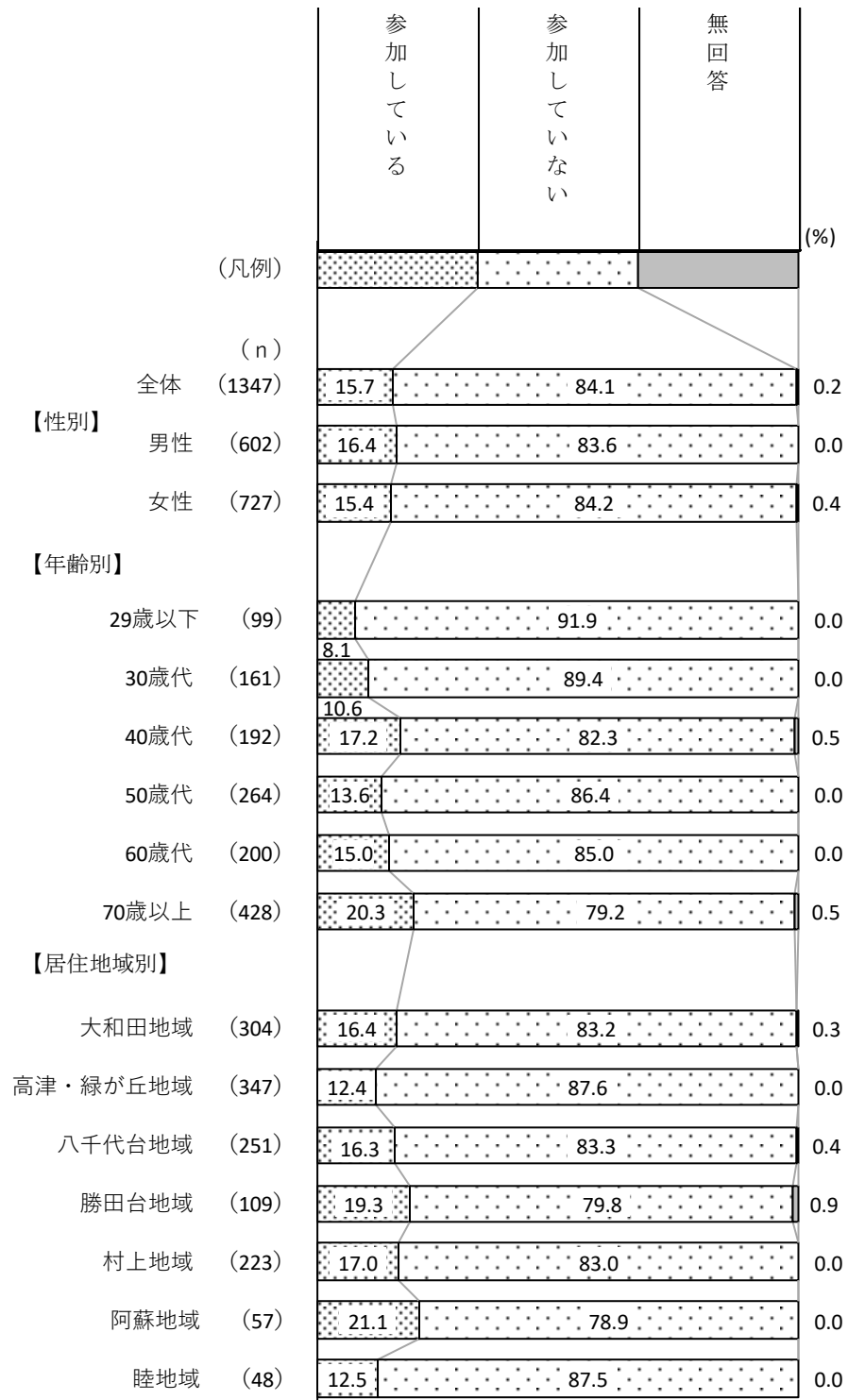
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、「参加している」の割合は男性（16.4%）の方が女性（15.4%）よりも 1.0 ポイント多くなっている。

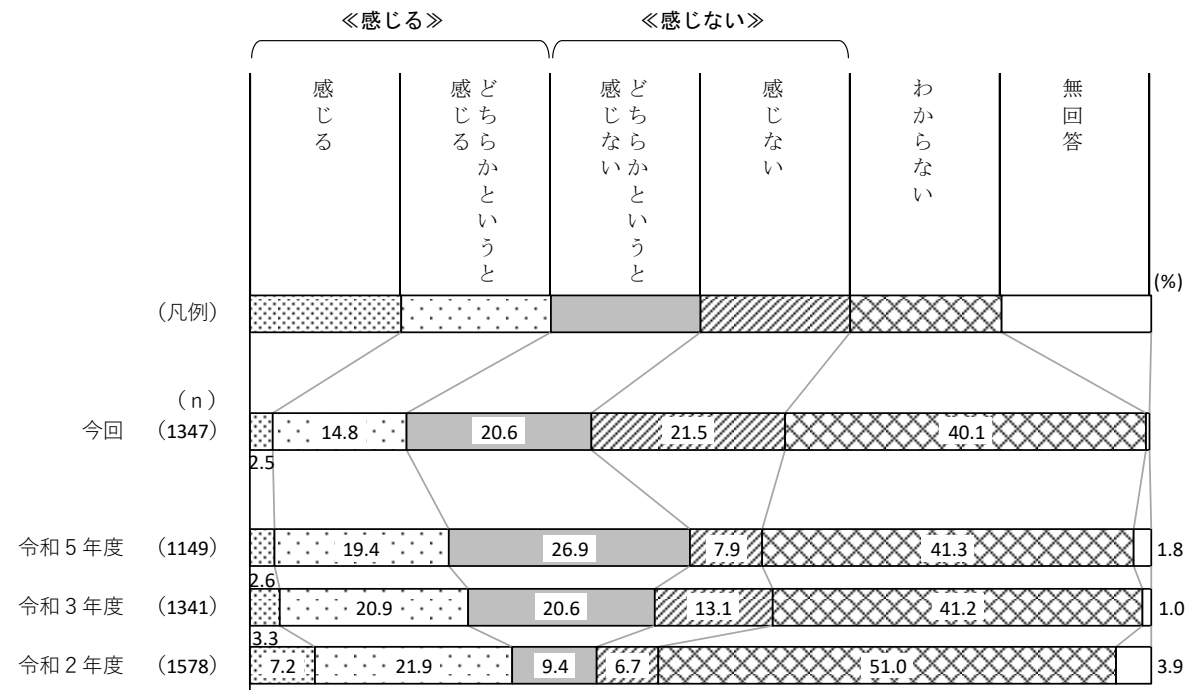
年齢別では、「参加している」の割合は 70 歳以上が 20.3%で最も多く、40 歳代（17.2%），60 歳代（15.0%）が続いている。

居住地域別では、「参加している」の割合は阿蘇地域が 21.1%で最も多く、勝田台地域（19.3%），村上地域（17.0%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 8 高齢者福祉サービスが充実していると感じていますか。



高齢者福祉サービスの充実は、「わからない」が 40.1%で最も多くなっている。「感じる」(2.5%)、「どちらかというと感じる」(14.8%)となっており、これらを合わせた《感じる》は 17.3%となっている。

前回（令和 5 年度）調査と比較すると，《感じる》の割合は 4.7 ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和 2 年度調査と比較すると，《感じる》の割合は 11.8 ポイント減少している。

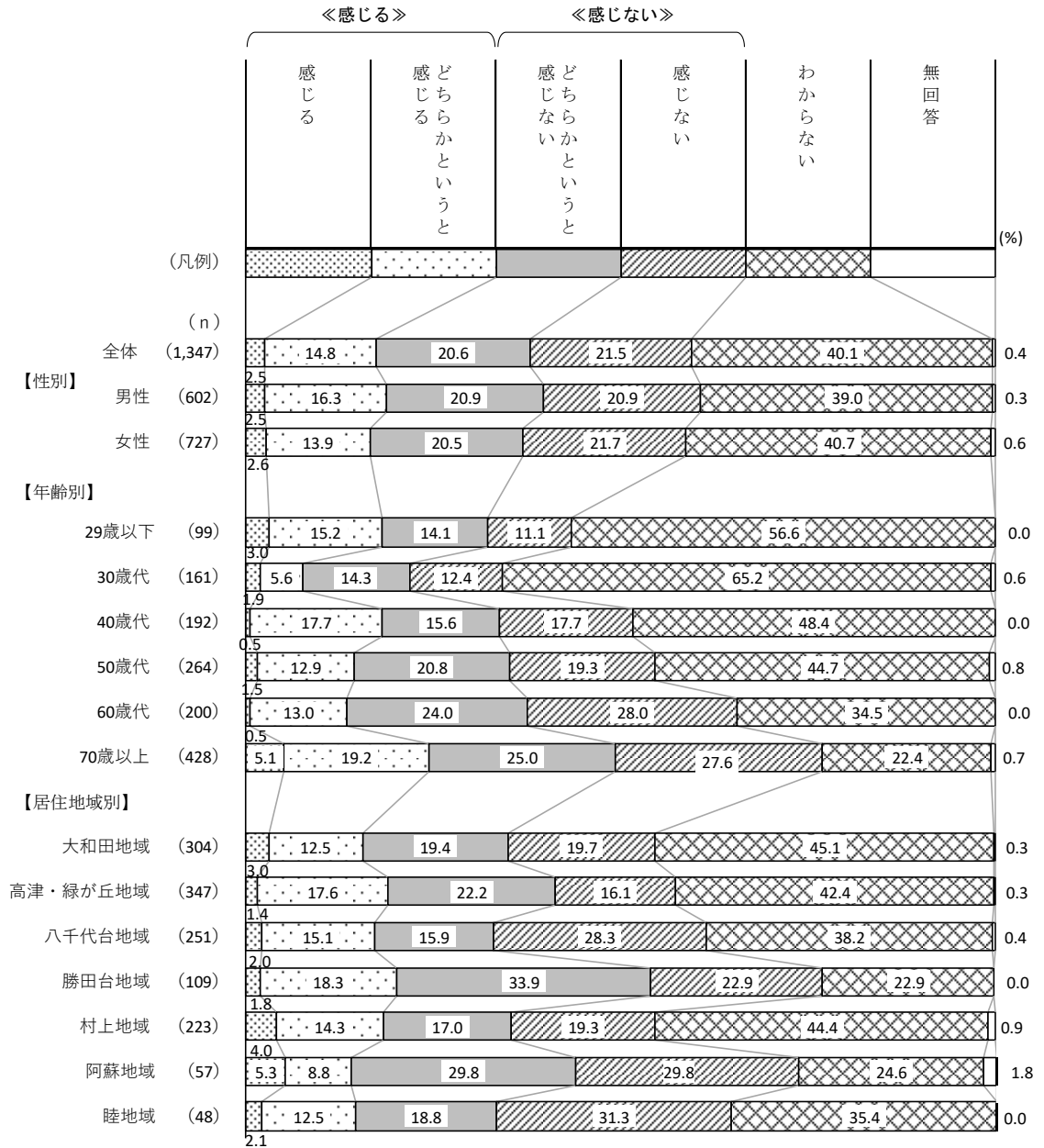
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では，《感じる》の割合は男性（18.8%）の方が女性（16.5%）より 2.3 ポイント多くなっている。

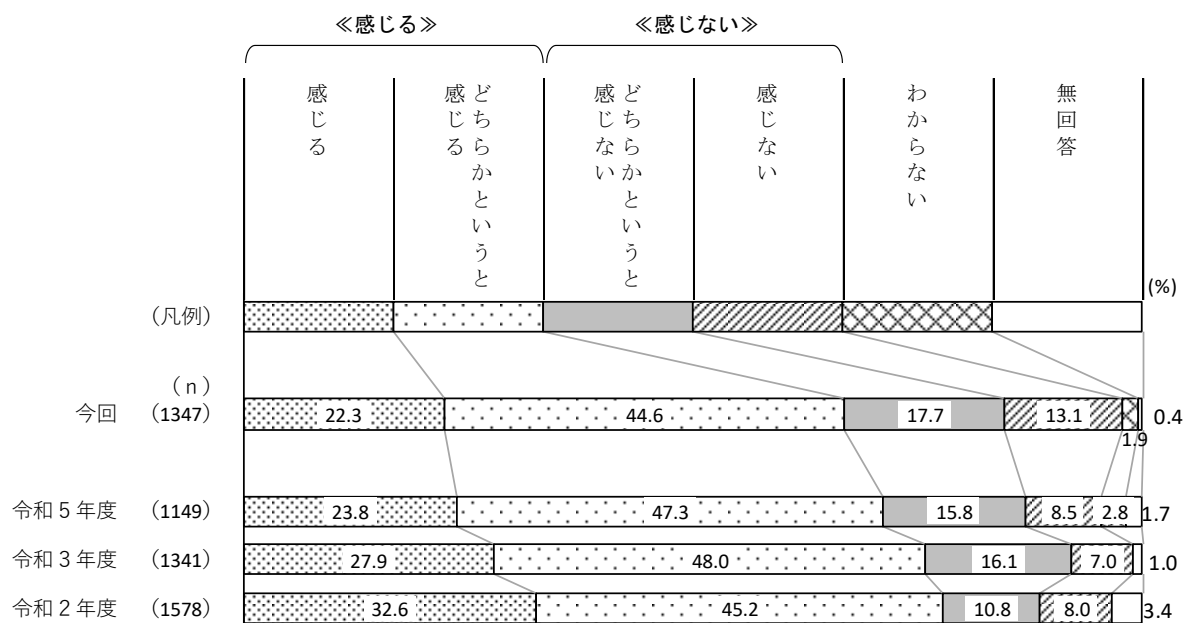
年齢別では，《感じる》の割合は 70 歳以上が 24.3%で最も多く，29 歳以下（18.2%）と 40 歳代（18.2%）が同率で続いている。

居住地域別では，《感じる》の割合は勝田台地域が 20.1%で最も多く，高津・緑が丘地域（19.0%），村上地域（18.3%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 9 自分が健康だと感じていますか。



自分が健康であるかは、「感じる」(22.3%)、「どちらかというと感じる」(44.6%)となっており、これらを合わせた《感じる》は66.9%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は4.2ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は10.9ポイント減少している。

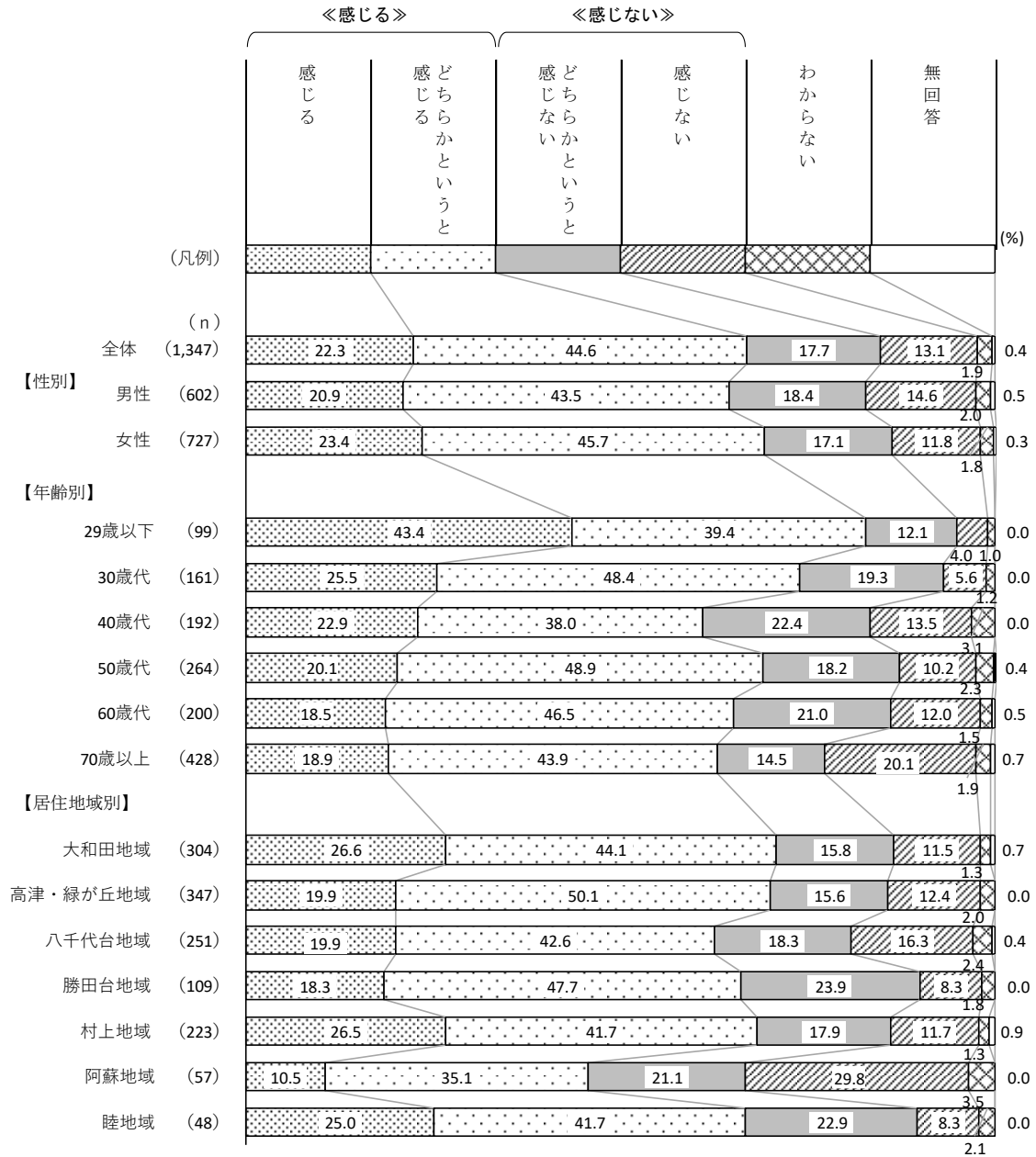
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性(69.1%)の方が男性(64.4%)より4.7ポイント多くなっている。

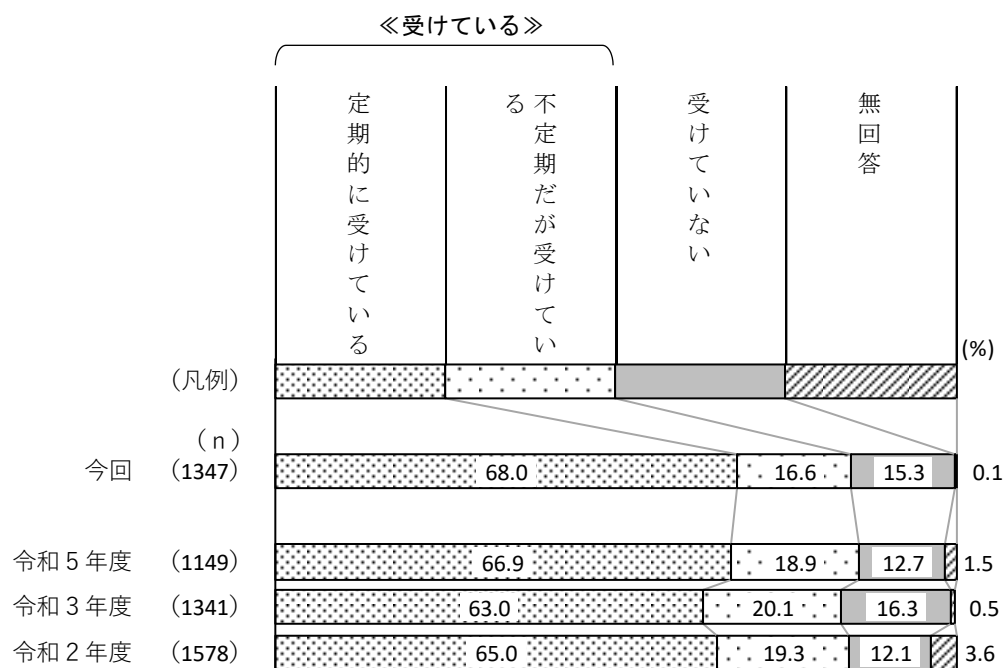
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が82.8%で最も多く、30歳代(73.9%)、50歳代(69.0%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は大和田地域が70.7%で最も多く、高津・緑が丘地域(70.0%)、村上地域(68.2%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 10 定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。



健康診断・健康診査や人間ドックを「定期的に受けている」が 68.0%で最も多く、「不定期だが受けている」が 16.6%、「受けていない」が 15.3%が続いている。「不定期」を含めた《受けている》の合計は 84.6%となっている。

前回（令和 5 年度）調査と比較すると，《受けている》は 1.2 ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和 2 年度調査と比較すると，《受けている》の割合は 0.3 ポイント増加している。

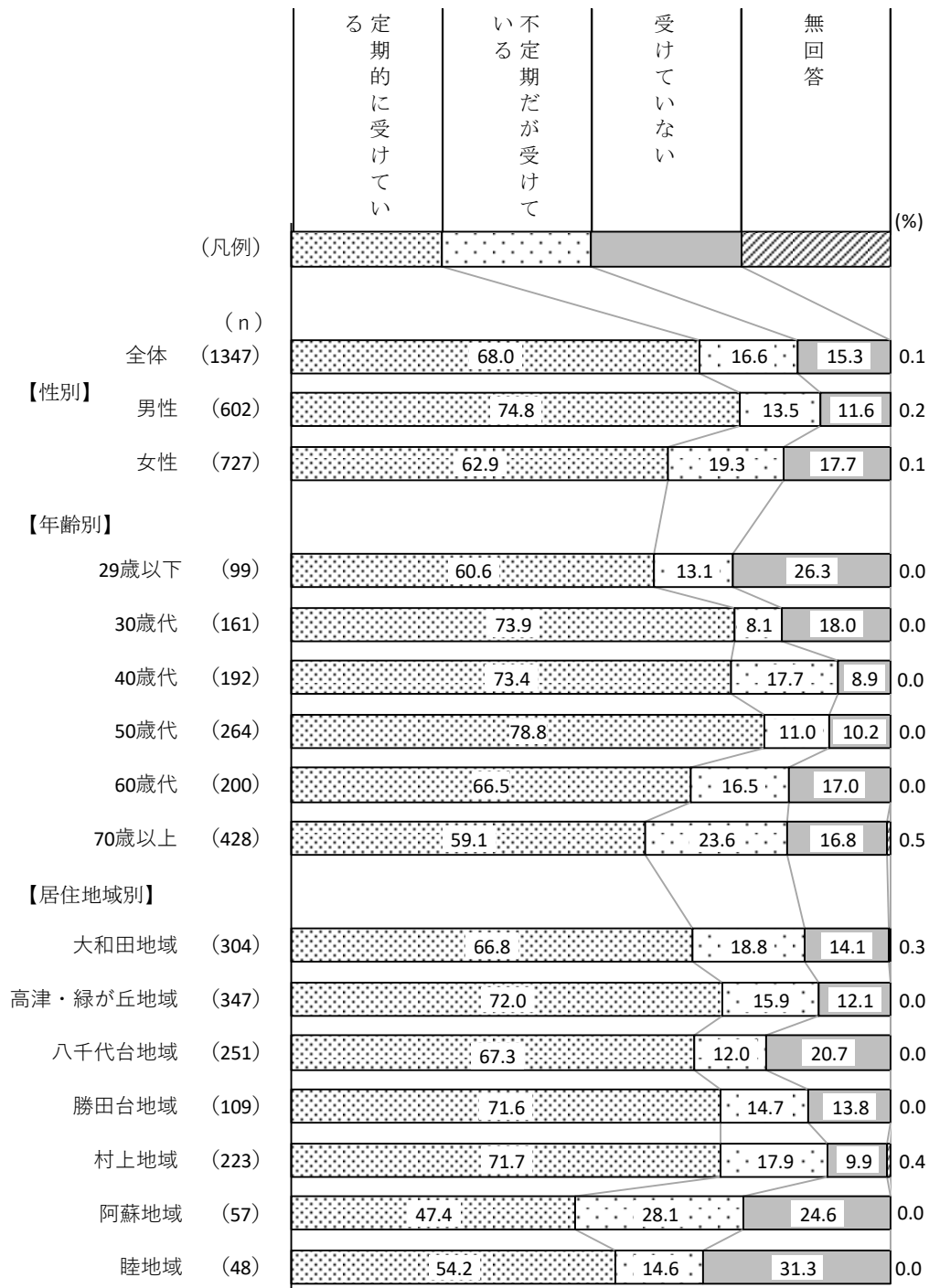
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では，《受けている》の割合は男性（88.3%）の方が女性（82.2%）よりも 6.1 ポイント多くなっている。

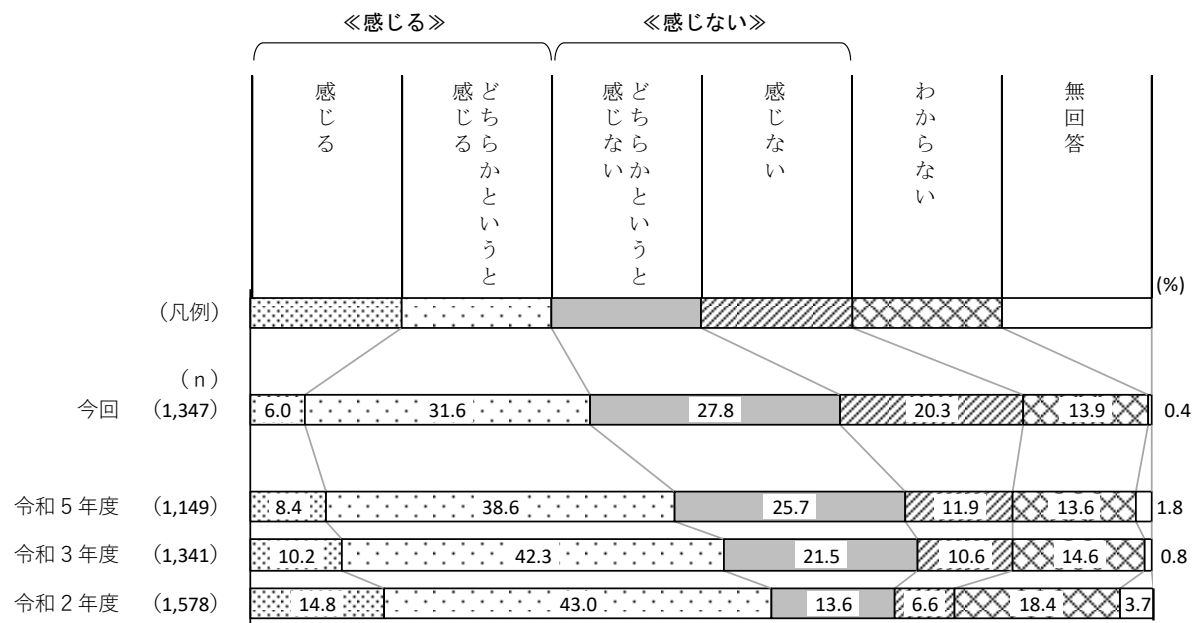
年齢別では，《受けている》の割合は 40 歳代が 91.1%で最も多く，50 歳代（89.8%），60 歳代（83.0%）が続いている。

居住地域別では，《受けている》の割合は村上地域が 89.6%で最も多く，高津・緑が丘地域（87.9%），勝田台地域（86.3%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 11 地域医療体制が整っていると感じていますか。



地域医療体制が整っているかは、「感じる」（6.0%）、「どちらかというと感じる」（31.6%）となっており、これらを合わせた《感じる》は、37.6%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は9.4ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は20.2ポイント減少している。

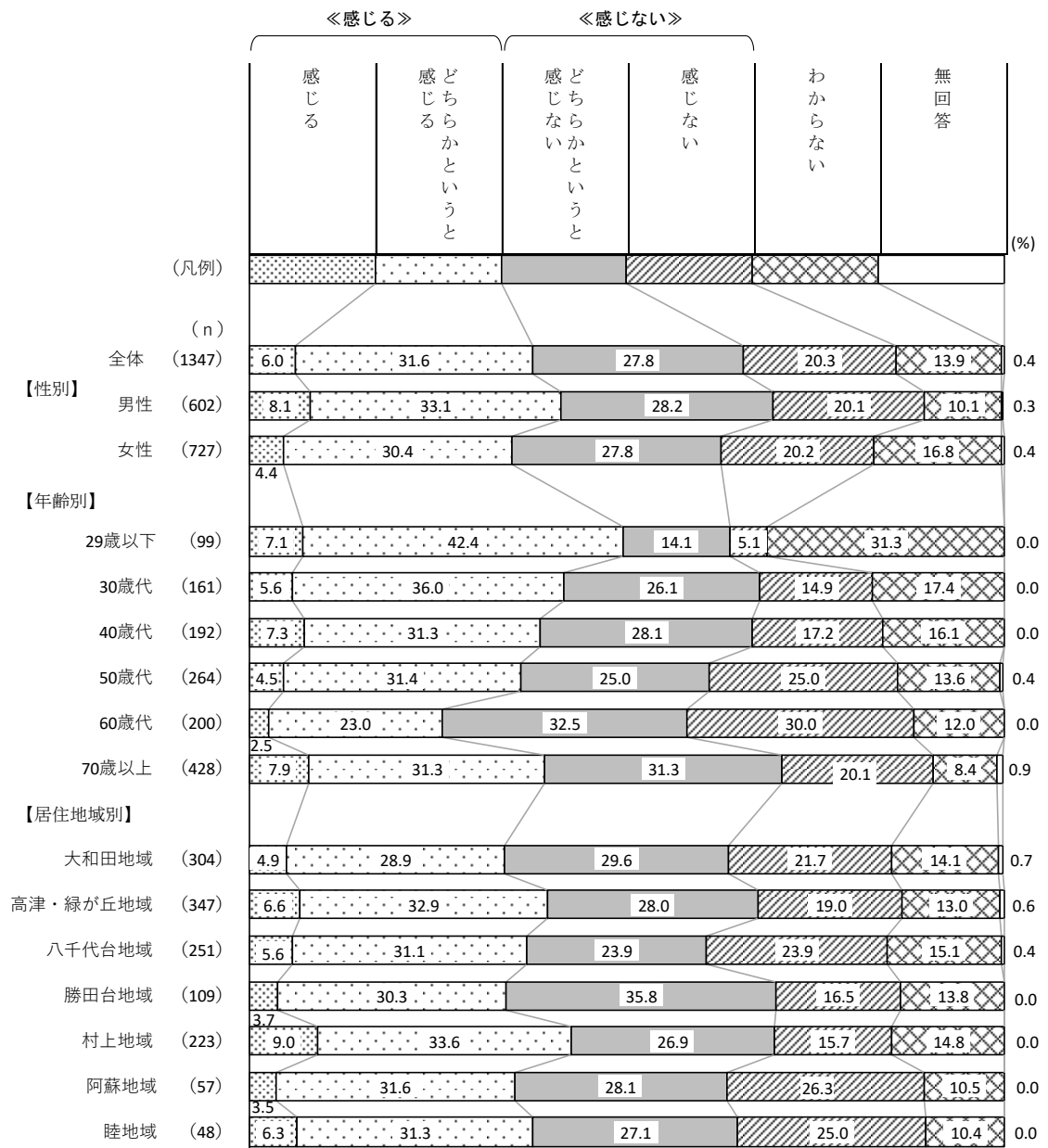
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性（41.2%）の方が女性（34.8%）より6.4ポイント多くなっている。

年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が49.5%で最も多く、30歳代（41.6%）、70歳以上（39.2%）が続いている。

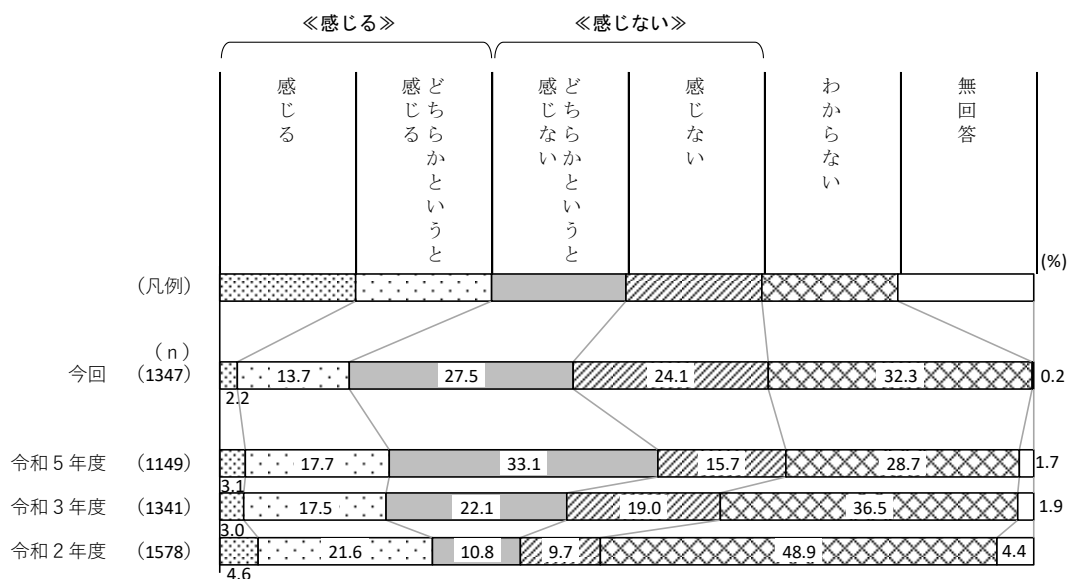
居住地域別では、《感じる》の割合は村上地域が42.6%で最も多く、高津・緑が丘地域（39.5%）、睦地域（37.6%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



《豊かな心と文化を育むまちづくり》

問 12 生涯学習情報が得られやすいと感じていますか。



生涯学習情報の得やすさは、「感じる」(2.2%)、「どちらかというと感じる」(13.7%)となっており、これらを合わせた《感じる》は15.9%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(27.5%)、「感じない」(24.1%)となっており、これらを合わせた《感じない》は、51.6%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は4.9ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は10.3ポイント減少している。

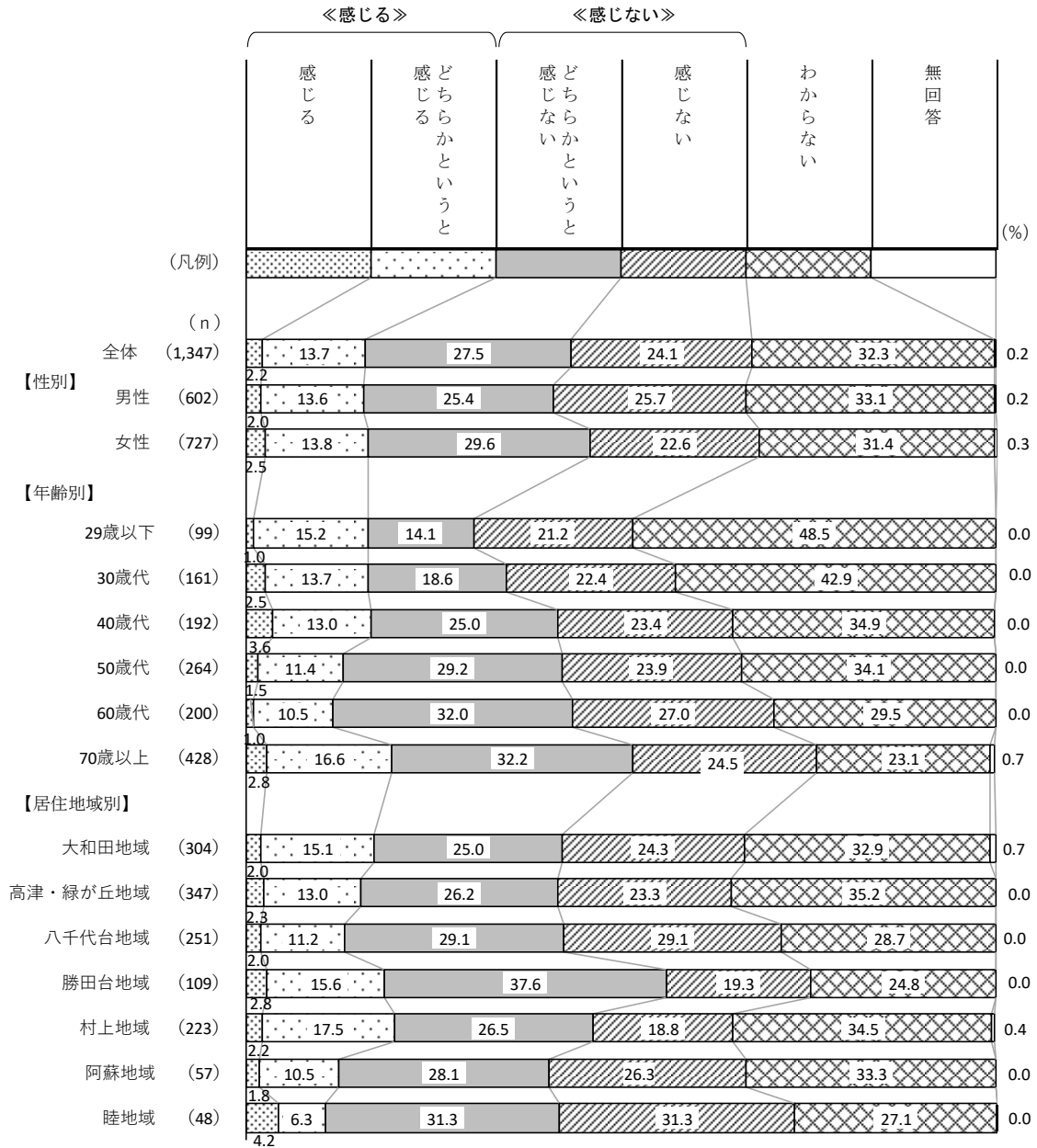
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じない》の割合は女性(16.3%)の方が男性(15.6%)よりも0.7ポイント多くなっている。

年齢別では、《感じる》の割合は70歳以上が19.4%で最も多く、40歳代(16.6%)、29歳以下(16.2%)と30歳代(16.2%)が同率で続いている。

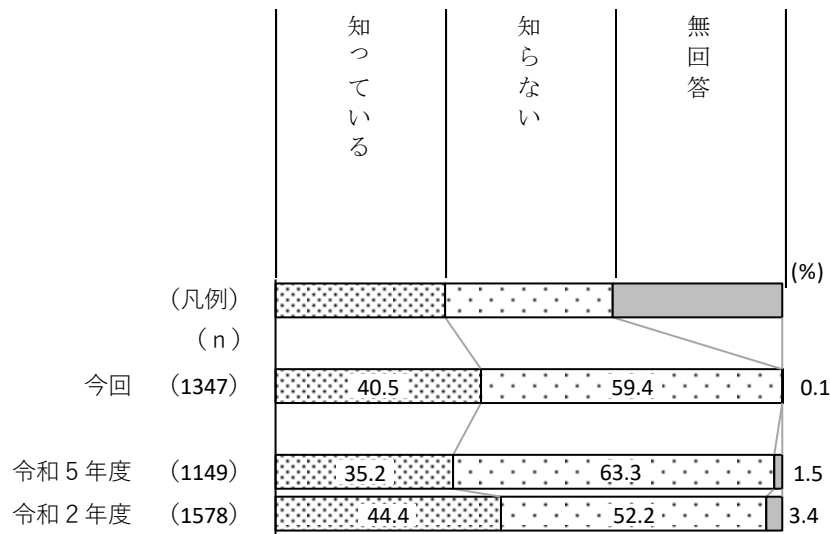
居住地域別では、《感じる》の割合は村上地域が19.7%で最も多く、勝田台地域(18.4%)、大和田地域(17.1%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



《安心・安全に暮らせるまちづくり》

問 13 消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っていますか。



消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることの認知度は、「知っている」が 40.5%、「知らない」が 59.4%となっている。

前回（令和 5 年度）調査と比較すると、「知っている」の割合は 5.3 ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和 2 年度調査と比較すると「知っている」の割合は 3.9 ポイント減少している。

《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、「知っている」の割合は女性（41.8%）の方が男性（38.5%）より 3.3 ポイント多くなっている。

年齢別では、「知っている」の割合は 60 歳代が 45.0%で最も多く、70 歳以上（44.2%），40 歳代（42.2%）が続いている。

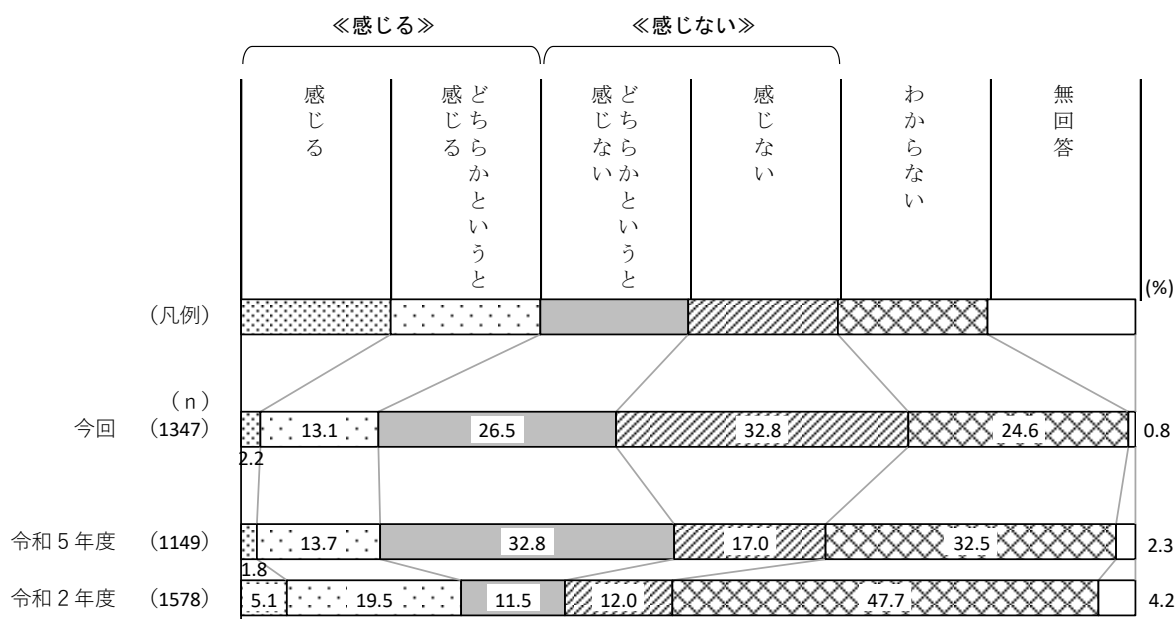
居住地域別では、「知っている」の割合は勝田台地域が 45.9%で最も多く、村上地域（44.4%），大和田地域（43.1%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>

			知っている	知らない	無回答	(%)
	(凡例)					
	(n)					
【性別】	全体	(1347)	40.5	59.4		0.1
	男性	(602)	38.5	61.5		0.0
	女性	(727)	41.8	57.9		0.3
【年齢別】						
	29歳以下	(99)	24.2	75.8		0.0
	30歳代	(161)	34.8	65.2		0.0
	40歳代	(192)	42.2	57.8		0.0
	50歳代	(264)	39.4	60.6		0.0
	60歳代	(200)	45.0	55.0		0.0
	70歳以上	(428)	44.2	55.4		0.5
【居住地域別】						
	大和田地域	(304)	43.1	56.6		0.3
	高津・緑が丘地域	(347)	36.9	63.1		0.0
	八千代台地域	(251)	39.8	60.2		0.0
	勝田台地域	(109)	45.9	53.2		0.9
	村上地域	(223)	44.4	55.6		0.0
	阿蘇地域	(57)	35.1	64.9		0.0
	睦地域	(48)	25.0	75.0		0.0

《快適で環境にやさしいまちづくり》

問 14 地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じますか。



地域の特性を活かした土地利用が図られているかは、「感じる」(2.2%)、「どちらかというと感じる」(13.1%)となっており、これらを合わせた《感じる》は15.3%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は0.2ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は9.3ポイント減少している。

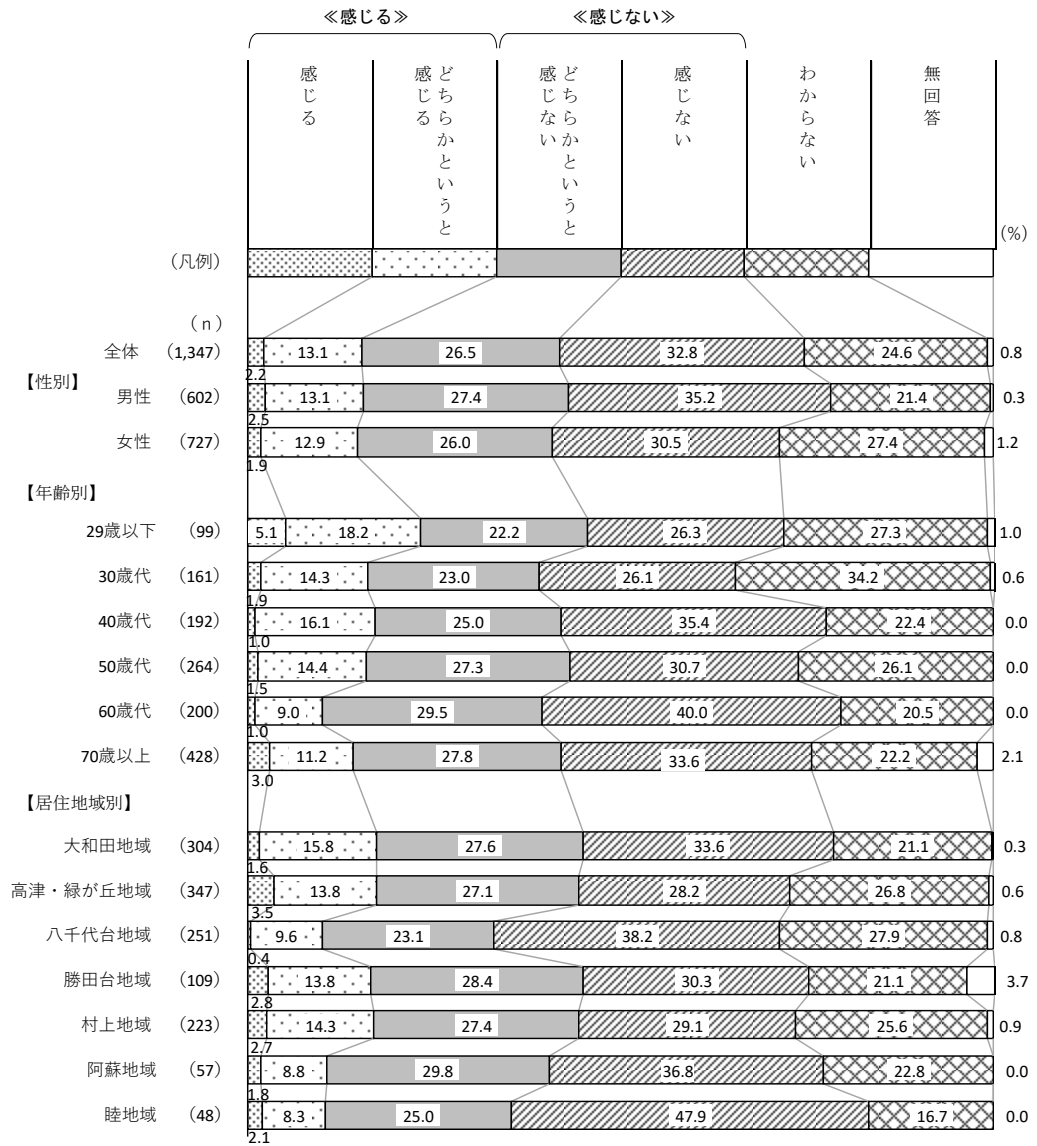
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(15.6%)の方が女性(14.8%)よりも0.8ポイント多くなっている。

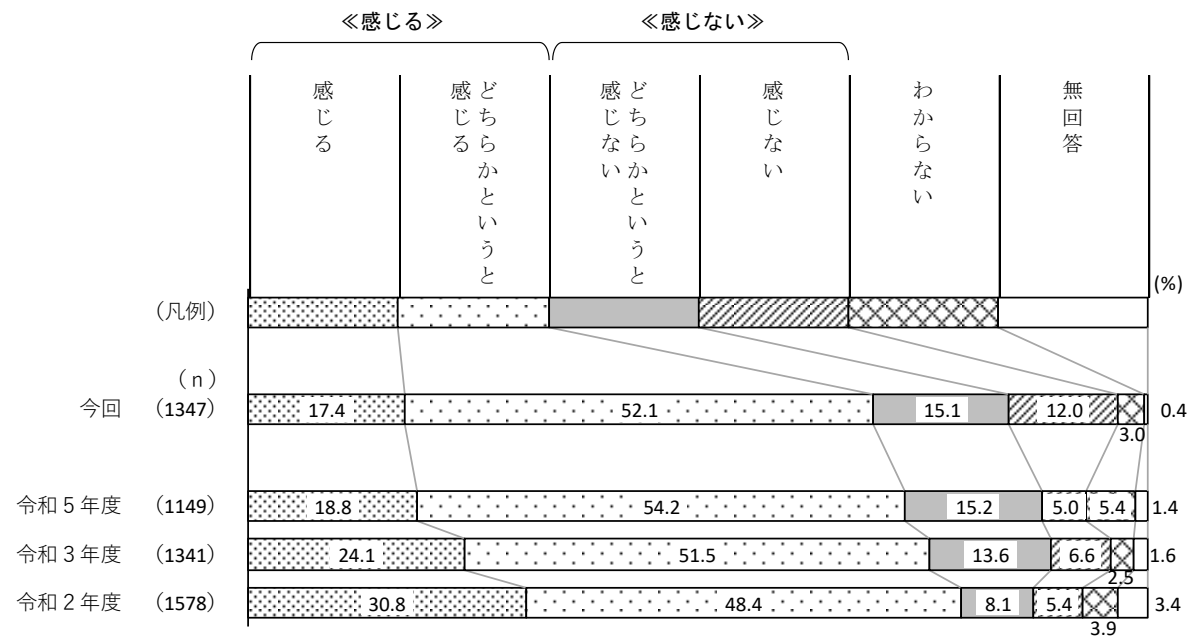
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が23.3%で最も多く、40歳代(17.1%)、30歳代(16.2%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は大和田地域が17.4%で最も多く、高津・緑が丘地域(17.3%)、村上地域(17.0%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 15 緑豊かなまちと感じていますか。



緑豊かなまちであるかは、「どちらかというと感じる」が 52.1%と過半数を占め、これに「感じる」の 17.4%を加えた《感じる》の割合は 69.5%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると，《感じる》の割合は 3.5 ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると，《感じる》の割合は 9.7 ポイント減少している。

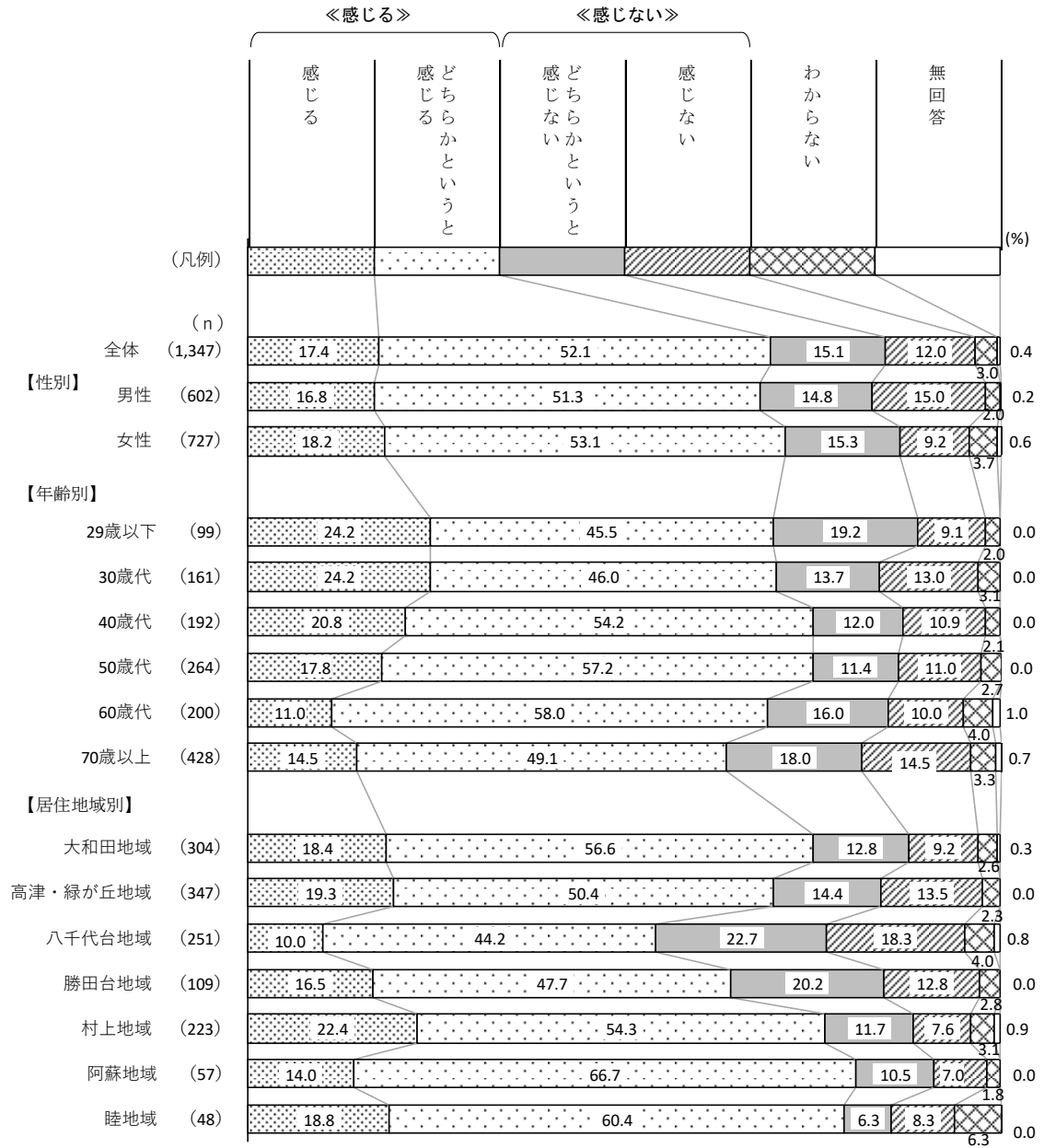
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では，《感じる》の割合は女性（71.3%）の方が男性（68.1%）より 3.2 ポイント多くなっている。

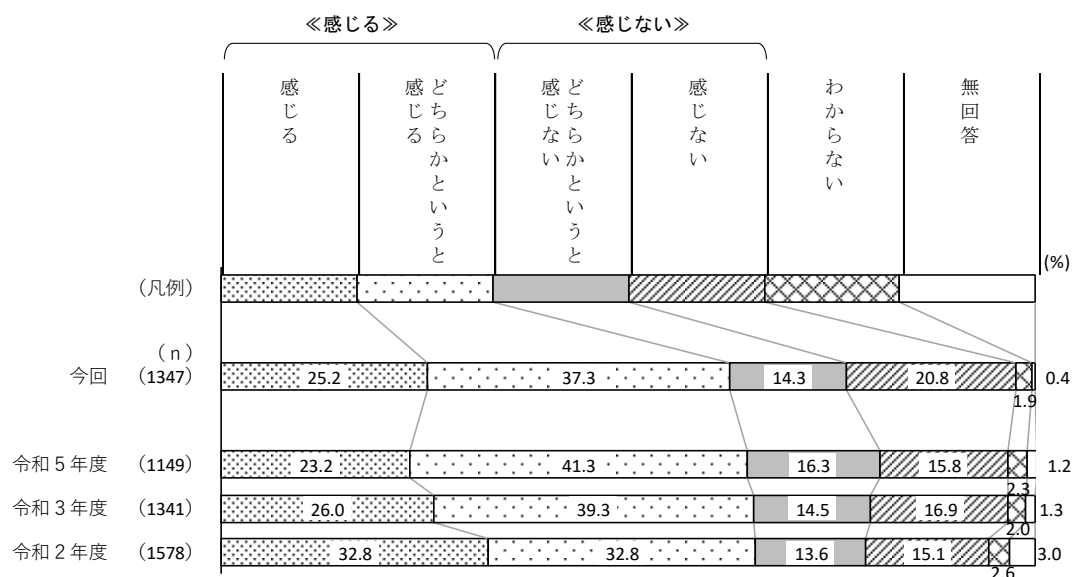
年齢別では，《感じる》の割合は 40 歳代、50 歳代がともに 75.0%で最も多く、30 歳代（70.2%）が続いている。

居住地域別では，《感じる》の割合は阿蘇地域が 80.7%で最も多く、睦地域（79.2%）、村上地域（76.7%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 16 鉄道が利用しやすいと感じていますか。



鉄道の利用しやすさについて、「感じる」(25.2%)、「どちらかというと感じる」(37.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は62.5%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は2.0ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は3.1ポイント減少している。

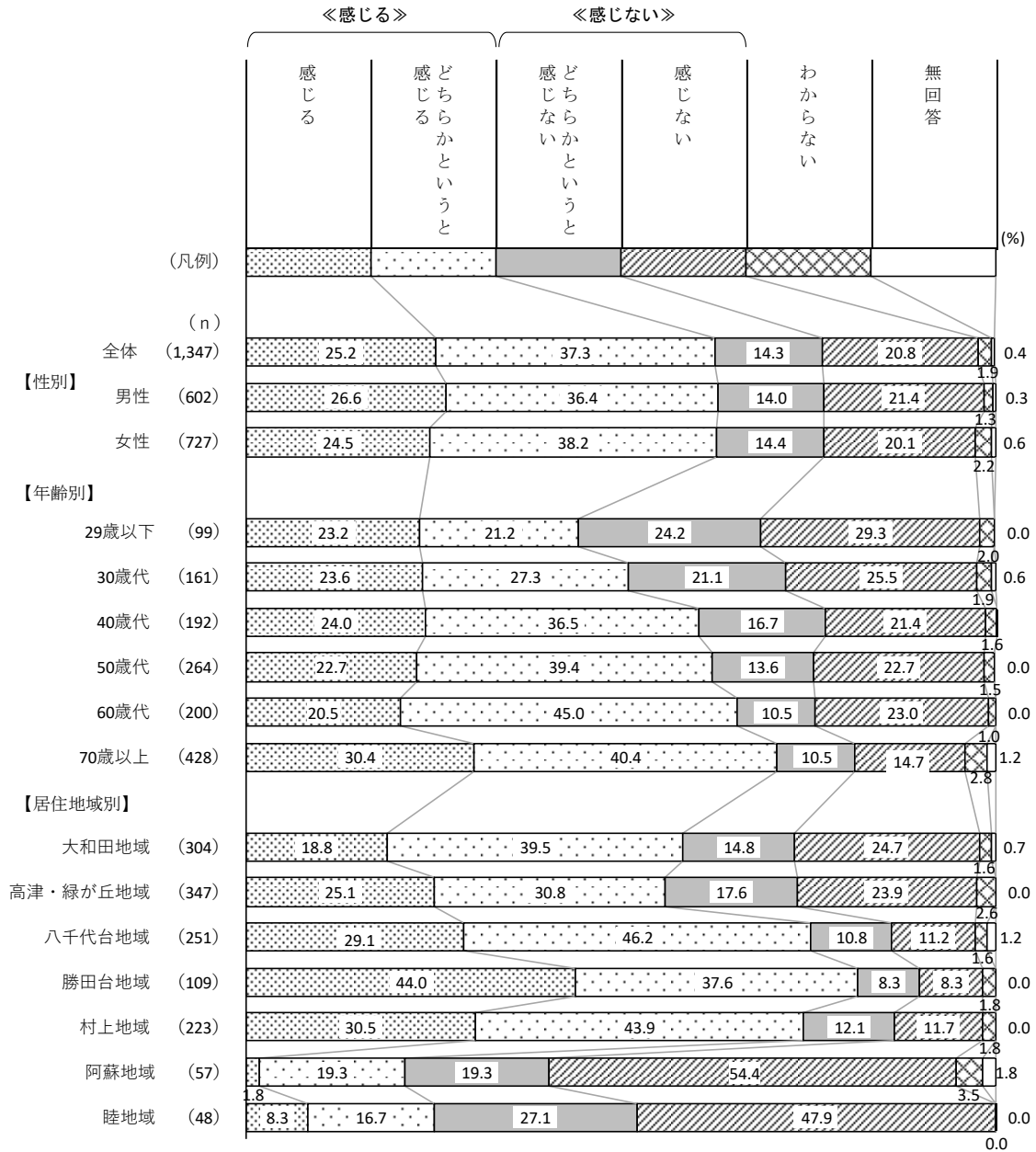
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(63.0%)の方が女性(62.7%)より0.3ポイント多くなっている。

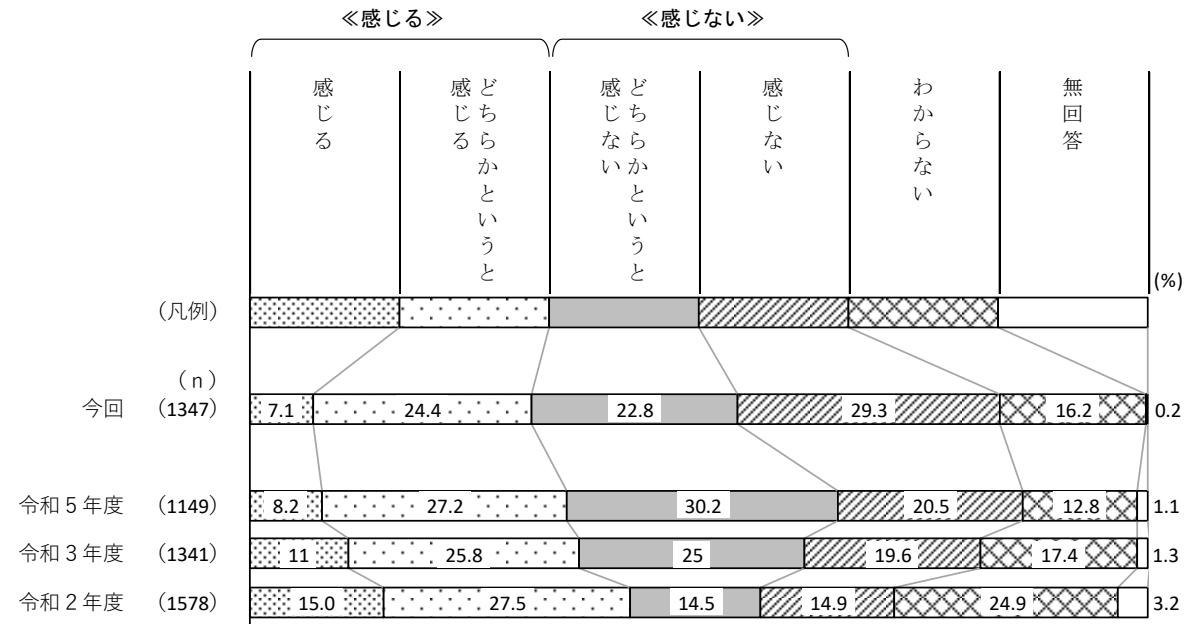
年齢別では、《感じる》の割合は70歳以上が70.8%で最も多く、60歳代(65.5%)、50歳代(62.1%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が81.6%で最も多く、八千代台地域(75.3%)、村上地域(74.4%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 17 市内のバスが利用しやすいと感じていますか。



バスの利用しやすさは、「感じる」（7.1%）、「どちらかというと感じる」（24.4%）となっており、これらを合わせた《感じる》は31.5%となっている。一方、「どちらかというと感じない」（22.8%）、「感じない」（29.3%）を合わせた《感じない》の割合は52.1%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は3.9ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は11.0ポイント減少している。

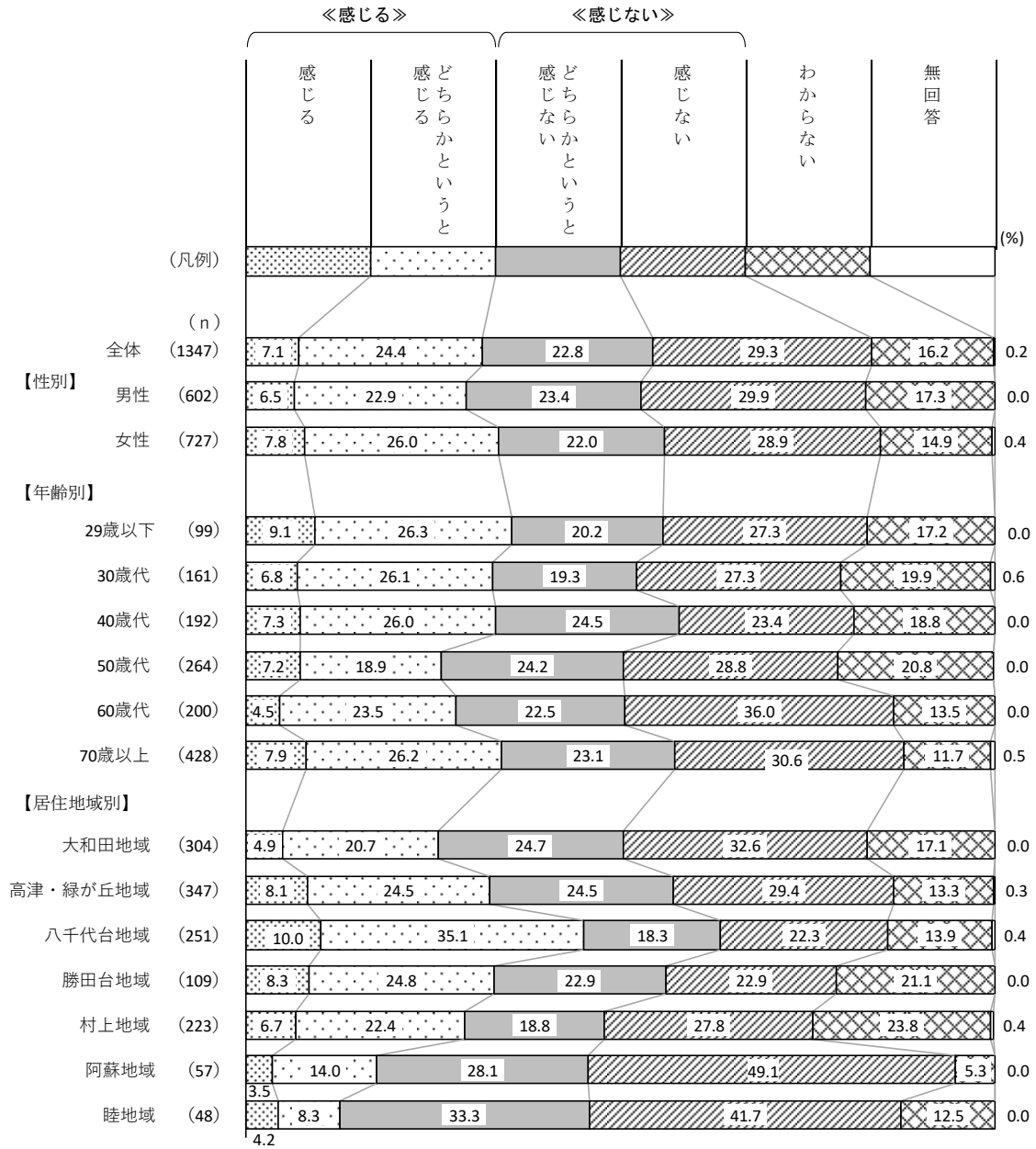
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性（33.8%）の方が男性（29.4%）より4.4ポイント多くなっている。

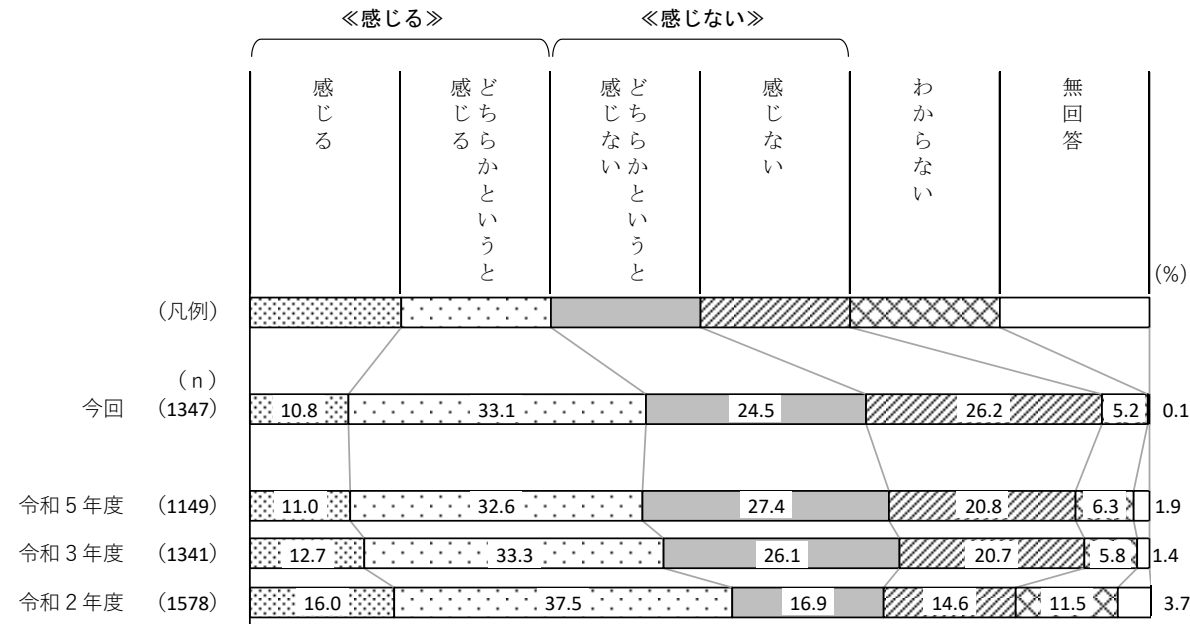
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が35.4%で最も多く、70歳以上（34.1%）、40歳代（33.3%）が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は八千代台地域が45.1%で最も多く、勝田台地域（33.1%）、高津・緑が丘地域（32.6%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 18 市内・市外間の移動がしやすいと感じていますか。



市内・市外間の移動のしやすさは、「感じる」(10.8%)、「どちらかというと感じる」(33.1%)となっており、これらを合わせた《感じる》は43.9%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(24.5%)、「感じない」(26.2%)を合わせた《感じない》は、50.7%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は0.3ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は9.6ポイント減少している。

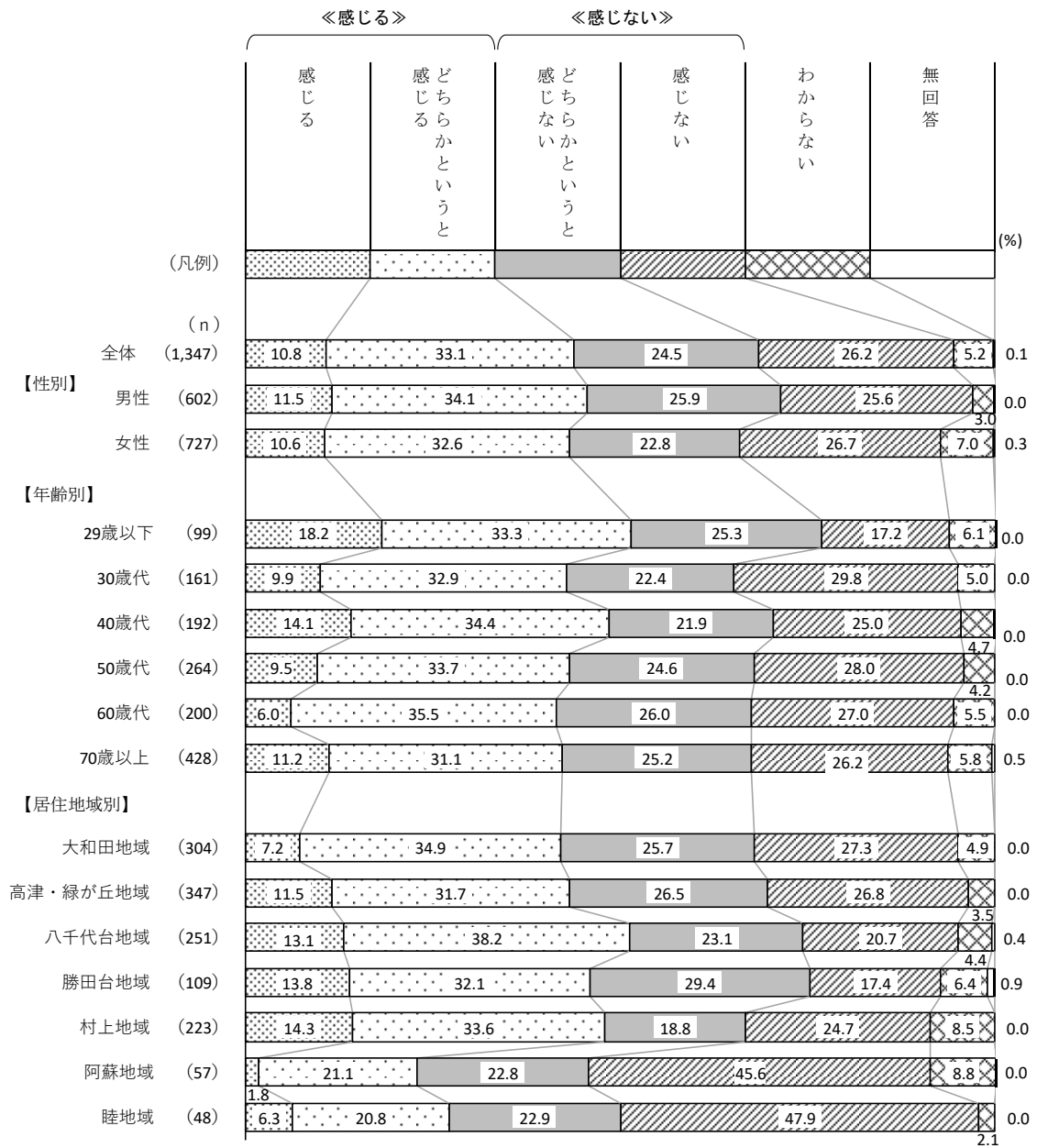
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(45.6%)の方が女性(43.2%)よりも2.4ポイント多くなっている。

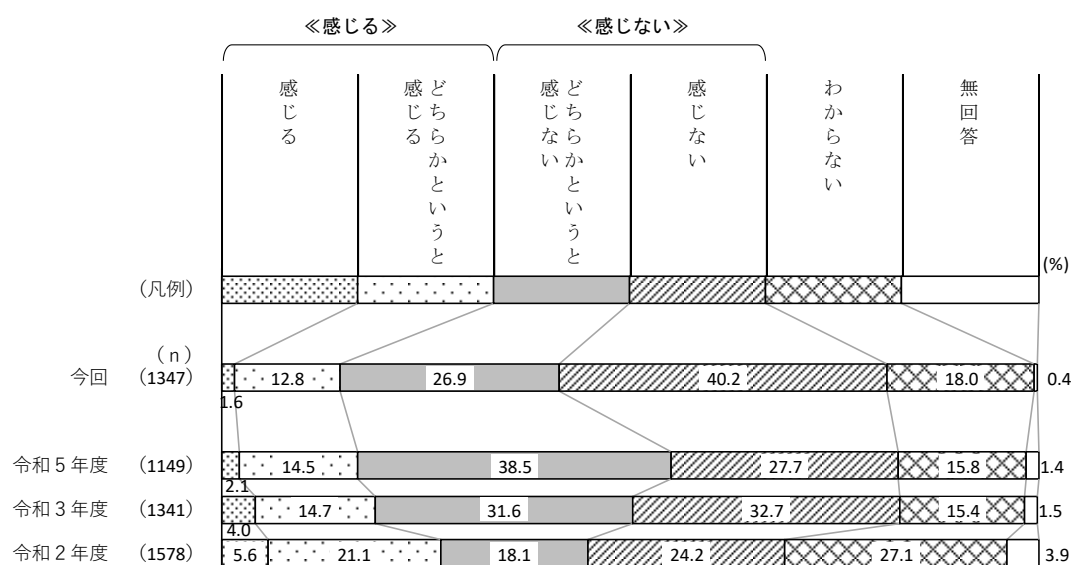
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が51.5%で最も多く、40歳代(48.5%)、50歳代(43.2%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は八千代台地域が51.3%で最も多く、村上市域(47.9%)、勝田台地域(45.9%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 19 交通弱者にやさしい交通環境と感じていますか。



交通弱者にやさしい交通環境であるかは、「感じる」（1.6%）、「どちらかというと感じる」（12.8%）となっており、これらを合わせた《感じる》は14.4%となっている。一方、「どちらかというと感じない」（26.9%）、「感じない」（40.2%）を合わせた《感じない》は、67.1%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は2.2ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は12.3ポイント減少している。

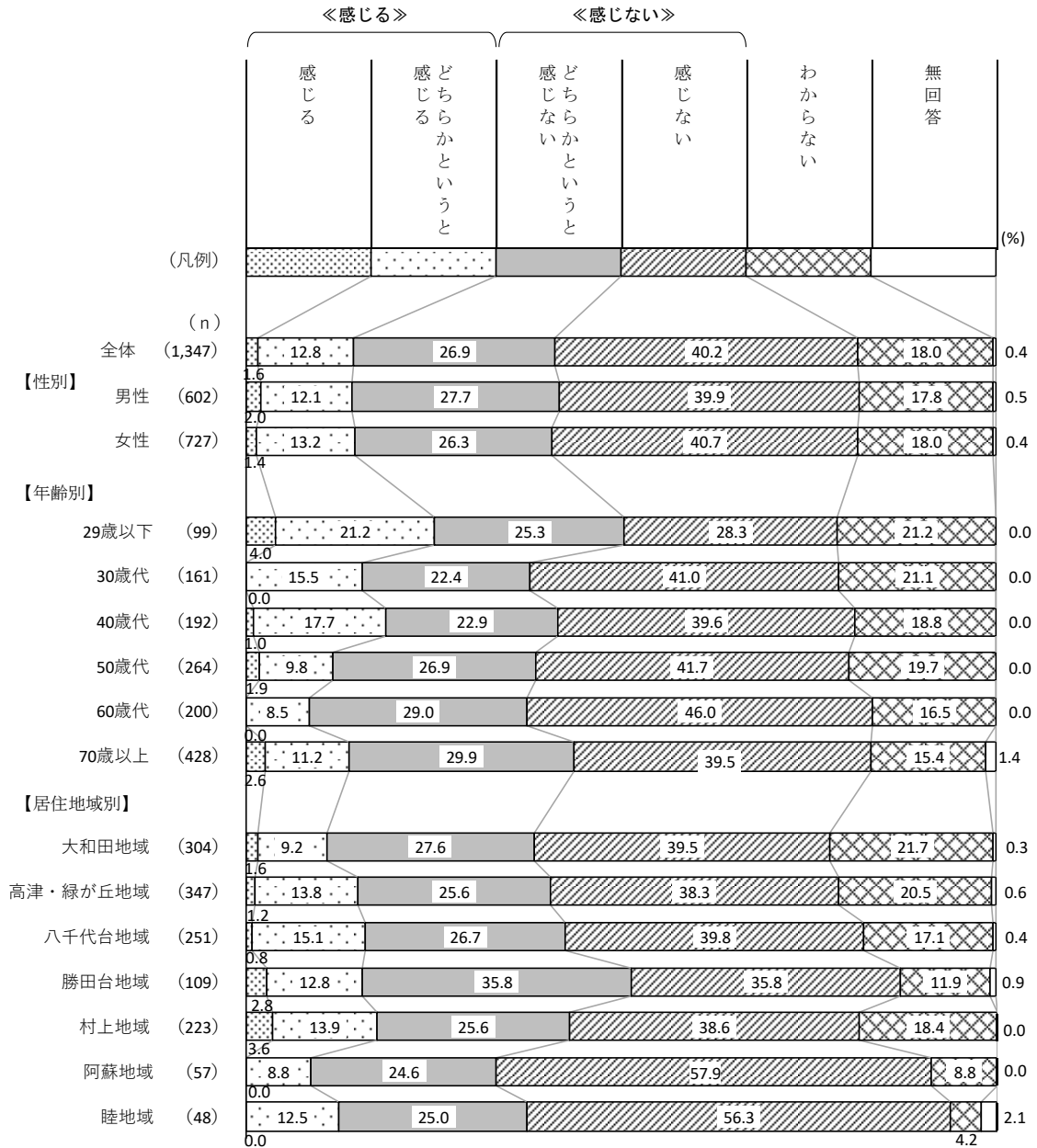
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性（14.6%）の方が男性（14.1%）よりも0.5ポイント多くなっている。

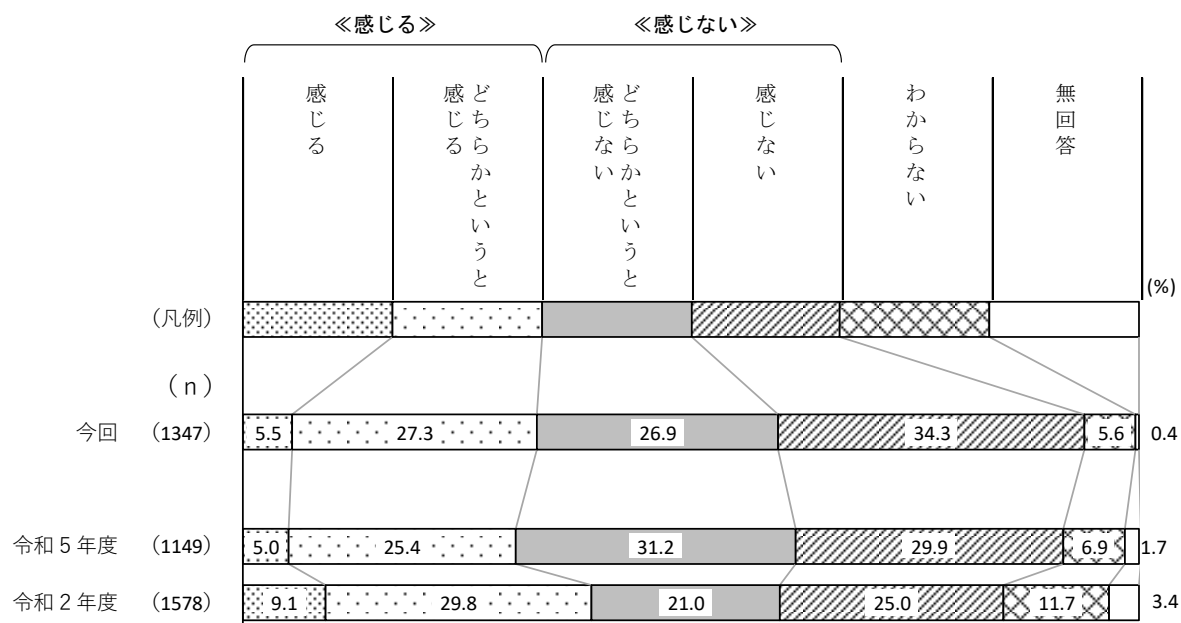
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が25.2%で最も多く、40歳代（18.7%）、30歳代（15.5%）が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は村上地域が17.5%で最も多く、八千代台地域（15.9%）、勝田台地域（15.6%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 20 道路状況が整っていると感じていますか。



道路状況が整っているかについて、「感じる」(5.5%)、「どちらかというと感じる」(27.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は32.8%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(26.9%)、「感じない」(34.3%)を合わせた《感じない》は、61.2%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は2.4ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は6.1ポイント減少している。

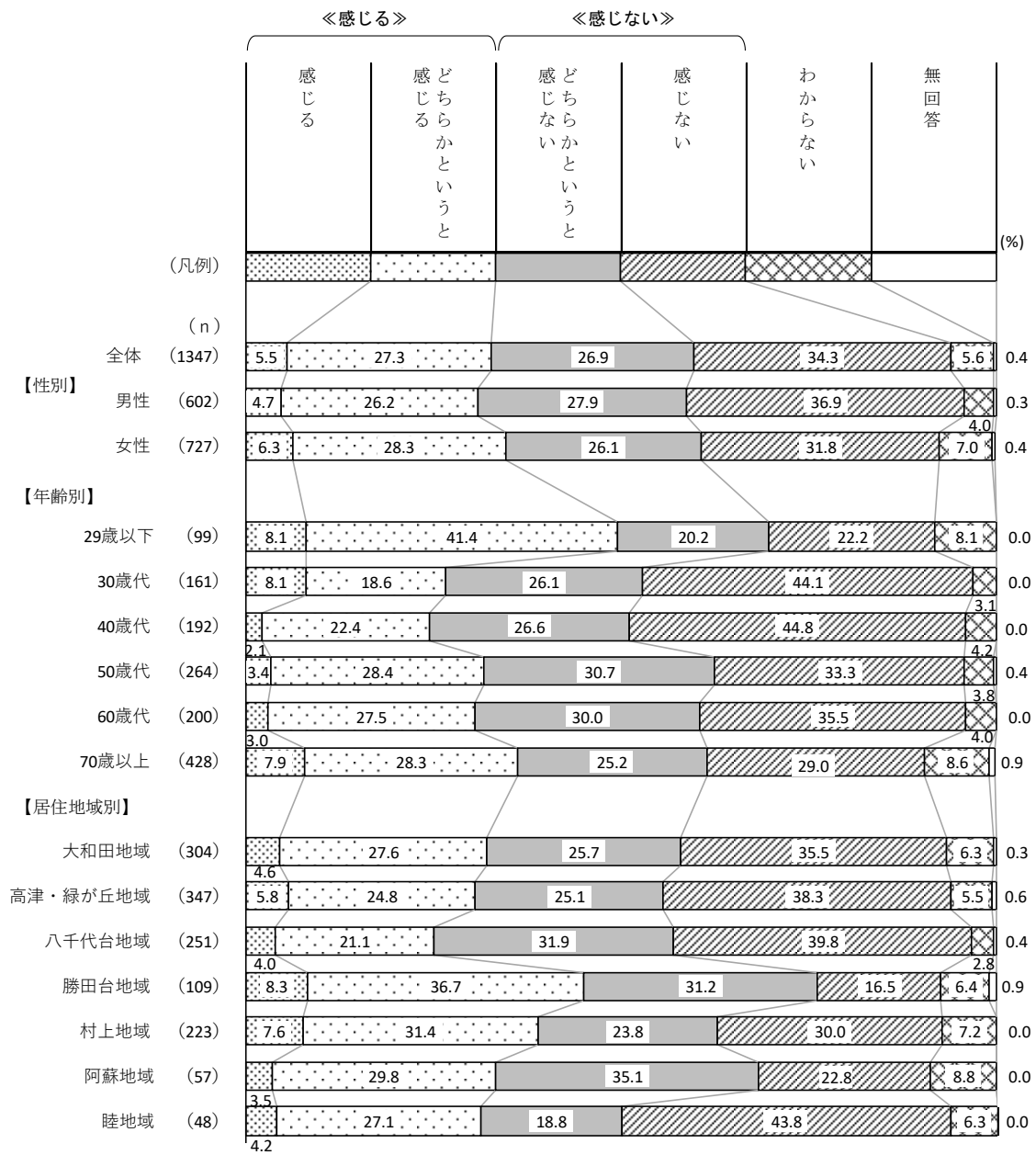
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性(34.6%)の方が男性(30.9%)より3.7ポイント多くなっている。

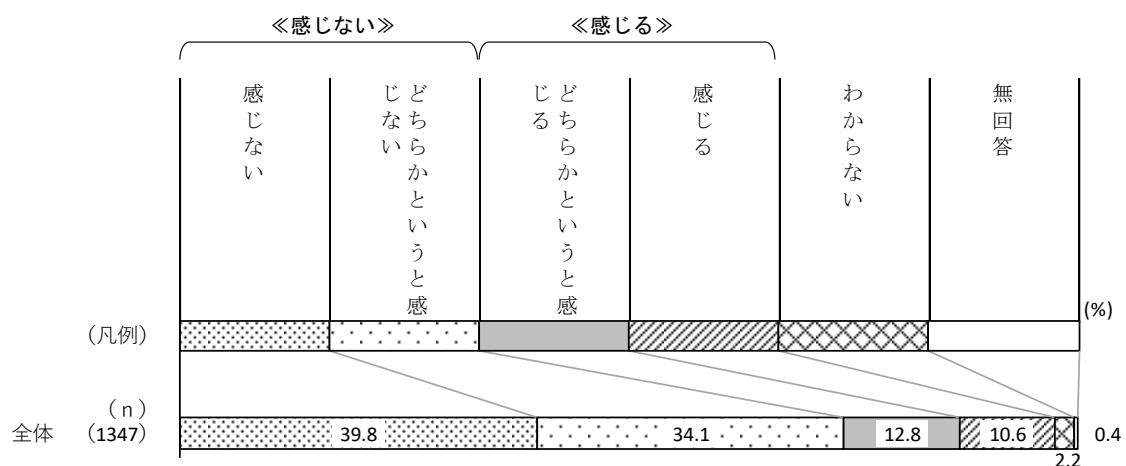
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が49.5%で最も多く、70歳以上(36.2%)、50歳代(31.8%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が45.0%で最も多く、村上地域(39.0%)、阿蘇地域(33.3%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 21 生活に支障が生じる騒音や振動，悪臭を感じていますか。



生活に支障が生じる騒音や振動，悪臭について，「感じない」（39.8%），「どちらかというと感じない」（34.1%）となっており，これらを合わせた《感じない》は73.9%となっている。一方，「どちらかというと感じる」（12.8%），「感じる」（10.6%）を合わせた《感じる》は，23.4%となっている。

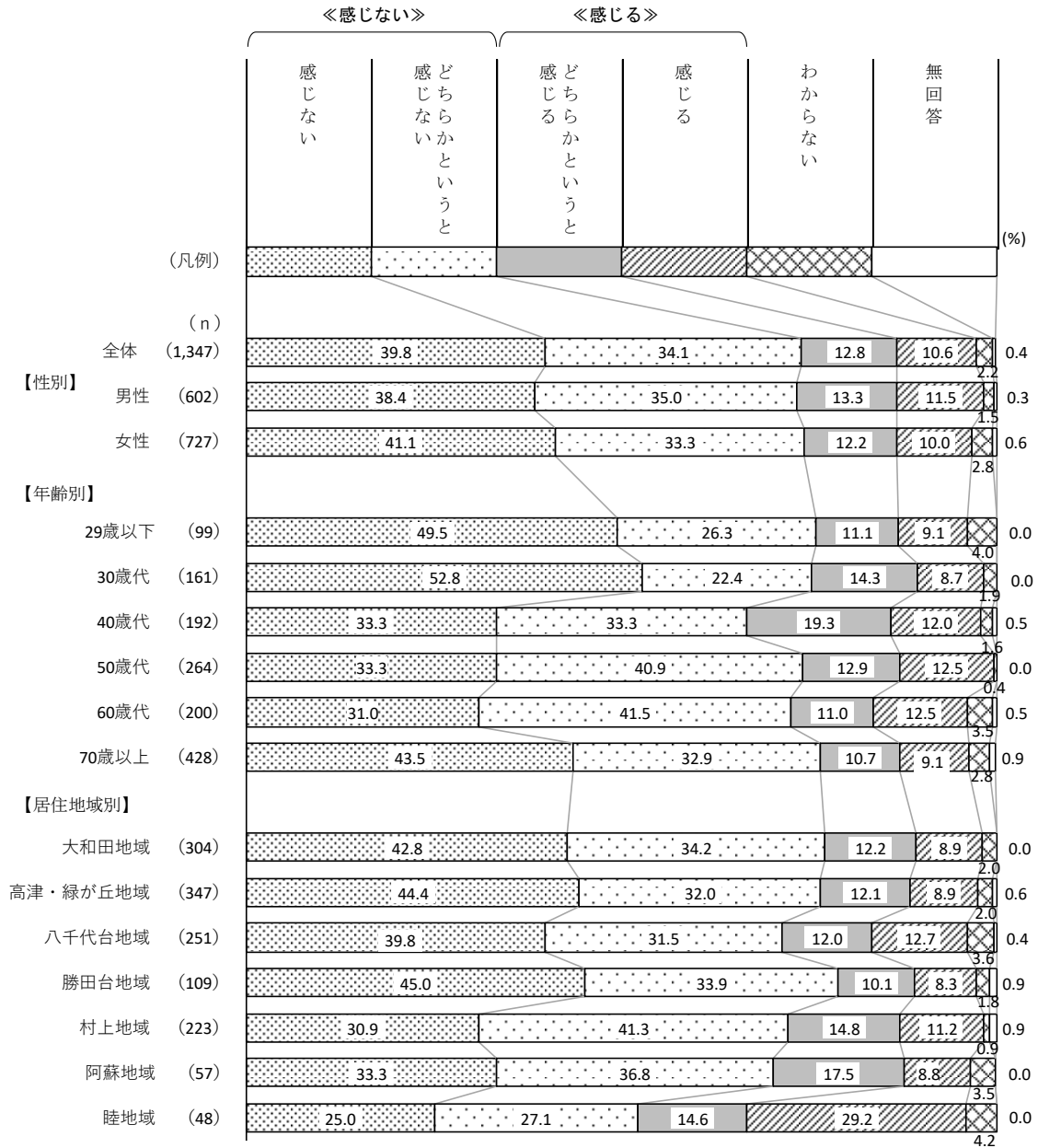
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では，《感じない》の割合は女性（74.4%）の方が男性（73.4%）より1.0ポイント多くなっている。

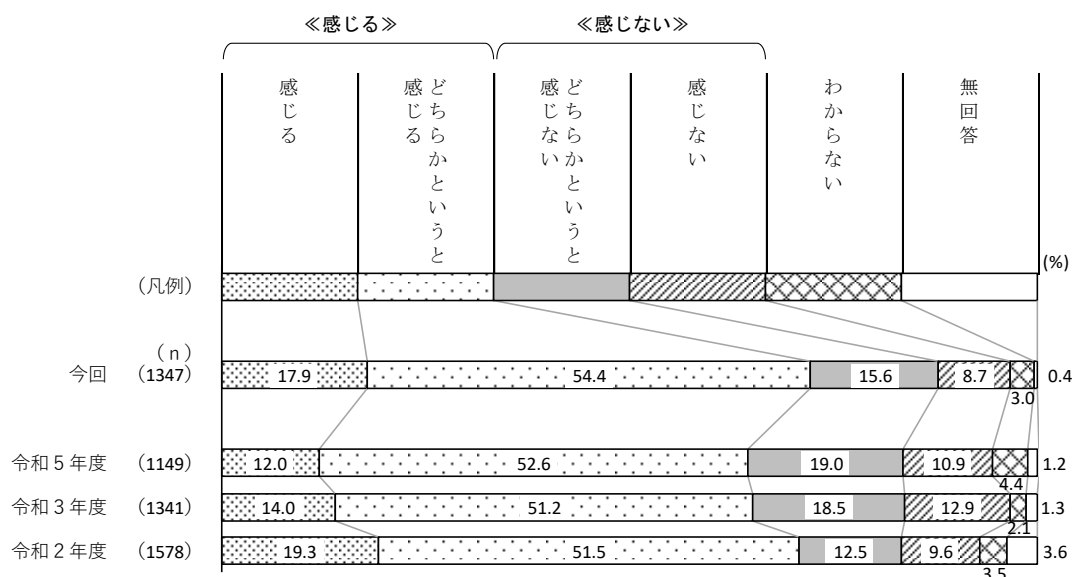
年齢別では，《感じない》の割合は70歳以上が76.4%で最も多く，29歳以下（75.8%），30歳代（75.2%）が続いている。

居住地域別では，《感じない》の割合は勝田台地域が78.9%で最も多く，大和田地域（77.0%），高津・緑が丘地域（76.4%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 22 まちにごみがなくきれいだと感じていますか。



まちのきれいさについて、「感じる」（17.9%）、「どちらかというと感じる」（54.4%）となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は72.3%となっている。一方、「どちらかというと感じない」（15.6%）、「感じない」（8.7%）を合わせた《感じない》の割合は24.3%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は7.7ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は1.5ポイント増加している。

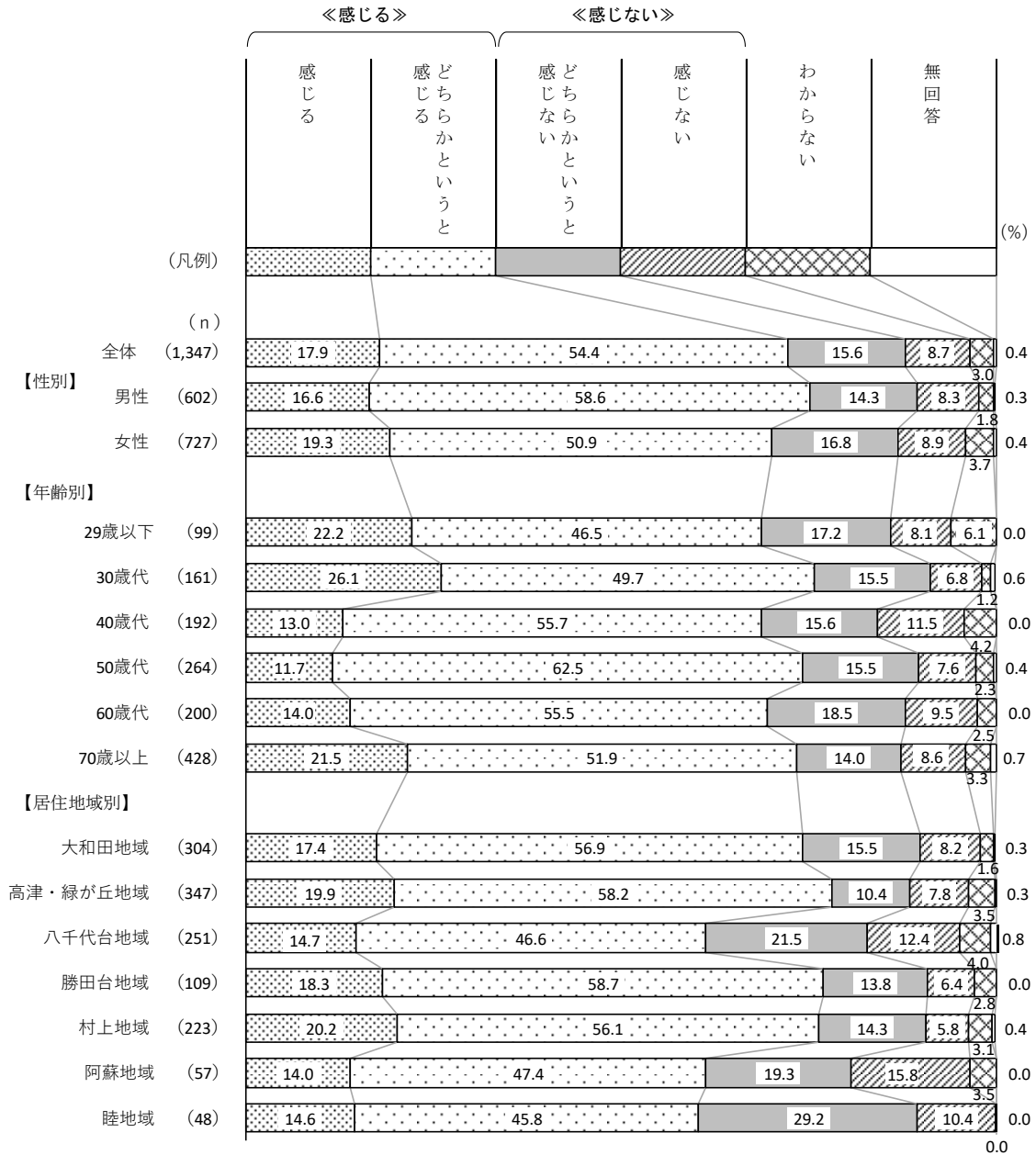
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性（75.2%）の方が女性（70.2%）よりも5.0ポイント多くなっている。

年齢別では、《感じる》の割合は30歳代が75.8%で最も多く、50歳代（74.2%）、70歳以上（73.4%）が続いている。

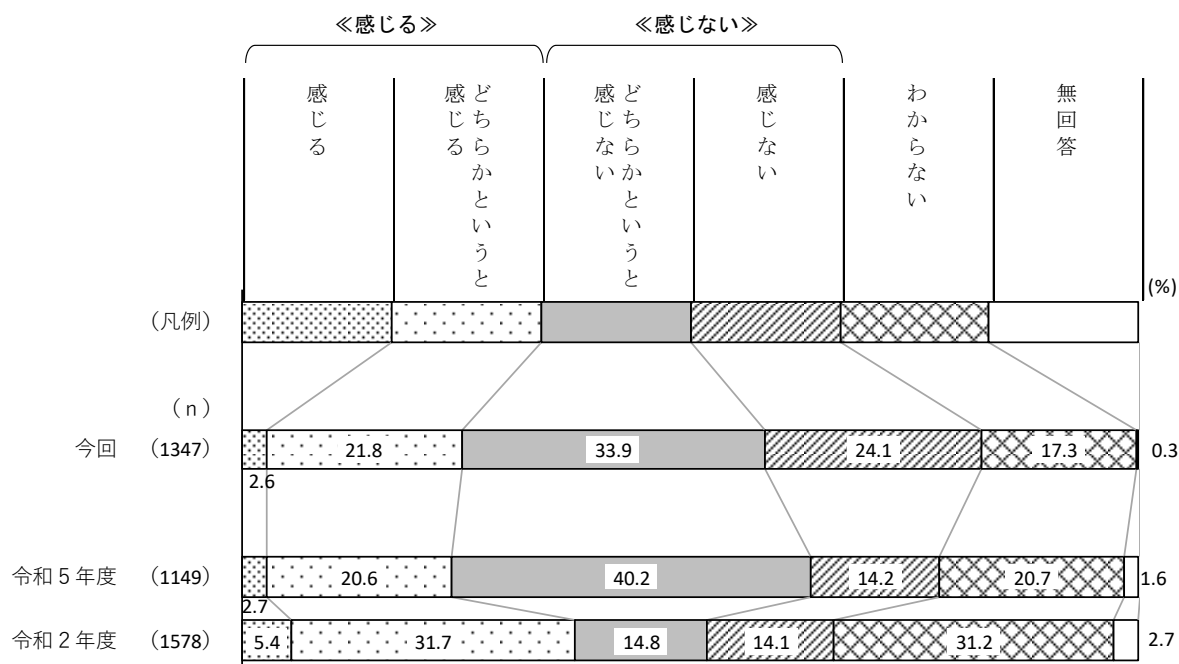
居住地域別では、《感じる》の割合は高津・緑が丘地域が78.1%で最も多く、勝田台地域（77.0%）、村上地域（76.3%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



《計画の推進のために》

問 23 市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じていますか。



市民が知りたい行政情報が十分に提供されているかについて、「感じる」(2.6%)、「どちらかというと感じる」(21.8%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は24.4%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(33.9%)、「感じない」(24.1%)を合わせた《感じない》の割合は58.0%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は1.1ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は12.7ポイント減少している。

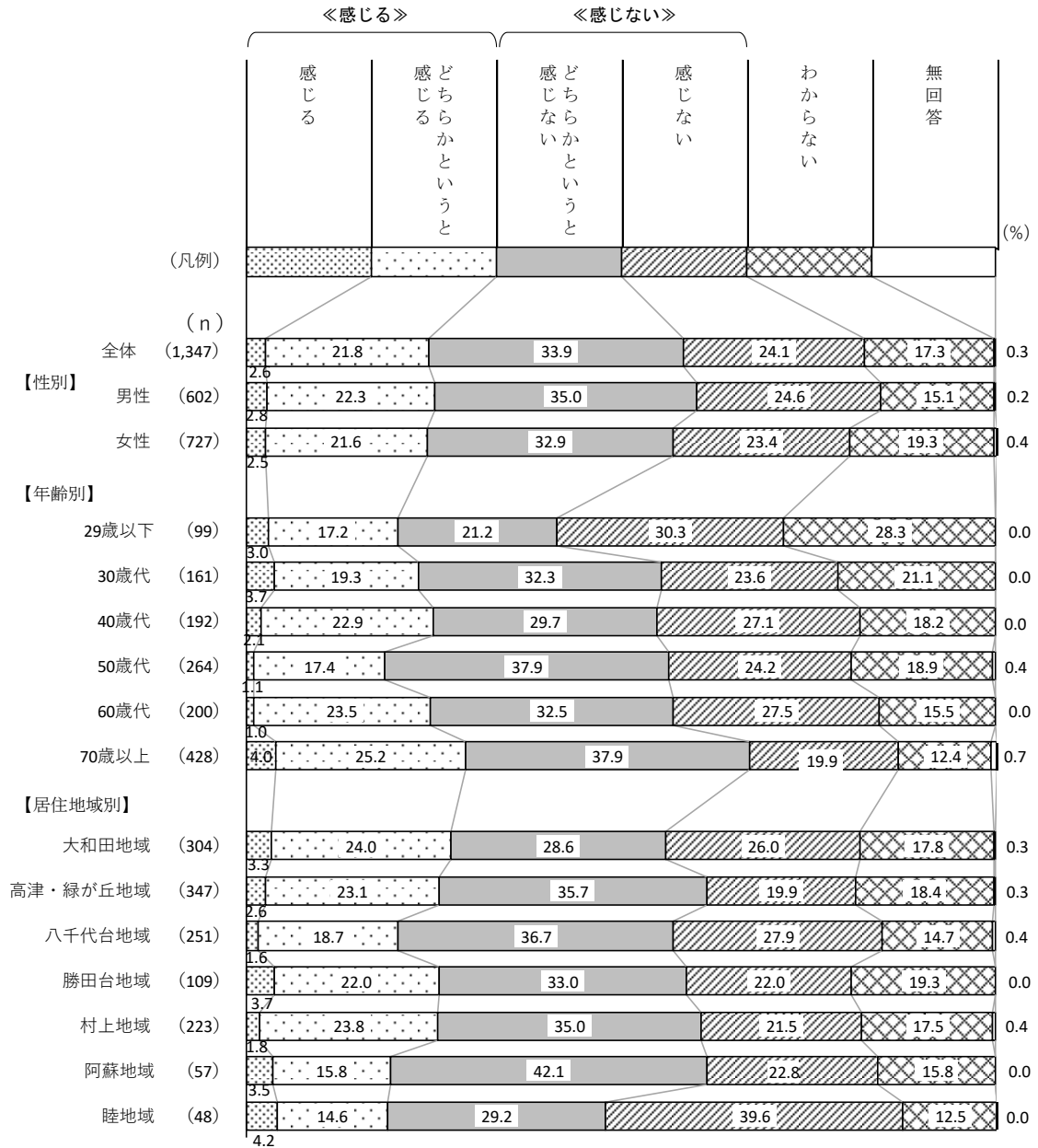
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(25.1%)の方が女性(24.1%)より1.0ポイント多くなっている。

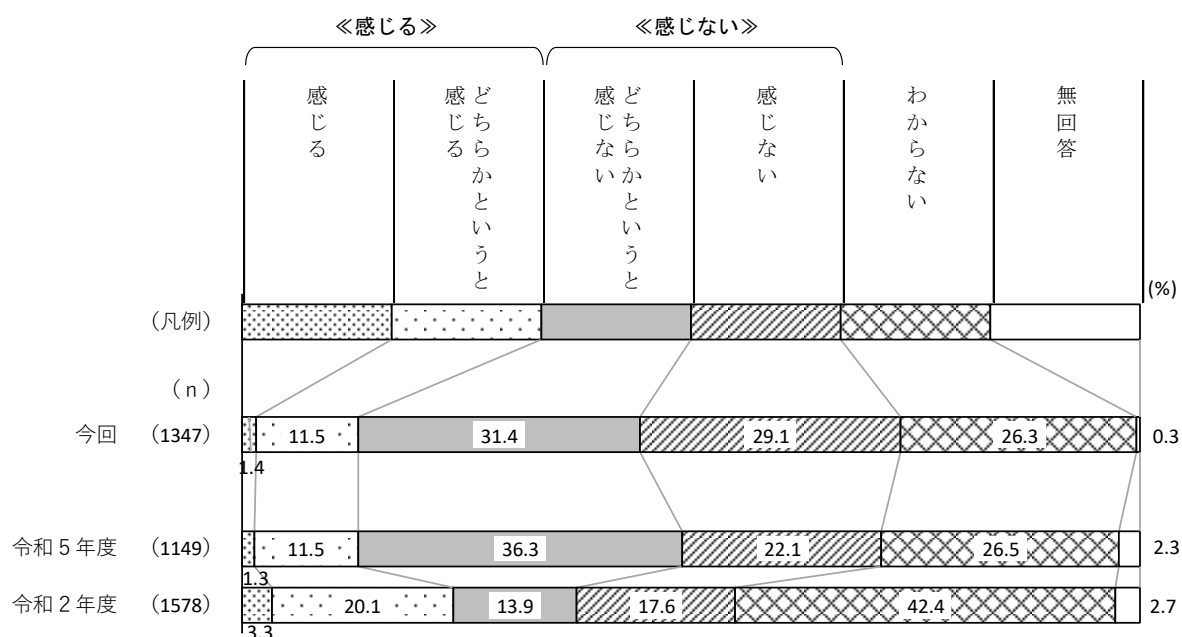
年齢別では、《感じる》の割合は70歳以上が29.2%で最も多く、40歳代(25.0%)、60歳代(24.5%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は大和田地域が27.3%で最も多く、高津・緑が丘地域(25.7%)、勝田台地域(25.7%)が同率で続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 24 市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じていますか。



市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられているかについて、「感じる」(1.4%)、「どちらかというと感じる」(11.5%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は12.9%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(31.4%)、「感じない」(29.1%)を合わせた《感じない》の割合は60.5%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は0.1ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は10.5ポイント減少している。

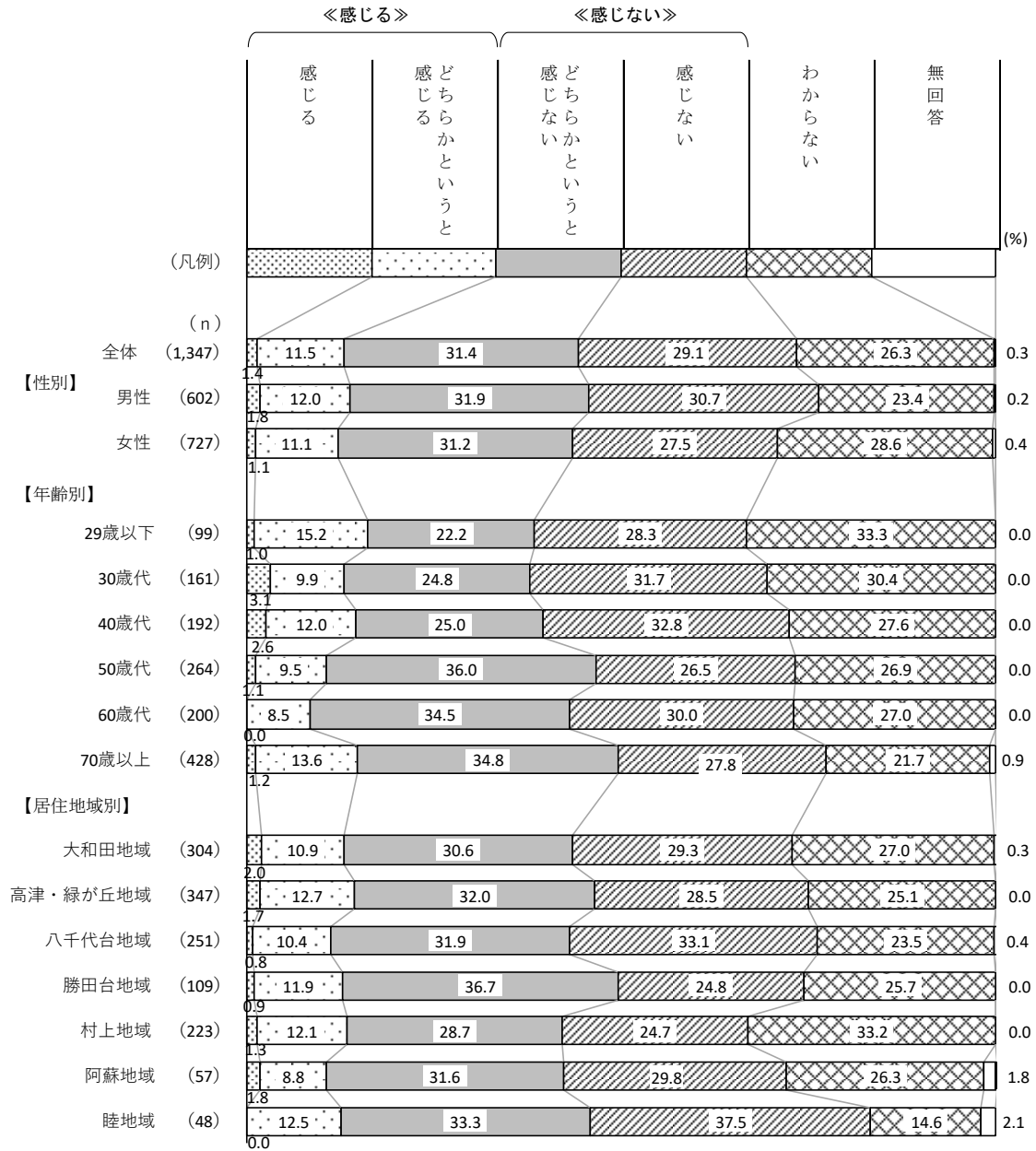
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(13.8%)の方が女性(12.2%)より1.6ポイント多くなっている。

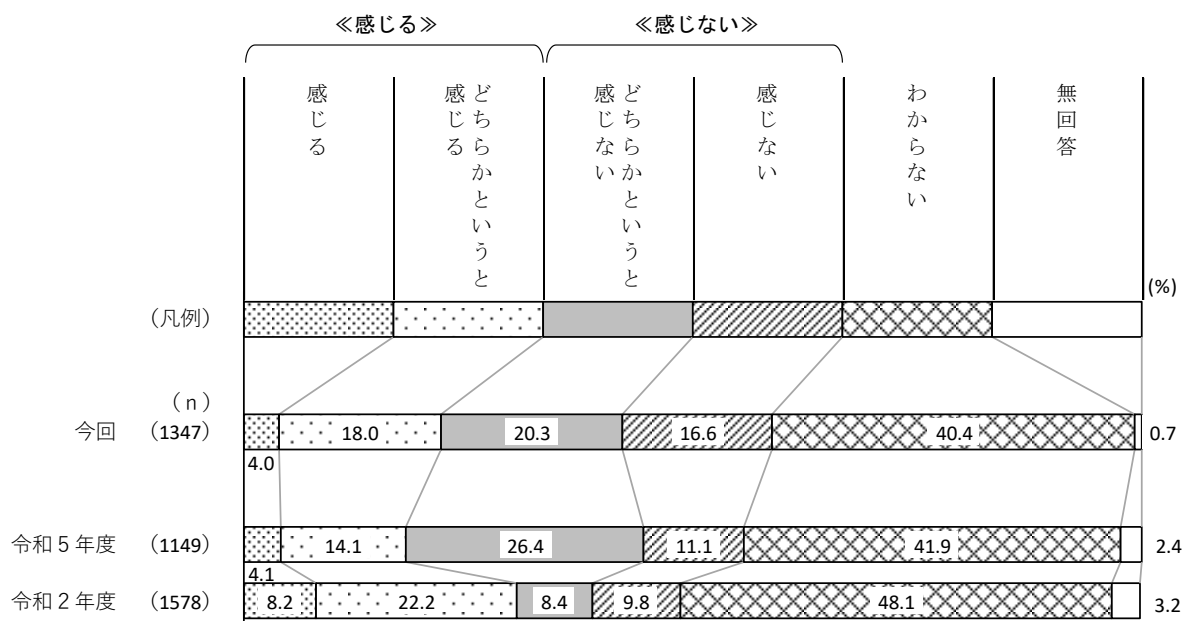
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が16.2%で最も多く、70歳以上(14.8%)、40歳代(14.6%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は高津・緑が丘地域が14.4%で最も多く、村上地域(13.4%)、大和田地域(12.9%)が続いている。

＜性別・年齢別・居住地域別＞



問 25 性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じていますか。



性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できるかについて、「感じる」(4.0%)、「どちらかというと感じる」(18.0%)となっており、これらを合わせた《感じる》の割合は22.0%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(20.3%)、「感じない」(16.6%)を合わせた《感じない》の割合は36.9%となっている。なお、「わからない」は40.4%を占めている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は3.8ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は8.4ポイント減少している。

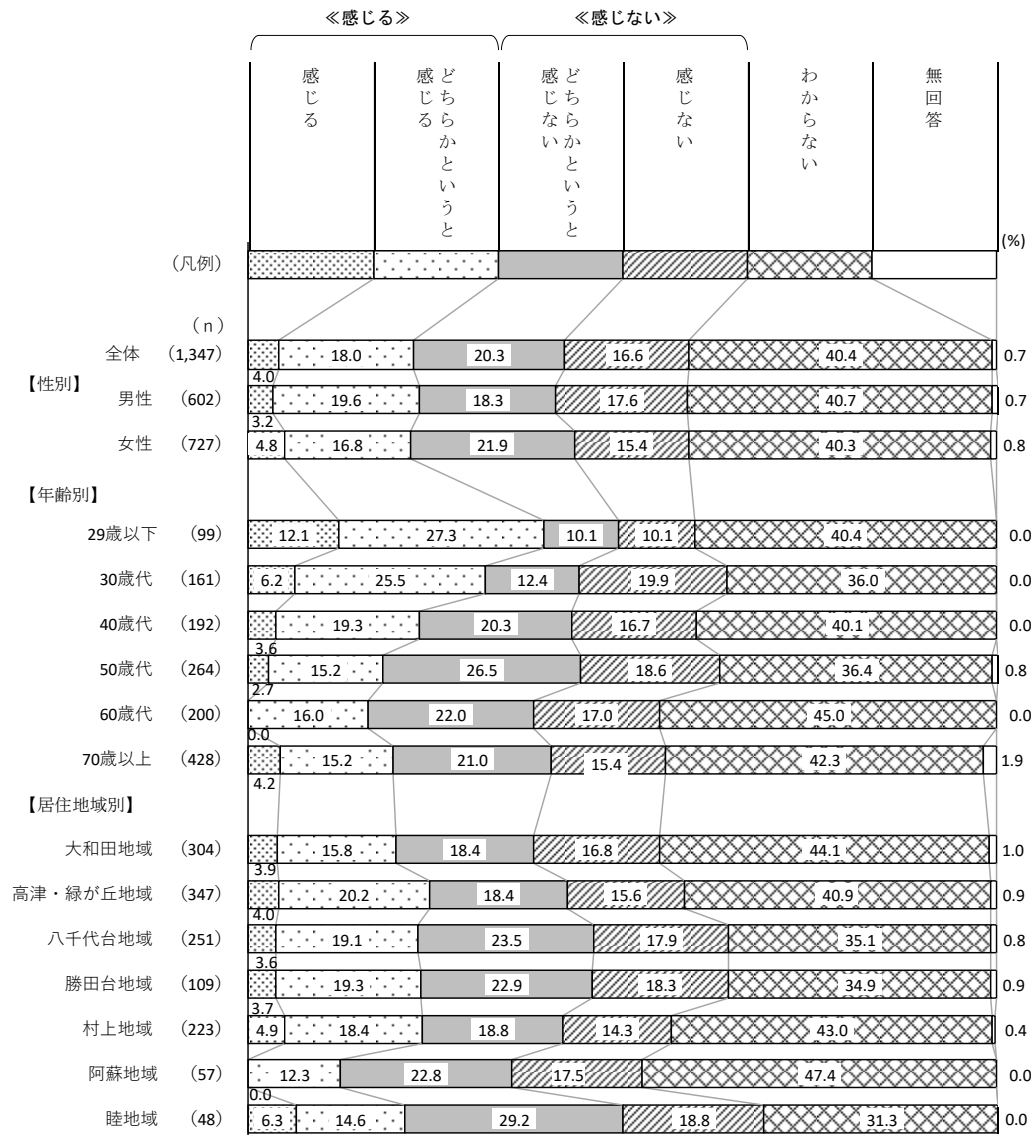
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(22.8%)の方が女性(21.6%)よりも1.2ポイント多くなっている。

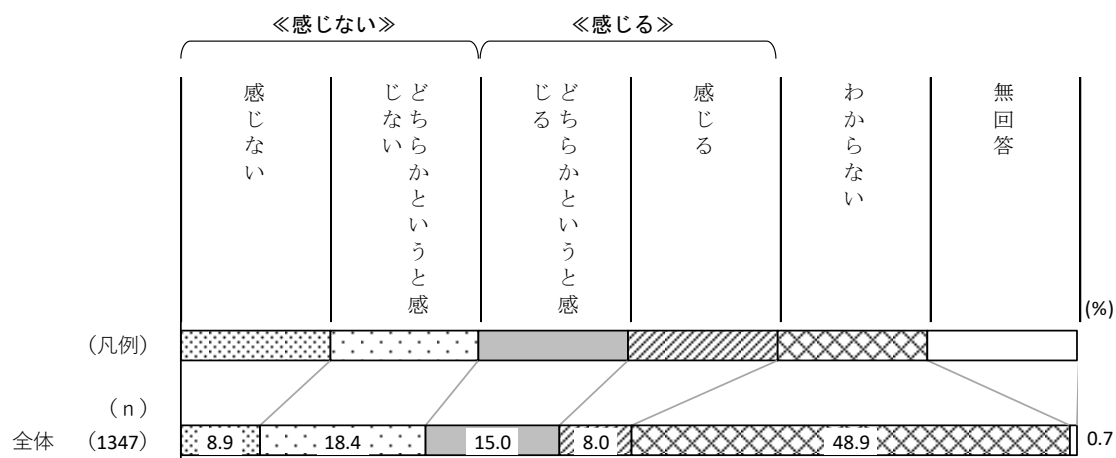
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が39.4%で最も多く、30歳代(31.7%)、40歳代(22.9%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は高津・緑が丘地域が24.2%で最も多く、村上地域(23.3%)、勝田台地域(23.0%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 26 性的マイノリティ（またはLGBT等）の方々にとって、偏見や不当な差別などにより、生活しづらい社会だと感じていますか。



性的マイノリティの方々にとって、生活しづらい社会だと感じているかについて、「感じない」(8.9%)、「どちらかというと感じない」(18.4%)となっており、これらを合わせた《感じない》の割合は27.3%となっている。一方、「どちらかというと感じる」(15.0%)、「感じる」(8.0%)を合わせた《感じる》の割合は23.0%となっている。なお、「わからない」は48.9%を占めている。

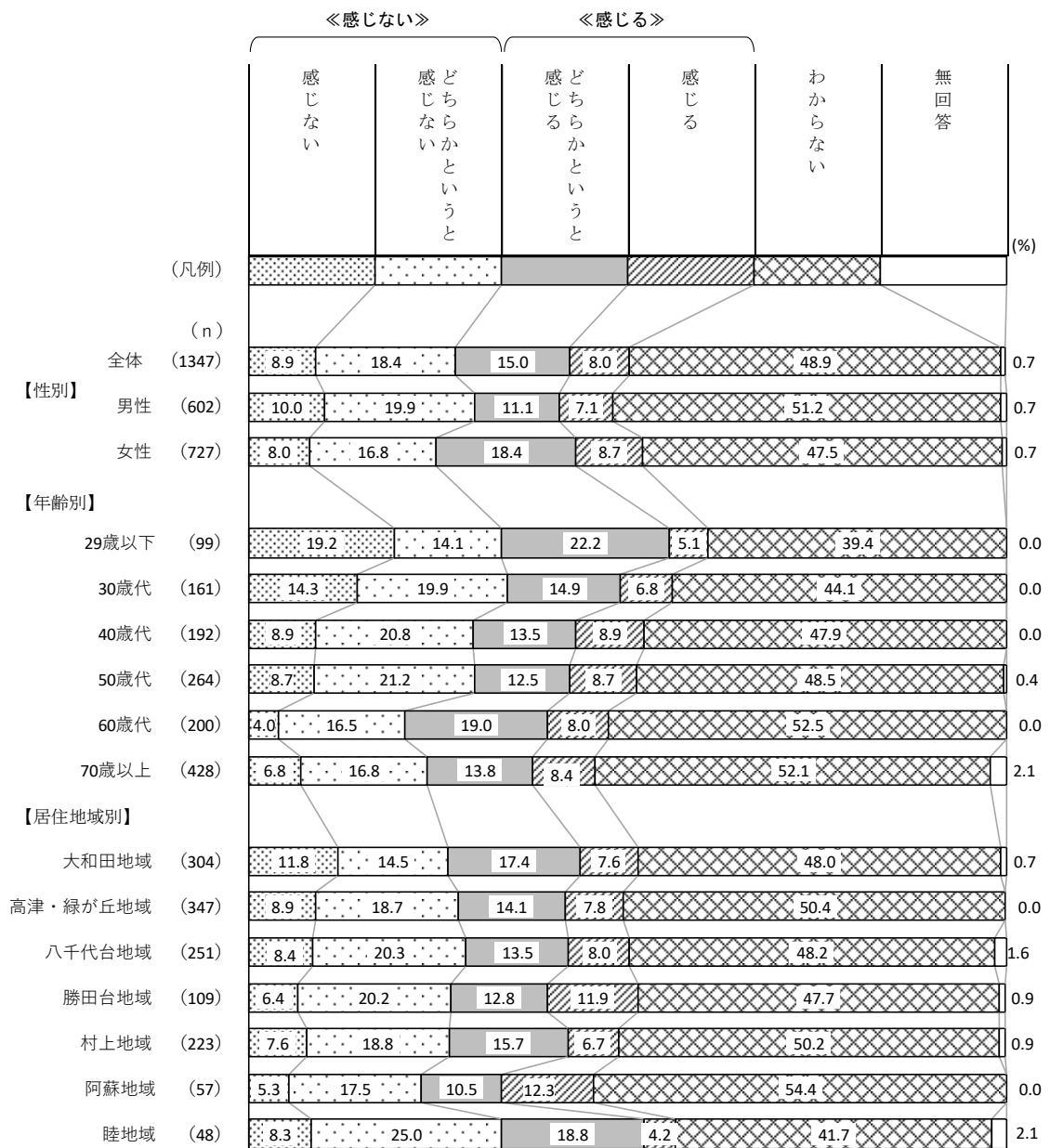
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じない》の割合は男性（29.9%）の方が女性（24.8%）よりも5.1ポイント多くなっている。

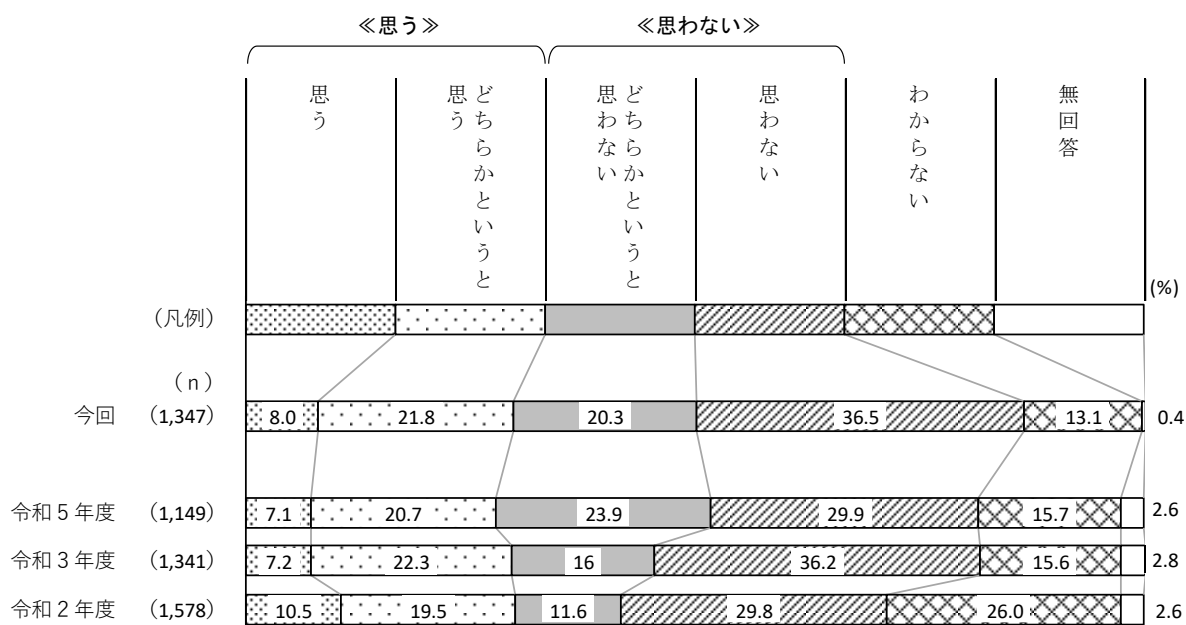
年齢別では、《感じない》の割合は30歳代が34.2%で最も多く、29歳以下(33.3%)、50歳代(29.9%)が続いている。

居住地域別では、《感じない》の割合は睦地域が 33.3%で最も多く、八千代台地域（28.7%）、高津・緑が丘地域（27.6%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 27 国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思いますか。



国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいについて、「思ふ」（8.0%）、「どちらかというと思う」（21.8%）となっており、これらを合わせた《思ふ》は29.8%となっている。一方、「どちらかというと思わない」（20.3%）、「思わない」（36.5%）を合わせた《思わない》の割合は56.8%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《思ふ》の割合は2.0ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《思ふ》の割合は0.2ポイント減少している。

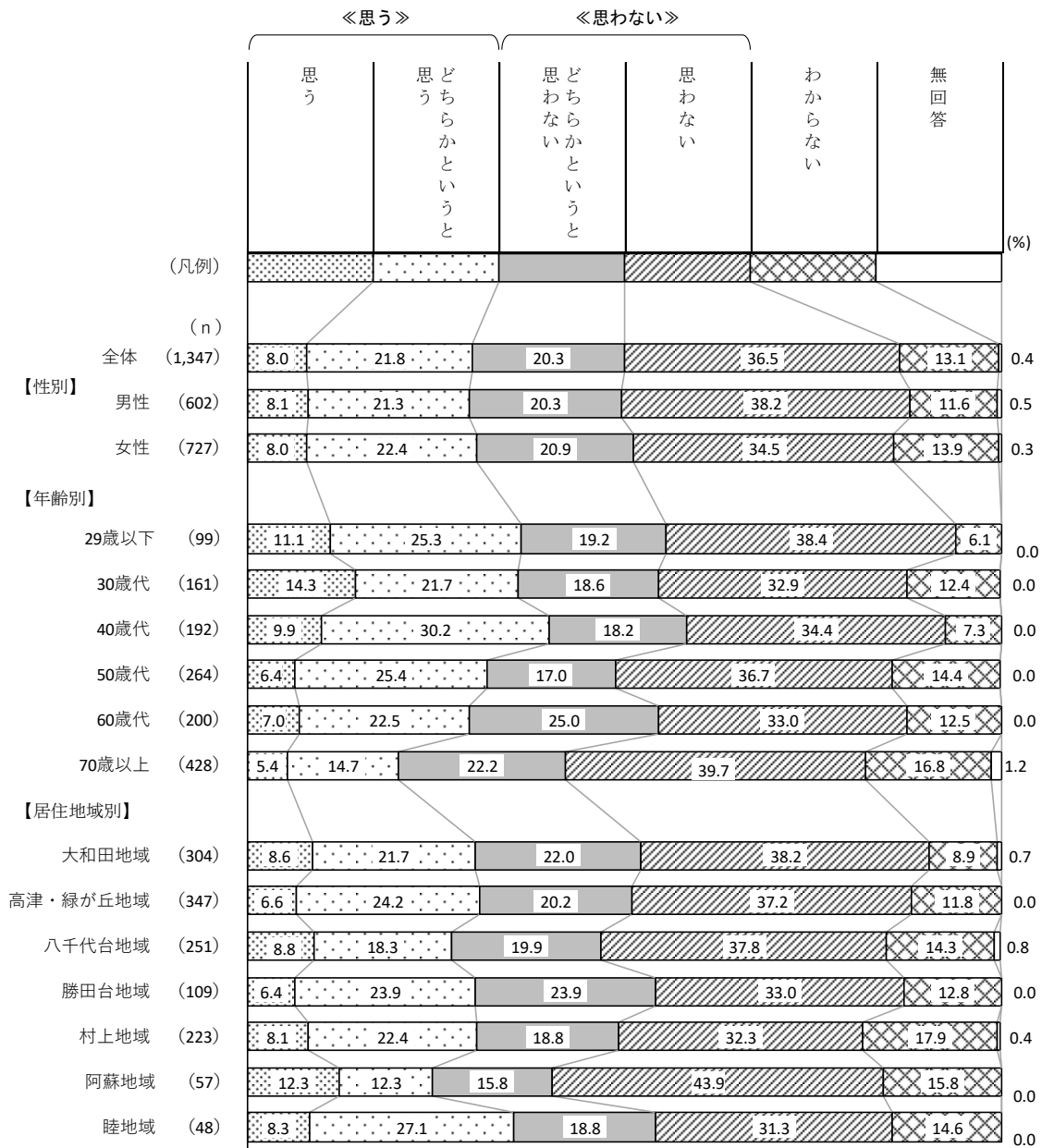
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《思ふ》の割合は女性（30.4%）の方が男性（29.4%）より1.0ポイント多くなっている。

年齢別では、《思ふ》の割合は40歳代が40.1%で最も多く、29歳以下（36.4%）、30歳代（36.0%）が続いている。

居住地域別では、《思ふ》の割合は睦地域が35.4%で最も多く、高津・緑が丘地域（30.8%）、村上地域（30.5%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 28 新川周辺が活性化していると感じていますか。

		《感じる》		《感じない》			
		感じる	どちらかという と	どちらかという と	感じない	わからない	無回答
(凡例)							(%)
(n)							
今回	(1347)	7.1	26.4	21.5	22.0	22.0	0.8
令和 5 年度	(1149)	3.9	23.7	28.5	19.8	21.8	2.3
令和 2 年度	(1578)	9.9	29.6	14.7	15.9	27.2	2.7

新川周辺が活性化しているかについて、「感じる」(7.1%)、「どちらかというと感じる」(26.4%)となっており、これらを合わせた《感じる》は33.5%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(21.5%)、「感じない」(22.0%)を合わせた《感じない》の割合は43.5%となっている。

前回(令和5年度)調査と比較すると、《感じる》の割合は5.9ポイント増加している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は6.0ポイント減少している。

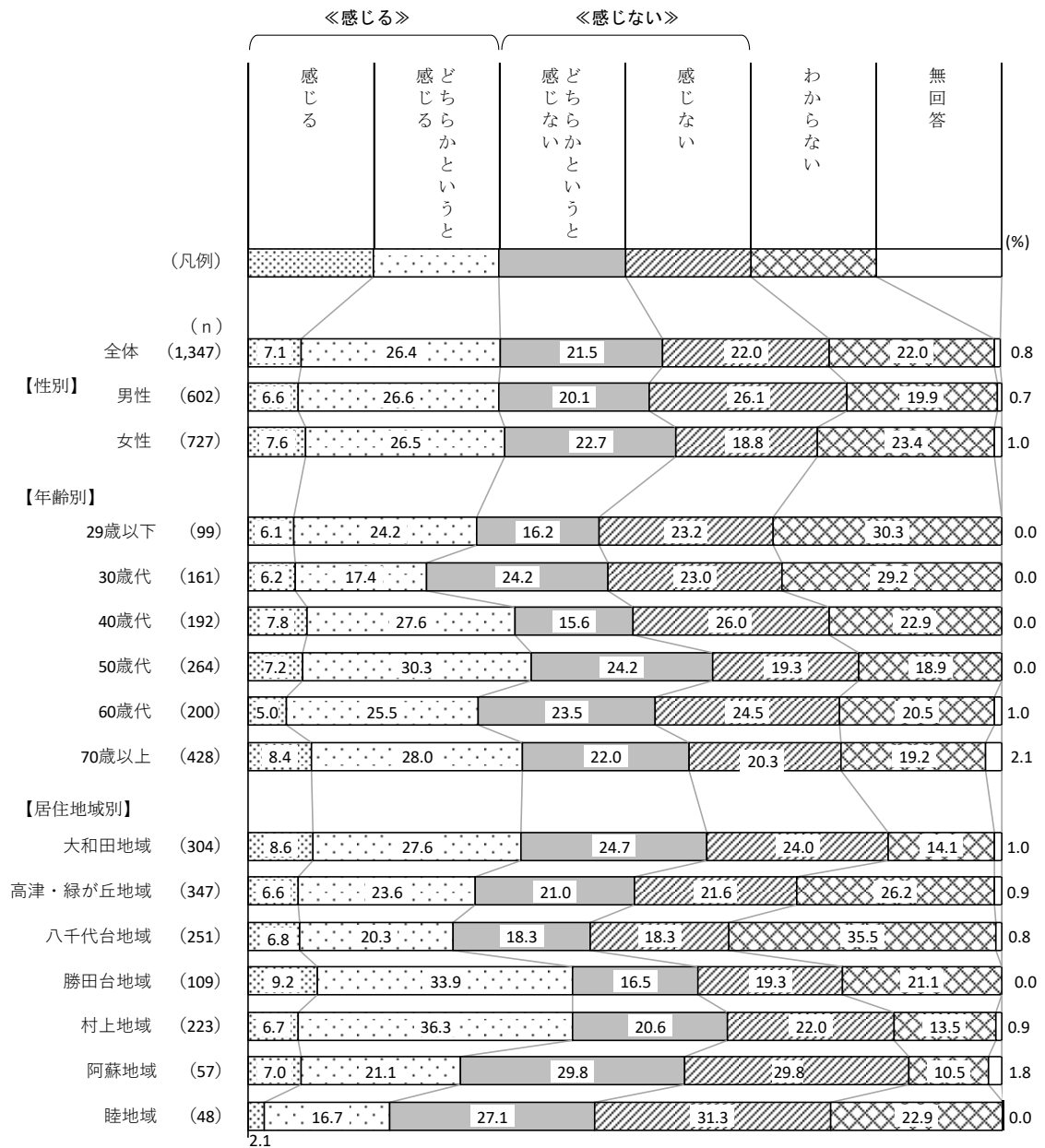
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性(34.1%)の方が男性(33.2%)より0.9ポイント多くなっている。

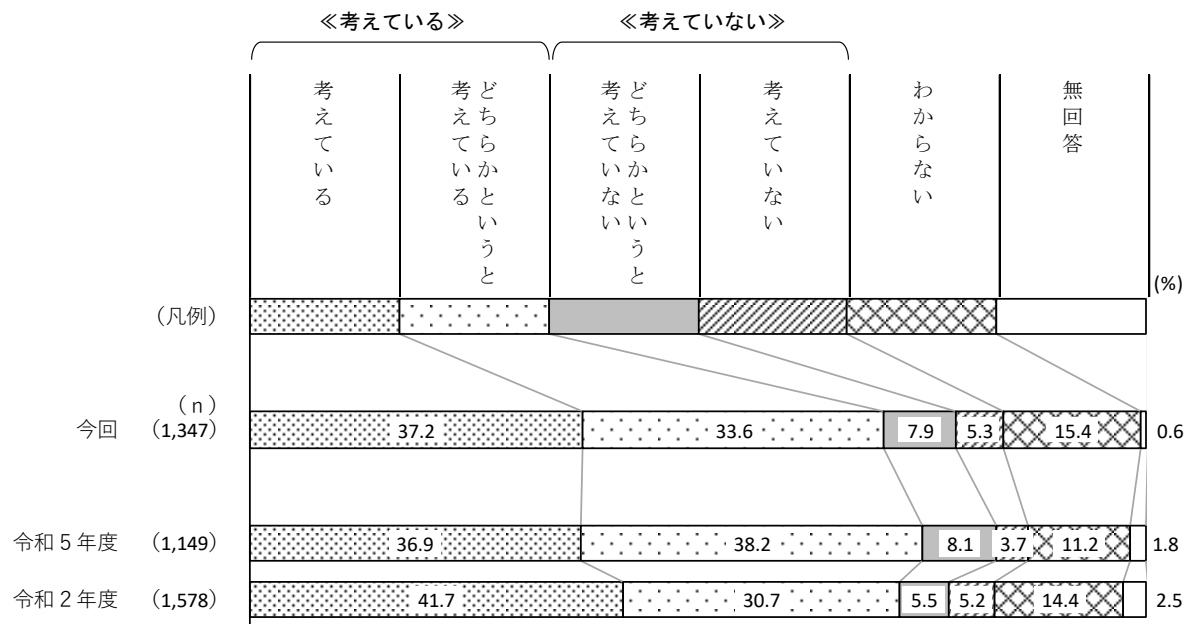
年齢別では、《感じる》の割合は50歳代が37.5%で最も多く、70歳以上(36.4%)、40歳代(35.4%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が43.1%で最も多く、村上地域(43.0%)、大和田地域(36.2%)が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 29 今後も八千代市に住み続けたいと考えていますか。



今後も八千代市に住み続けたいかについて、「考えている」（37.2%）、「どちらかというと考えている」（33.6%）となっており、これらを合わせた《考えている》は70.8%となっている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《考えている》の割合は4.3ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《考えている》の割合は1.6ポイント減少している。

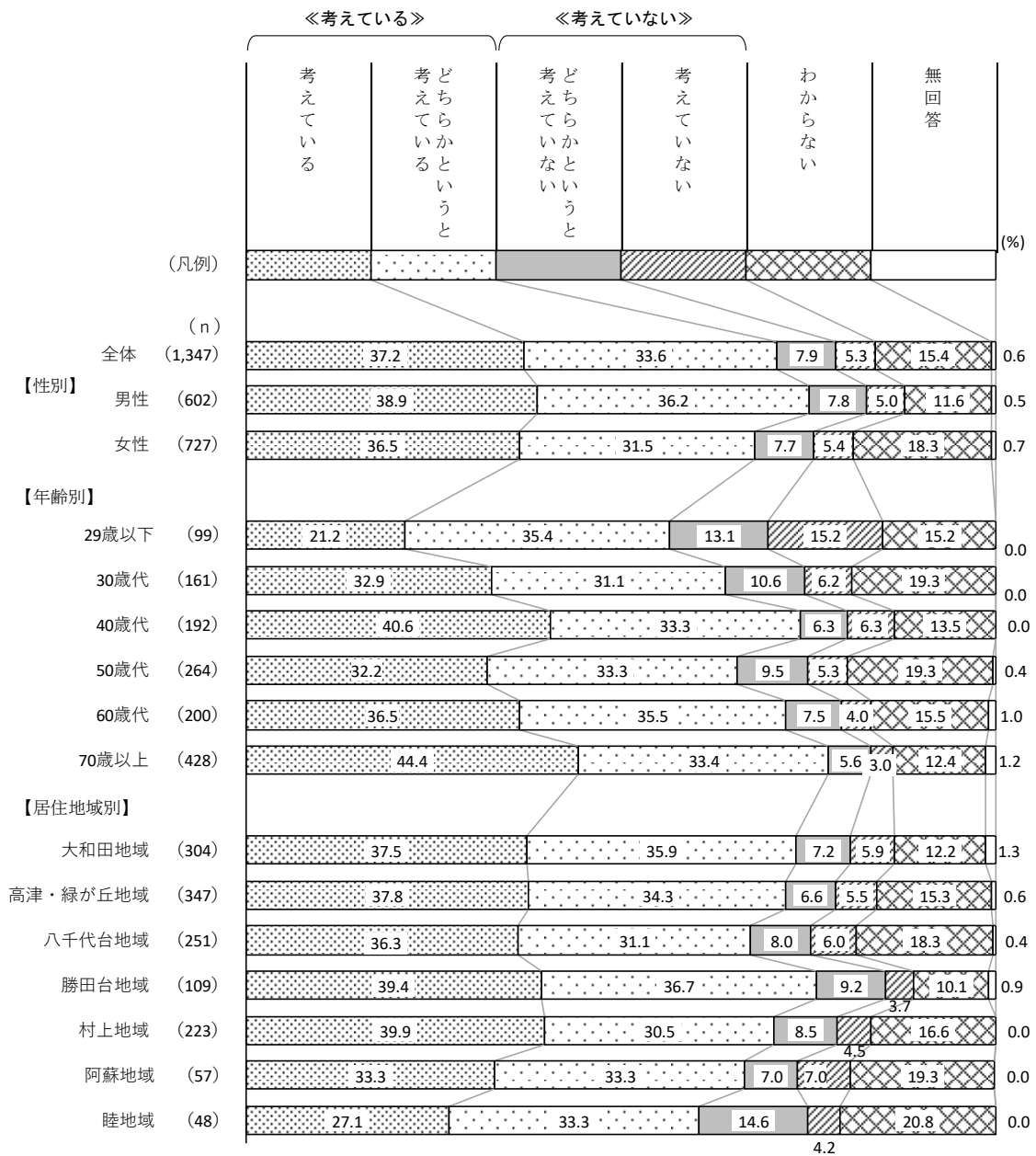
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《考えている》の割合は男性（75.1%）の方が女性（68.0%）よりも7.1ポイント多くなっている。

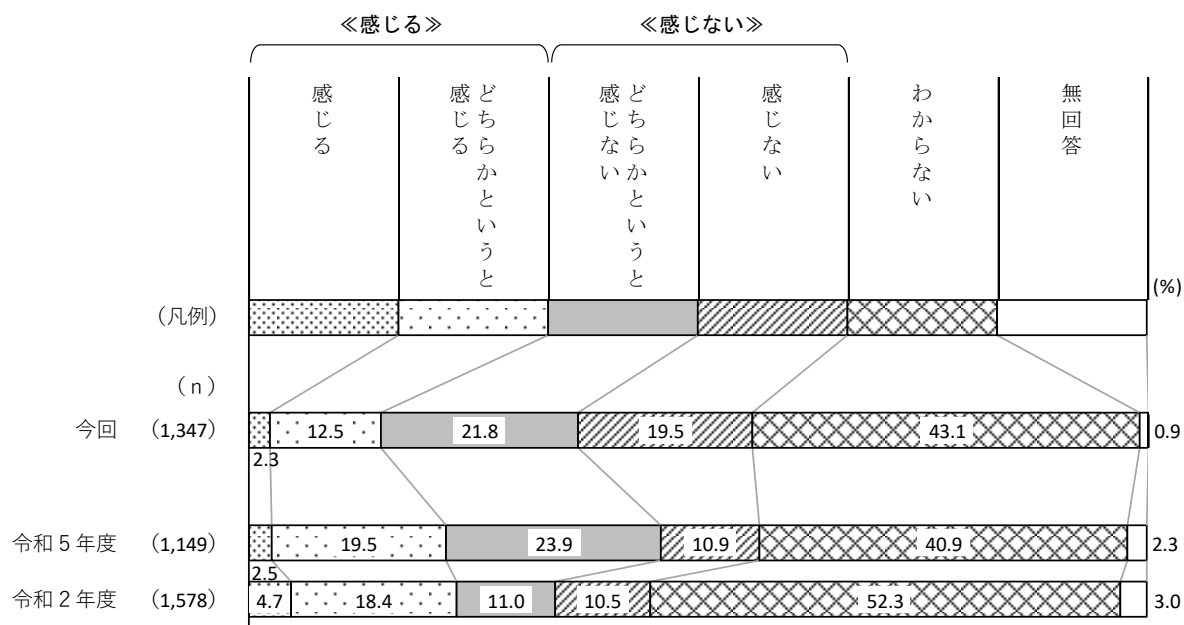
年齢別では、《考えている》の割合は70歳以上が77.8%で最も多く、40歳代（73.9%）、60歳代（72.0%）が続いている。

居住地域別では、《考えている》の割合は勝田台地域が76.1%と最も多く、大和田地域（73.4%）、高津・緑が丘地域（72.1%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 30 行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じていますか。



行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われているかについて、「感じる」（2.3%）、「どちらかというと感じる」（12.5%）となっており、これらを合わせた《感じる》は14.8%となっている。一方、「どちらかというと感じない」（21.8%）、「感じない」（19.5%）を合わせた《感じない》の割合は41.3%となっている。なお、「わからない」が43.1%を占めている。

前回（令和5年度）調査と比較すると、《感じる》の割合は7.2ポイント減少している。

前期基本計画の指標の現況値である令和2年度調査と比較すると、《感じる》の割合は8.3ポイント減少している。

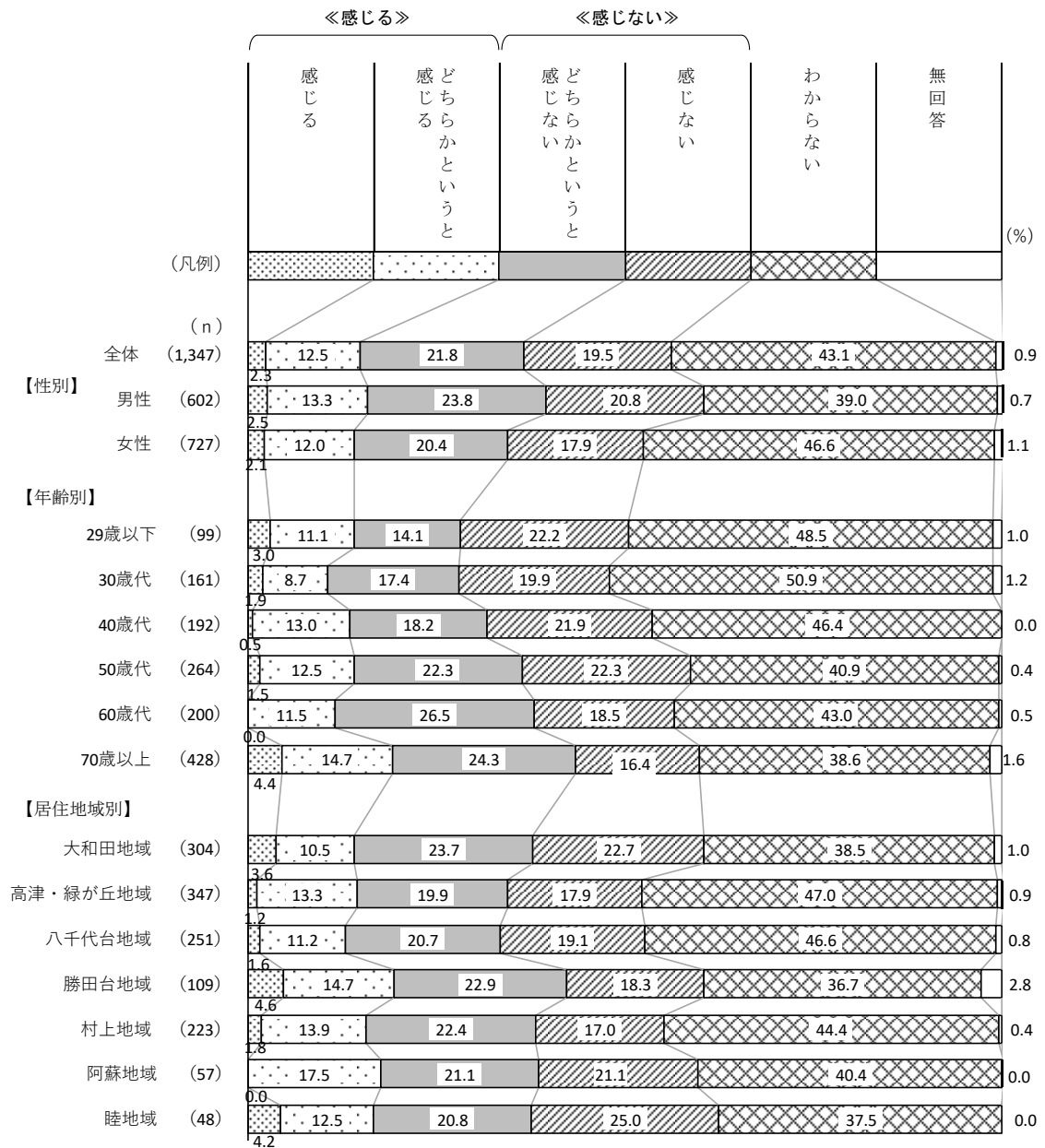
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性（15.8%）の方が女性（14.1%）より1.7ポイント多くなっている。

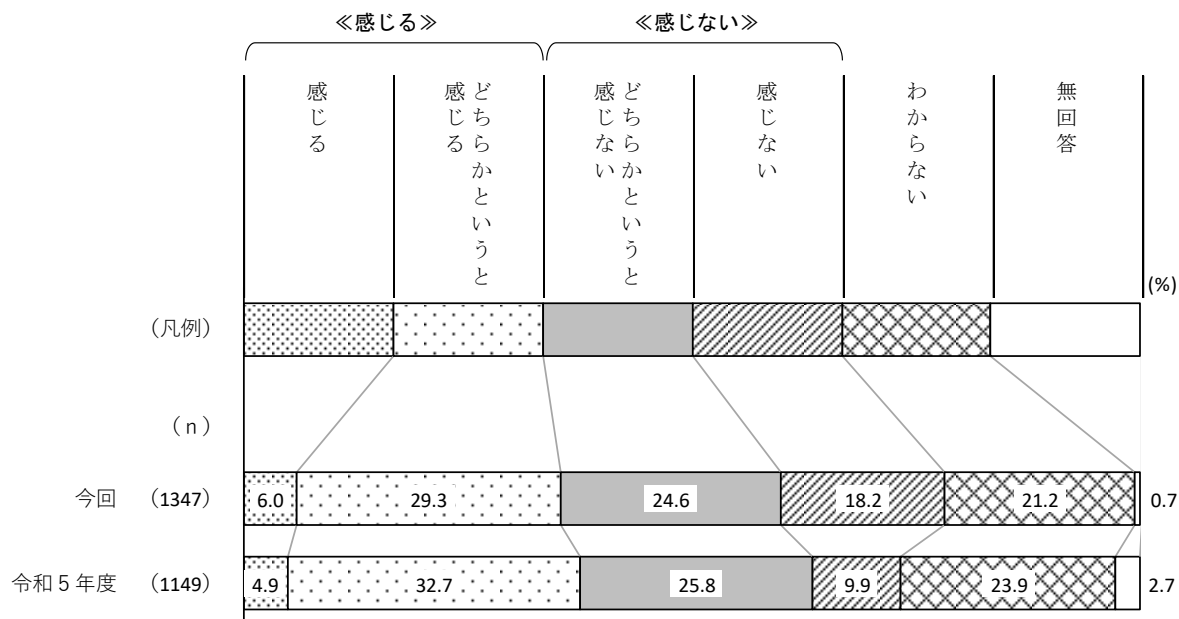
年齢別では、《感じる》の割合は70歳以上が19.1%で最も多く、29歳以下（14.1%），50歳代（14.0%）が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が19.3%で最も多く、阿蘇地域（17.5%），睦地域（16.7%）が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 31 公共施設の設備や管理が適切と感じていますか。



公共施設の設備や管理が適切かについて、「感じる」(6.0%)、「どちらかというと感じる」(29.3%)となっており、これらを合わせた《感じる》は35.3%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(24.6%)、「感じない」(18.2%)を合わせた《感じない》の割合は42.8%となっている。

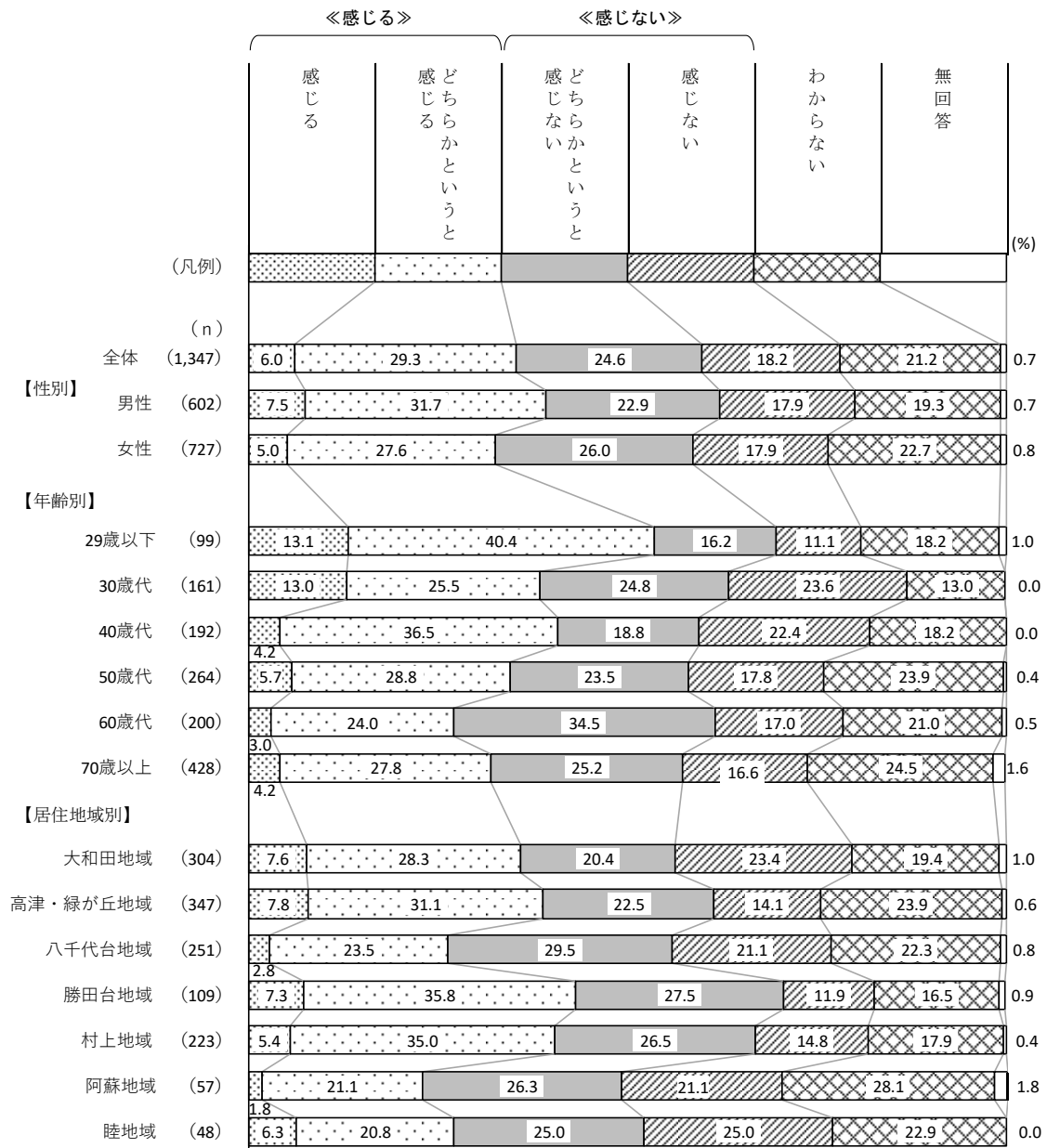
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は男性(39.2%)の方が女性(32.6%)よりも6.6ポイント多くなっている。

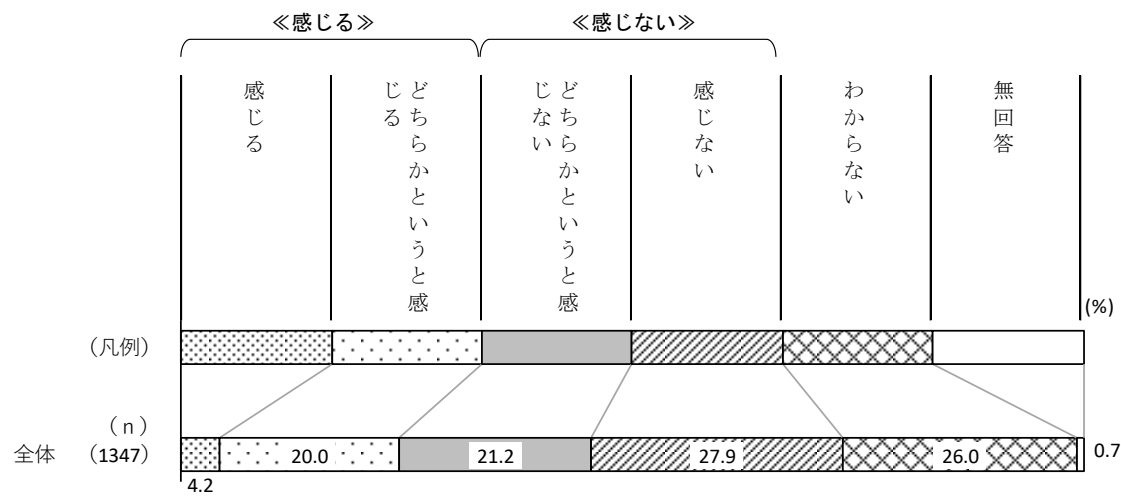
年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が53.5%で最も多く、40歳代(40.7%)、30歳代(38.5%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が43.1%で最も多く、村上地域(40.4%)、高津・緑が丘地域(38.9%)が続いている。

＜性別・年齢別・居住地域別＞



問 32 行政サービスのデジタル化により市民生活の利便性が向上していると感じていますか。



行政サービスのデジタル化により市民生活の利便性が向上しているかについて、「感じる」(4.2%)、「どちらかというと感じる」(20.0%)となっており、これらを合わせた《感じる》は24.2%となっている。一方、「どちらかというと感じない」(21.2%)、「感じない」(27.9%)を合わせた《感じない》の割合は49.1%となっている。

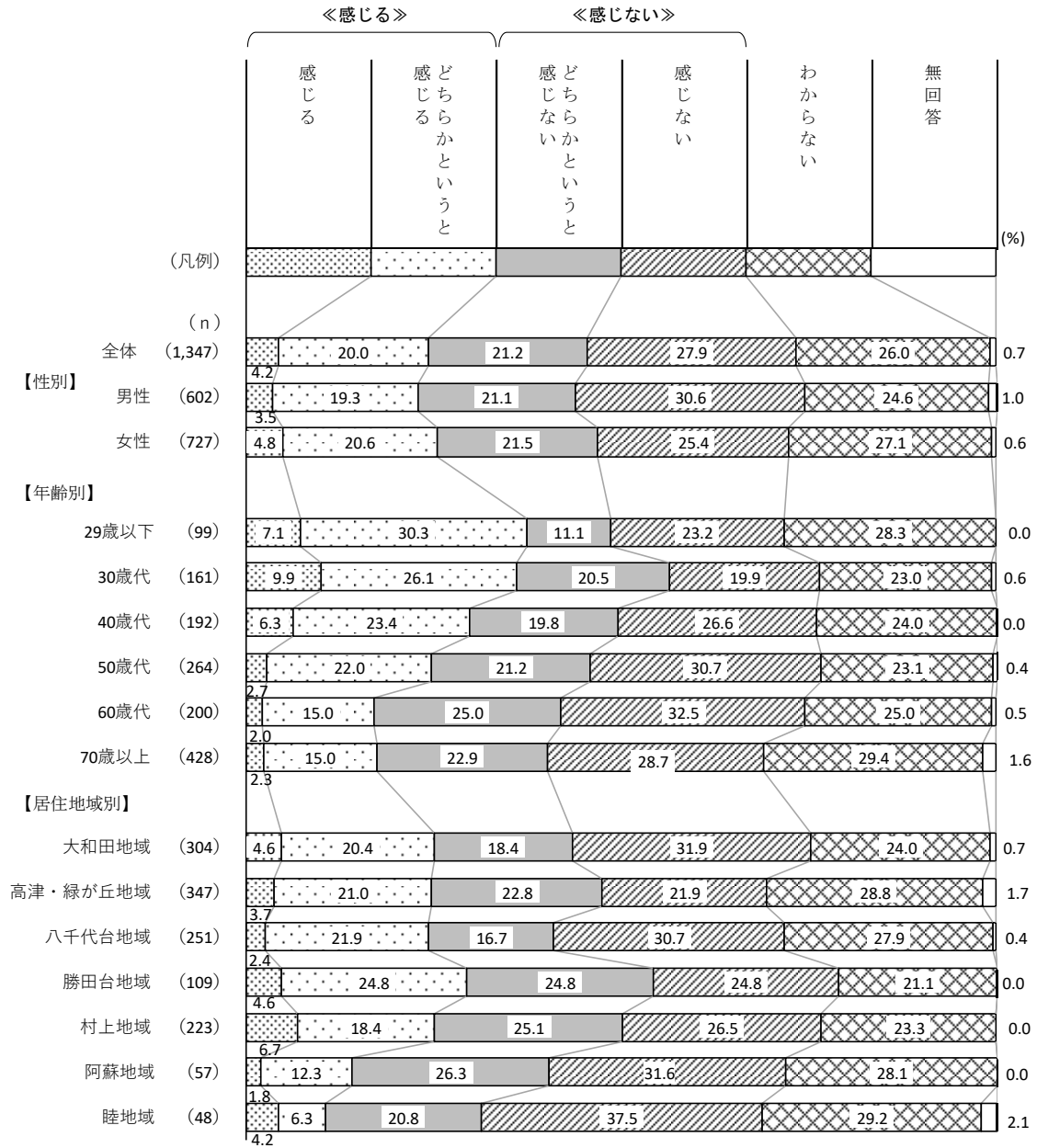
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、《感じる》の割合は女性(25.4%)の方が男性(22.8%)より2.6ポイント多くなっている。

年齢別では、《感じる》の割合は29歳以下が37.4%で最も多く、30歳代(36.0%)、40歳代(29.7%)が続いている。

居住地域別では、《感じる》の割合は勝田台地域が29.4%で最も多く、村上地域(25.1%)、大和田地域(25.0%)が続いている。

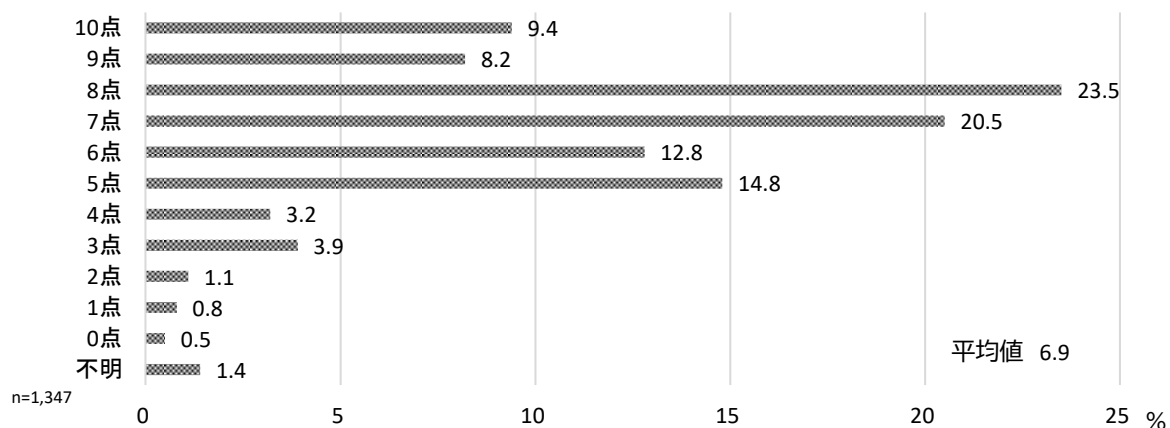
<性別・年齢別・居住地域別>



2 ウェルビーイング（Well-Being）に関する質問

問 33 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。



幸福度について、平均値は 6.9 点となっている。各点の分布でみると、8 点が 23.5%で最も多く、次いで 7 点 (20.5%)，5 点 (14.8%) となっている。

《性別・年齢別・居住地域別》

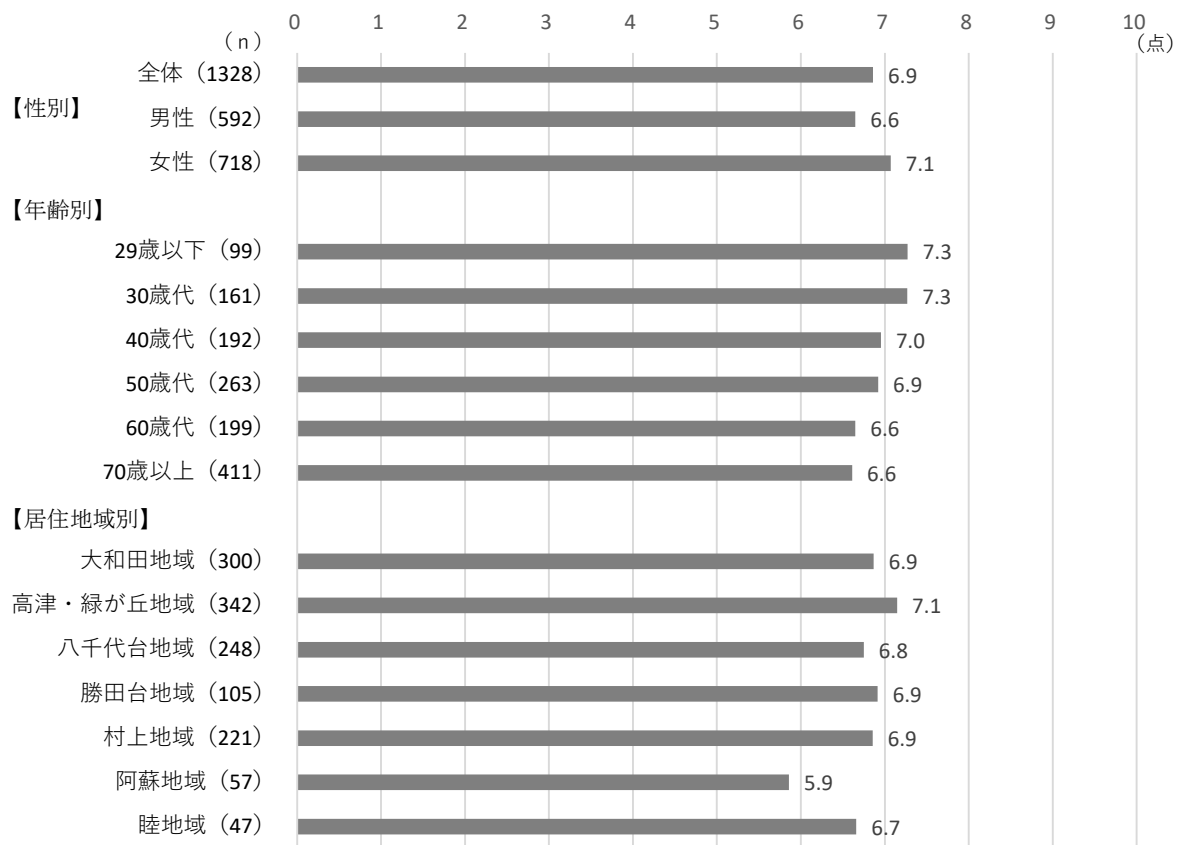
性別では、幸福度の平均値は女性 (7.1 点) の方が男性 (6.6 点) より 0.5 点高くなっている。

年齢別では、幸福度の平均値は 29 歳以下、30 歳代がともに 7.3 点で最も高く、40 歳代 (7.0 点) が続いている。

居住地域別では、幸福度の平均値は高津・緑が丘地域が 7.1 点で最も高く、大和田地域 (6.9 点)，勝田台地域 (6.9 点)，村上地域 (6.9 点) が同率で続いている。

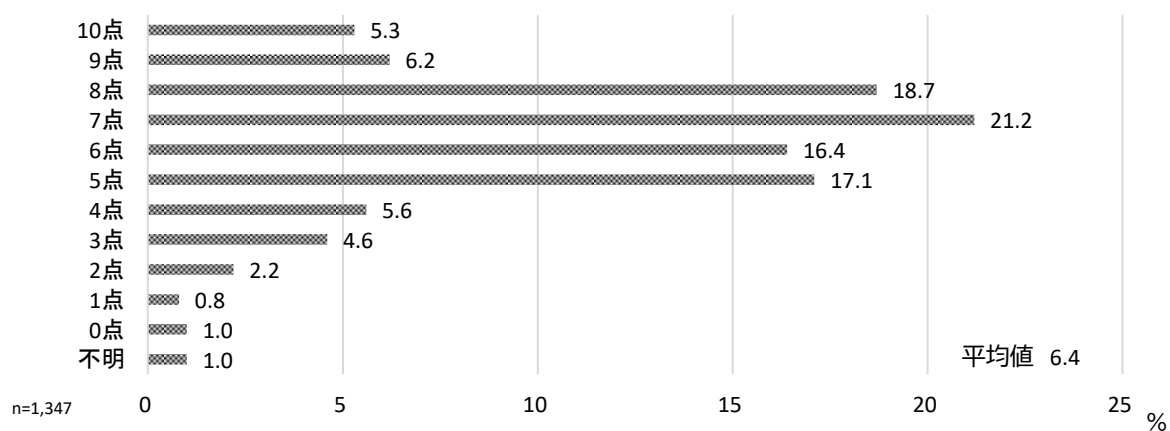
※ウェルビーイング（Well-Being）とは、世界保健機関（WHO）が憲章で提唱した概念で、健康や幸せ、福祉などの向上により、市民の皆様が心豊かなくらしを実現することを意味する。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 34 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

「とても満足」を 10 点、「とても不満足」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。



生活満足度について、平均値は 6.4 点となっている。各点の分布でみると、7 点が 21.2% で最も多く、次いで 8 点 (18.7%)、5 点 (17.1%) となっている。

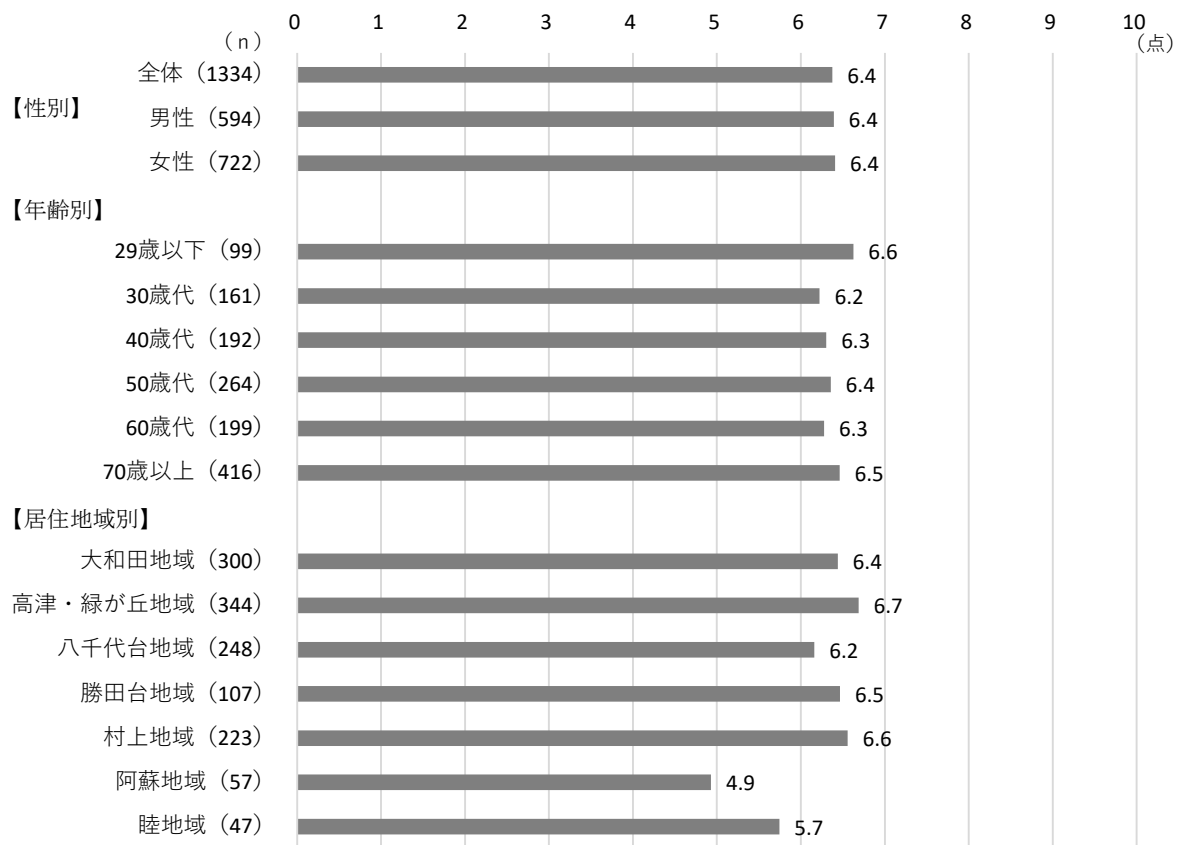
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、生活満足度の平均値は男女による大きな傾向の差異はみられなかった。

年齢別では、生活満足度の平均値は 29 歳以下が 6.6 点で最も多く、70 歳以上 (6.5 点)、50 歳代 (6.4 点) が続いている。

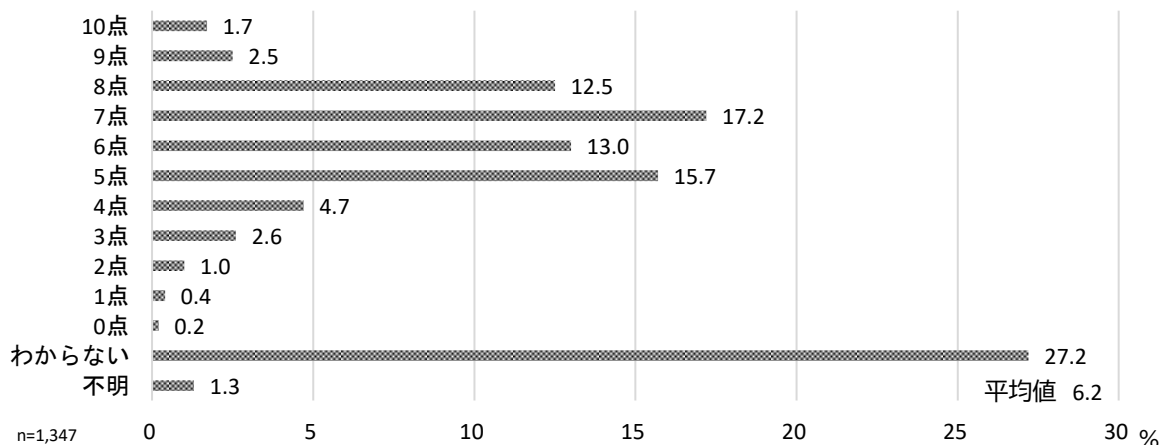
居住地域別では、生活満足度の平均値は高津・緑が丘地域が 6.7 点で最も高く、村上地域 (6.6 点)、勝田台地域 (6.5 点) と続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 35 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。

「とても幸せ」を 10 点，「とても不幸」を 0 点とすると，何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。分からない場合は「×」に○をつけてください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。



町内の幸福度について、平均値は 6.2 点となっている。各点の分布でみると、7 点が 17.2%で最も多く、次いで 5 点（15.7%），6 点（13.0%）となっている。回答割合としては「わからない」が 27.2%と最も多くなっている。

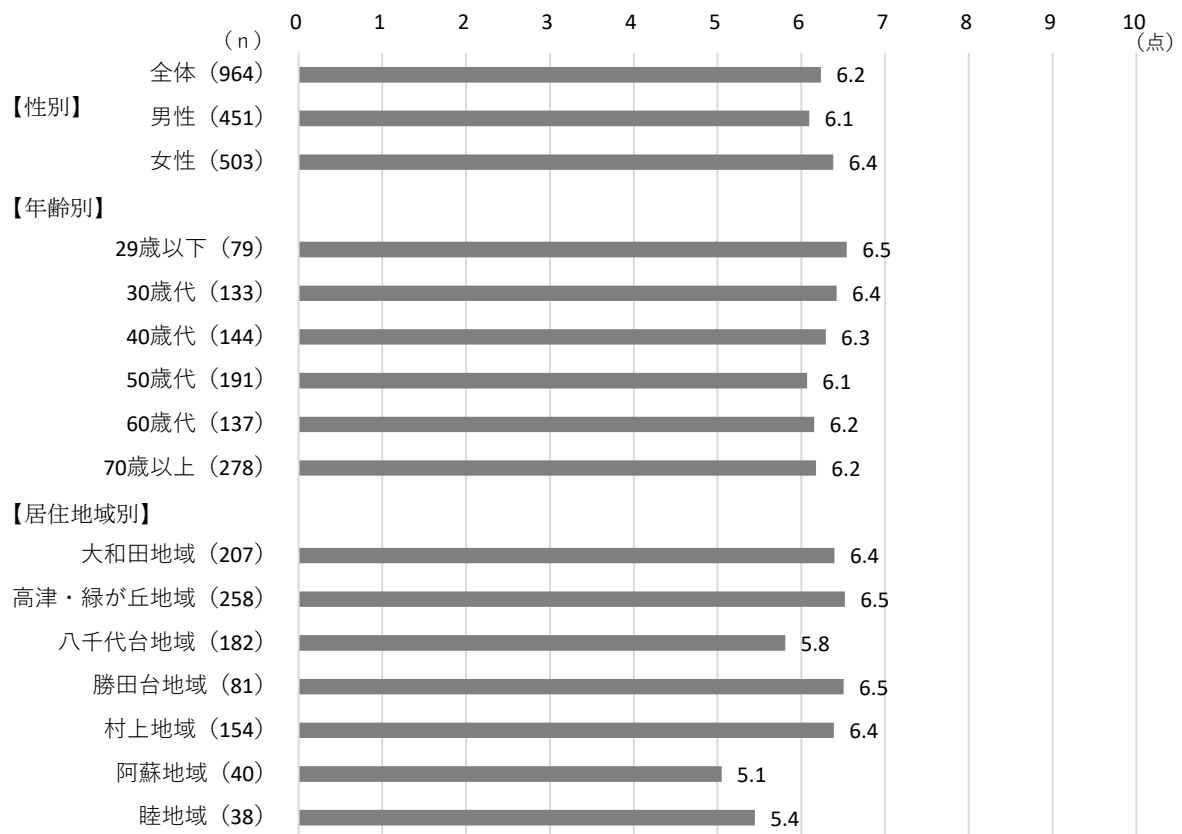
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、町内の幸福度の平均値は女性（6.4 点）の方が男性（6.1 点）より 0.3 点高くなっている。

年齢別では、町内の幸福度の平均値は 29 歳以下が 6.5 点で最も高く、30 歳代（6.4 点），40 歳代（6.3 点）と続いている。

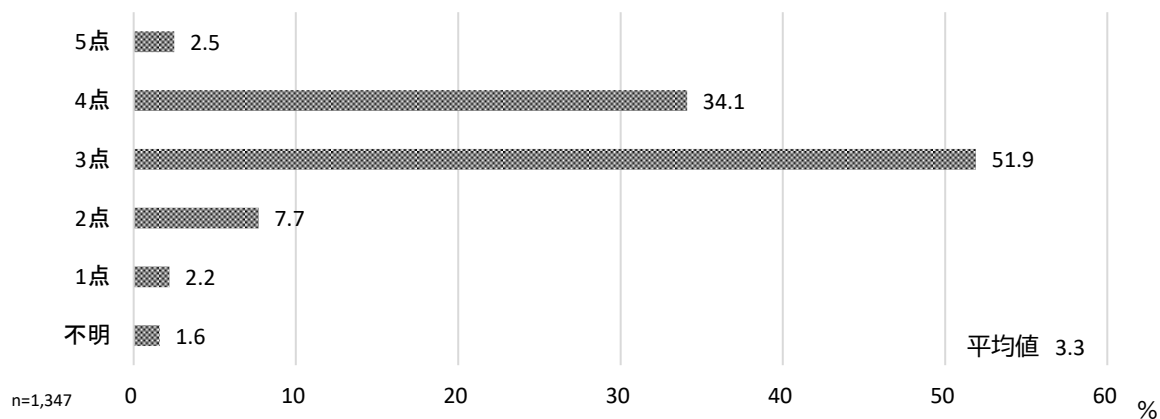
居住地域別では、町内の幸福度の平均値は高津・緑が丘地域，勝田台地域がともに 6.5 点で最も高く，大和田地域（6.4 点），村上地域（6.4 点）が同率で続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 36 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。

「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。



周りも楽しいについて、平均値は3.3点となっている。各点の分布でみると、3点が51.9%と最も多く、次いで4点（34.1%）、2点（7.7%）となっている。

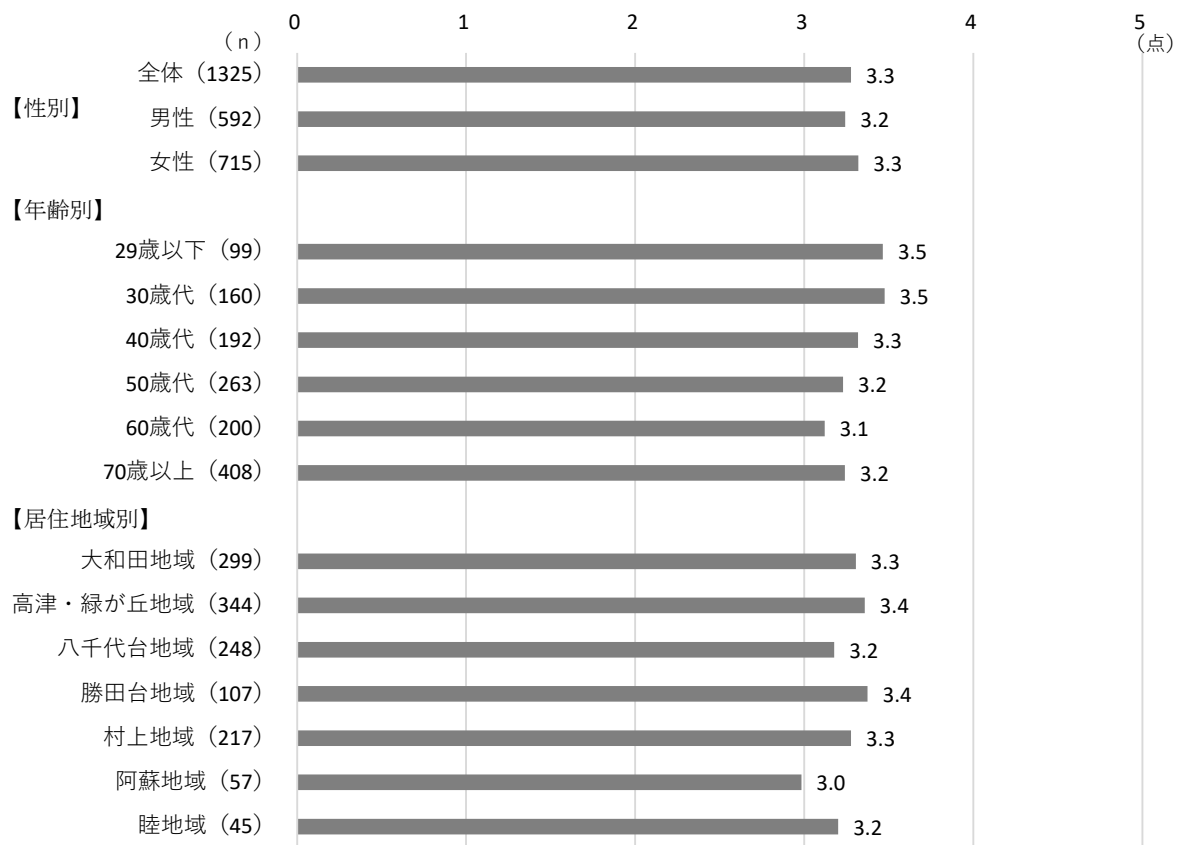
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、周りも楽しいの平均値は女性（3.3点）の方が男性（3.2点）より0.1点高くなっている。

年齢別では、周りも楽しいの平均値は29歳以下、30歳代がともに3.5点で最も高く、40歳代（3.3点）が続いている。

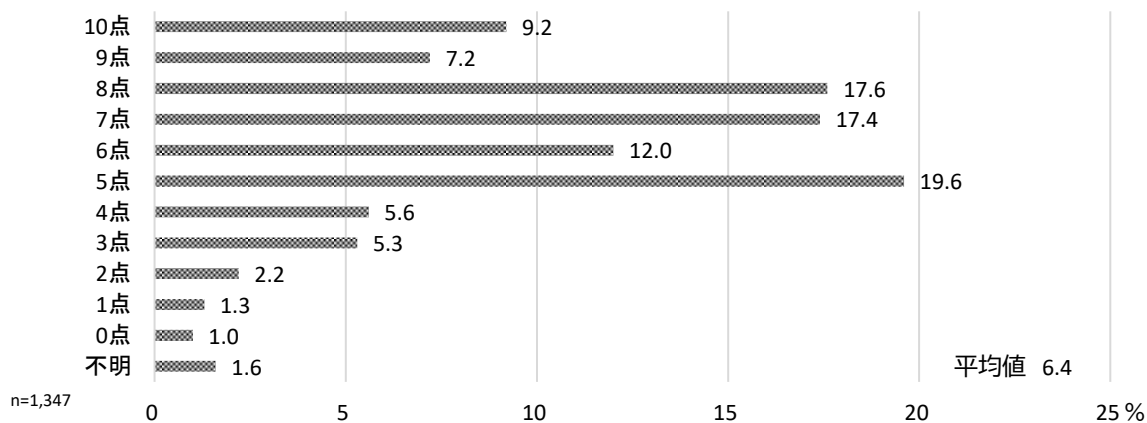
居住地域別では、周りも楽しいの平均値は高津・緑が丘地域、勝田台地域がともに3.4点で最も高く、大和田地域（3.3点）、村上地域（3.3点）が同率が続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



問 37 今から 5 年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。



5 年後の幸福度について、平均値は 6.4 点となっている。各点の分布でみると、5 点が 19.6% と最も多く、次いで 8 点 (17.6%)、7 点 (17.4%) となっている。

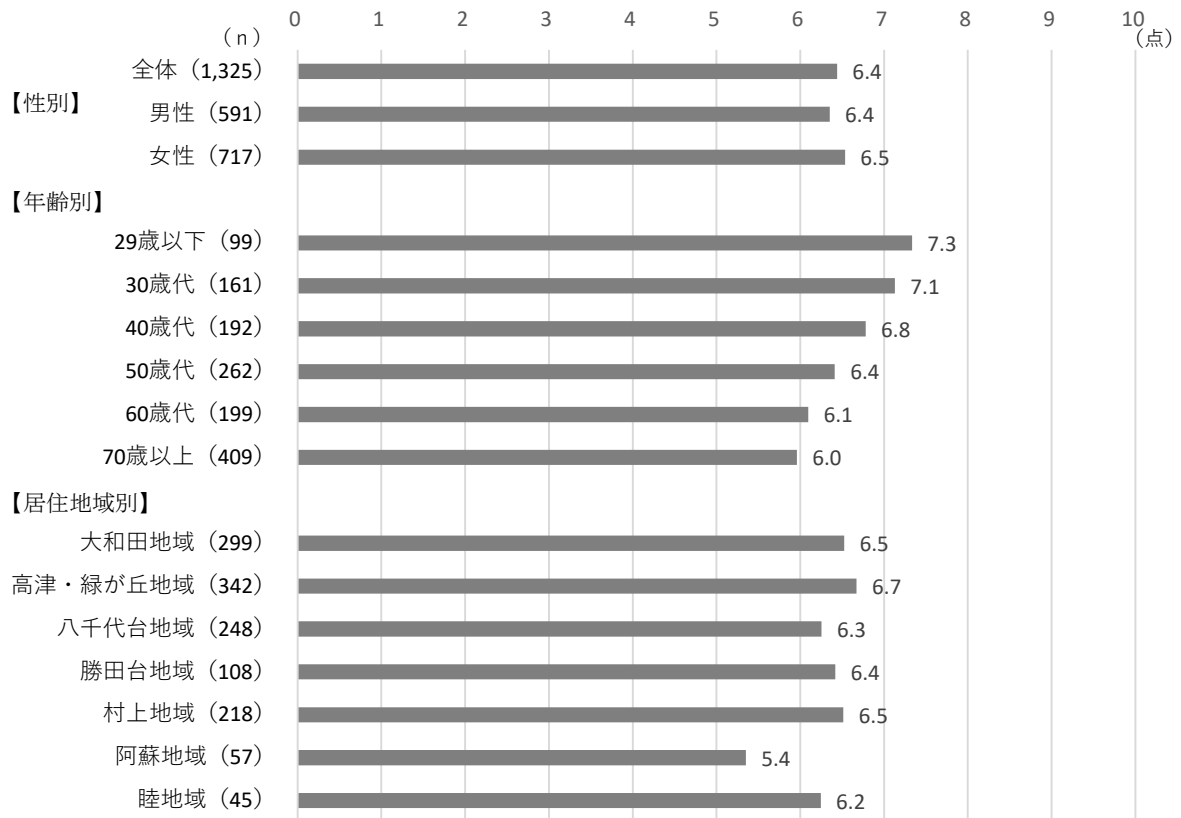
《性別・年齢別・居住地域別》

性別では、5 年後の幸福度の平均値は女性 (6.5 点) の方が男性 (6.4 点) より 0.1 点高くなっている。

年齢別では、5 年後の幸福度の平均値は、29 歳以下が 7.3 点と最も高く、30 歳代 (7.1 点)、40 歳代 (6.8 点) と続いている。

居住地域別では、5 年後の幸福度の平均値は、高津・緑が丘地域が 6.7 点と最も高く、大和田地域 (6.5 点)、村上地域 (6.5 点) が同率で続いている。

<性別・年齢別・居住地域別>



3 自由意見

最後に、市政全般やこれからのまちづくりに向けて力を入れてほしい点など、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

寄せられたご意見等について、691 名から計 1,116 件の回答があった。

※意見内容の詳細は、「八千代市市民満足度調査報告書 別冊《自由意見集》」をご参照ください。

Ⅳ 調査票

八千代市市民満足度調査

1. あなたご自身のことに関する質問

【問1】あなたの性別は、次のどれですか？

1	男性	2	女性	3	答えたくない・わからない
---	----	---	----	---	--------------

【問2】あなたの年齢は、次のうちどれですか？

1	18 ～ 29 歳	4	50 ～ 59 歳
2	30 ～ 39 歳	5	60 ～ 69 歳
3	40 ～ 49 歳	6	70 歳以上

【問3】あなたの職業は、次のうちどれですか？

1	会社員	7	派遣
2	公務員	8	パートタイマー・アルバイト
3	自営業・個人事業主	9	専業主婦・専業主夫
4	農業	10	無職
5	専門職（医師・弁護士など）	11	その他（ ）
6	学生		

【問4】あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

	地区	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台1丁目～8丁目
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区等、高津中学校又は東高津中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
5	高津地区	高津・高津東1丁目～4丁目
6	緑が丘地区	緑が丘1丁目～5丁目・緑が丘西1丁目～8丁目
7	八千代台東南地区	八千代台東1丁目～6丁目・八千代台南1丁目～3丁目
8	八千代台西北地区	八千代台西1丁目～10丁目・八千代台北1丁目～17丁目
9	勝田台地区	勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目
10	村上地区	村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・上高野・勝田台北1丁目～3丁目
11	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
12	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目
13	米本団地地区	米本団地1街区～5街区
14	高津団地地区	高津団地1街区～7街区
15	村上団地地区	村上団地1街区～3街区

2. 第5次総合計画に関する質問

本市では、令和3年度を始期とする第5次総合計画において、将来都市像を「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」と定め、【ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり】【豊かな心と文化を育むまちづくり】【安心・安全に暮らせるまちづくり】【快適で環境にやさしいまちづくり】【産業が元気なまちづくり】【計画の推進のために】の6つの柱を基本目標とし、まちづくりを進めてまいりました。

そして、その基本的な計画を定めた第5次総合計画「前期基本計画（計画期間：令和3年度～令和6年度）」を推進するため、施策ごとに数値目標を設定し、各種事業に取り組んできたところです。

以下の質問は、指標に設定された数値目標の達成度を把握するとともに、第5次総合計画「後期基本計画（計画期間：令和7年度～令和10年度）」に位置付ける各施策における指標のうち、市民の満足度に関する項目について、その現況値を把握することを目的とするものです。

以下の質問は、第5次総合計画(令和3年度～令和10年度)における指標に関する内容です。

《ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり》

【問5】「こどもの権利※1」について知っていますか。

1 内容もよく知っている 2 知っている 3 言葉は聞いたことがある 4 知らない

※1 こどもの権利：「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」など、子どもたち一人ひとりがその人らしく幸せに生き、お互いの意見や気持ちを大切にしながら、家庭や学校、地域の安全に安心して生活する権利のこと。

【問6】子育てしやすいまちと感じていますか。

1 感じる 2 どちらかという 3 どちらかという 4 感じない 5 わからない
とを感じる と感じない

【問7】ボランティアや地域活動に参加していますか。

1 参加している 2 参加していない

【問 8】高齢者福祉サービスが充実していると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

【問 9】自分が健康だと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

【問 10】定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。

- | | | | | | |
|---|-----------|---|------------|---|--------|
| 1 | 定期的に受けている | 2 | 不定期だが受けている | 3 | 受けていない |
|---|-----------|---|------------|---|--------|

【問 11】地域医療体制が整っていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

《豊かな心と文化を育むまちづくり》

【問 12】生涯学習情報が得られやすいと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

《安心・安全に暮らせるまちづくり》

【問 13】消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っていますか。

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|

《快適で環境にやさしいまちづくり》

【問 1 4】地域の特性を活かした土地利用が図られていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 1 5】緑豊かなまちと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 1 6】鉄道が利用しやすいと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 1 7】市内のバスが利用しやすいと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 1 8】市内・市外間の移動がしやすいと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 1 9】交通弱者※²にやさしい交通環境と感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

※ 2 交通弱者：公共交通機関の利用が困難な土地に住んでいる、自家用車両を所有していないなどの理由で交通手段に制約がある人のこと。

【問 2 0】道路状況が整っていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|-------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | | | と感じない | | |

【問 2 1】生活に支障が生じる騒音や振動，悪臭を感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|--------|---|-----|---|-------|
| 1 | 感じない | 2 | どちらかという | 3 | どちらかとい | 4 | 感じる | 5 | わからない |
| | | | と感じない | | うと感じる | | | | |

【問 2 2】まちにごみがなくきれいだと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | と感じない | | | | |

《計画の推進のために》

【問 2 3】市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | と感じない | | | | |

【問 2 4】市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | と感じない | | | | |

【問 2 5】性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | | | と感じる | | と感じない | | | | |

【問 2 6】性的マイノリティ（または L G B T 等）の方々にとって，偏見や不当な差別などにより，生活しづらい社会だと感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|-----|---|-------|
| 1 | 感じない | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じる | 5 | わからない |
| | | | と感じない | | と感じる | | | | |

【問 2 7】国際交流・協力に関する活動を行ってみたい，参加してみたいと思いますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 思う | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 思わない | 5 | わからない |
| | | | と思う | | と思わない | | | | |

【問２８】新川周辺が活性化していると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

【問２９】今後も八千代市に住み続けたいと考えていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 考えて | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 考えてい | 5 | わからない |
| | いる | | と考えている | | と考えていない | | ない | | |

【問３０】行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

【問３１】公共施設の設備や管理が適切と感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |

【問３２】行政サービスのデジタル化により市民生活の利便性が向上していると感じていますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 感じる | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 感じない | 5 | わからない |
| | と感じる | | | | と感じない | | | | |



ウェルビーイングに関する質問にもご協力をお願いします

【問36】自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか。

「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。

非常に あてはまる 5点	ある程度 あてはまる 4点	どちらとも 言えない 3点	あまり あてはまらない 2点	全く あてはまらない 1点
--------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------

【問37】今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を一つ選んで○をつけてください。

とても 幸せ 10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	とても 不幸 0点
------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----------------

最後に、市政全般やこれからのまちづくりに向けて力を入れてほしい点など、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

12月20日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

【問い合わせ先】

八千代市 企画部 企画経営課 企画政策班

電話 047-421-6701（直通）



やっち

八千代市市民満足度調査

報 告 書

令和7年3月

発行 八千代市企画部企画経営課
〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5
電話 047(483)1151(代表)